

資料 4-1

「横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」
主な事業に係る年度ごと実績状況

R 2.8 総務企画部 経営企画課

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

着手年度	No.	基本目標	款項目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成27年度					取組み状況	成果	
									指標 目標値 (H27)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
◆	1	1 / ①	6.1.3	よこて農業 創生大学 事業	地域価値創造拠点整備事業(狐塚エリア) 【H26⇒27 繰越】	・旧大雄中学校舎等解体工事 ・地域価値創造拠点圃場等整備工事 ・消防用設備等設置工事 ・実施設計等	本事業による新規就農者数(研修者数)	5人/毎年 (H27～31)	5人/年	4人/年		57,612	56,594	1,018	<ul style="list-style-type: none"> ■実験農場機能強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・実験農場研修施設整備 25,507千円 (研修準備棟地質調査委託・設計業務委託・新築工事、測量・図面作成委託、研修交流棟・実証ハウス設計業務委託など) ■ブランド戦略事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド戦略に係る経費 7,775千円 (よこて異業種間連携プロジェクト運営委託、農産物成分分析、市産農産物利用状況調査委託など) ■地域価値創造拠点構想策定事業 <ul style="list-style-type: none"> ・構想策定に係る経費 19,451千円 (策定業務委託など) ■実験農場人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成に係る経費 3,859千円 (指導員賃金・講師謝礼等、研修生用研修費・教材等) 	<ul style="list-style-type: none"> ■実験農場機能強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・研修準備棟完成及び研修施設等実施設計完成 ■ブランド戦略・地域価値創造拠点構想策定業務 <ul style="list-style-type: none"> ・H27.12 地域価値創造拠点整備基本構想策定 ・H28.3 ブランド戦略策定/地域価値創造拠点整備基本計画策定 ■新規就農者育成研修事業 <ul style="list-style-type: none"> ・生産から販売まで一貫した農業経営実習 ・農業簿記ソフトウェアの導入で農業経営意識の向上 ■農業経営実践レベルアップ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・生産部会への知識&情報提供、栽培管理アドバイスによるH28防除計画の変更
◆	2	1 / ①	6.1.3	よこて農業 創生大学 事業	農業経営者等育成事業 【H26⇒27 繰越】	・研修生等育成事業 ・農業経営実践レベルアップ事業 ・横手産野菜普及促進事業	本事業による新規就農者数(研修者数)	5人/毎年 (H27～31)	5人/年	4人/年						
	3	1 / ①	6.1.3	よこて農業 創生大学 事業	戦略作物品質向上プログラム確立事業 【H31】	戦略作物について、篤農家の栽培状況をカメラや環境センサーを用いて栽培技術マニュアルを作成。	横手市版栽培マニュアルの作成	横手市版栽培マニュアルの完成								
★	4	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	新規就農者レベルアップ事業 【H26以前】	青年農業者同士また、青年農業者とベテラン農業者との交流会や全国規模の研修会への参加費一部補助。	新規就農者数	30人/毎年 (H27～31)	30人/年	20人/年		172	0	172	<ul style="list-style-type: none"> ■青年農業者海外派遣研修参加者に対する研修費補助(ベトナム・シンガポール) ■担い手農家交流研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ■海外における農産物需要を把握する事ができ、今後農産物の輸出を考える際の参考になった。 ・交流研修会により、実績のあるベテラン農業者の知識や技術を、地域内で継承していくことが出来た。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H28)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
1	1	①	6.1.3 よこて農業 創生大学 事業	地域価値創造 拠点整備 事業(狐塚 エリア) 【H26⇒27 繰越】	・旧大雄中学校 舎等解体工事 ・地域価値創造 拠点整備工事 ・消防用設備等 設置工事 ・実施設計 等	本事業による 新規就農者数(研修 者数)	5人/毎年 (H27～31)	5人/年	2人/年	14,642	6,400	8,242	<ul style="list-style-type: none"> ■旧大雄中学校校舎等解体工事実施設計業務委託 ■地域価値創造拠点(狐塚エリア)整備工事基本設計業務委託 ■地質調査 ■大雄コミュニティ交流センター(排水・電源・給水設備切替工事) 	<ul style="list-style-type: none"> ■旧大雄中学校(S49年建築教室棟及びS47年建築プール)解体実施設計 ■旧大雄中学校(H3年建築教室棟)改修及び6次産業化支援施設建築基本設計 ■地質調査の実施 ■大雄コミュニティ交流センター(排水・電源・給水設備切替工事)完了 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域価値創造拠点整備構想・計画に基づき、拠点施設等整備するとともに新規就農に向けた人材育成、農業所得向上に向けた取組みを着実に実施する。
2	1	①	6.1.3 よこて農業 創生大学 事業	農業経営者 等育成事業 【H26⇒27 繰越】	・研修生等育成 事業 ・農業経営実践 レベルアップ事業 ・横手産野菜普及 促進事業	本事業による 新規就農者数(研修 者数)	5人/毎年 (H27～31)	5人/年	2人/年	3,431	0	3,431	<ul style="list-style-type: none"> ■人材育成に係る研修会等の開催、露地トマト栽培マニュアルの作成およびその共同研究 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農者研修カリキュラムの充実 ■露地トマト栽培マニュアルによる作付け推進 ■農業経営実践者との土壌診断講習 2回 ■各種栽培講習の開催 3回 	
3	1	①	6.1.3 よこて農業 創生大学 事業	戦略作物品質 向上プログラム 確立事業 【H31】	戦略作物について、篤農家の栽培状況をカメラや環境センサーを用いて栽培技術マニュアルを作成。	横手市版栽培 マニュアルの作成	横手市版栽培 マニュアルの 完成								
4	1	①	6.1.3 就農支援 事業	新規就農者 レベルアップ 事業 【H26以前】	青年農業者同士 また、青年農業者 とベテラン農業者 との交流会や 全国規模の研修会 への参加費一部 補助。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)	30人/年	30人/年	19	0	19	<ul style="list-style-type: none"> ■経営力向上研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■農業経営の専門家を講師とし、効率的かつ収益性のある農業経営等について研修することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農者のレベルアップにつながるような研修を実施していきたい。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
1	1	6.1.3	よこて農業 創生大学 事業	地域価値創 造拠点整備 事業(狐塚 エリア) 【H26⇒27 繰越】	・旧大雄中学校 舎等解体工事 ・地域価値拠点 圃場等整備工 事 ・消防用設備等 設置工事 ・実施設計 等	本事業によ る新規就農 者数(研修 者数)	5人/毎年 (H27～31)	5人/年	2人/年	157,185	140,500	16,685	<ul style="list-style-type: none"> ■旧大雄中学校舎等解体工事 ■地域価値拠点(狐塚エリア)圃場整地工 事 ■体育館消防設備設置工 事 ■実施設計 等 	<ul style="list-style-type: none"> ■旧大雄中学校舎等解体工事完了 ■地域価値拠点(狐塚エリア)圃場整地工 事完了 ■旧大雄中学校体育館消防設備設置工 事完了 ■地域価値創造拠点(狐塚エリア)整備工 事実施設計業務委託完了 ■旧大雄中学校校舎等解体工事設計監 理業務委託完了 ■旧大雄中学校校舎石綿除去工 事実施設計業務委託完了 ■旧大雄中学校体育館消防設備設置工 事設計及び設計監理業務委託完了 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域価値創造拠点整備構 想・計画に基づき、拠点施設等整備を 実施するとともに新規就農に向けた人 材育成、農業所得向上に向けた取組 みを着実に実施する。
2	1	6.1.3	よこて農業 創生大学 事業	農業経営者 等育成事業 【H26⇒27 繰越】	・研修生等育成 事業 ・農業経営実践 レベルアップ事 業 ・横手産野菜普 及促進事業	本事業によ る新規就農 者数(研修 者数)	5人/毎年 (H27～31)	5人/年	2人/年	4,995	0	4,995	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農者育成研修事 業 ■農業経営実践者レベルア ップ事業 ■市民向け野菜講習・体 験事業 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農者育成研修事 業 (2年目生2名、1年目生4名) ■農業経営実践者レベルア ップ事業 (4/22、8/3、12/6、3/5) ■市民向け野菜講習・体 験事業(7/13) 	<ul style="list-style-type: none"> ■所期の目的の達成に向け て、研修体制の見直しや各種関係機 関との連携強化が必要。 ■農外からの研修生に対 する就農環境整備構築の検討が必 要。 ■研修生の増に対応した専 任の栽培指導者確保が必要。
3	1	6.1.3	よこて農業 創生大学 事業	戦略作物 品質向上プ ログラム確 立事業 【H31】	戦略作物につ いて、篤農家の 栽培状況をカメ ラや環境センサ ーを用いて栽培 技術マニュアル を作成。	横手市版栽 培マニュアルの 作成	横手市版栽 培マニ ュアルの 完成								
4	1	6.1.3	就農支援 事業	新規就農者 レベルアップ 事業 【H26以前】	青年農業者同 士また、青年農 業者とベテラン 農業者との交流 会や全国規模の 研修会への参加 費一部補助。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)	30人	30人	46	40	6	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農者レベルア ップ研修の実施 (実施日:H30.2/2) ■戦略的な販路開拓と 消費者に選ばれる ための商品作りにつ いて研修。認定新 規就農者や農業研 修生など25名が 参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ■農業経営の専門家を 講師とし、効率的 かつ収益性のある 農業経営等につ いて研修するこ とができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農者の経営力 向上につながる 研修を継続して いく。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成30年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H30)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
1	1	①	6.1.3 よこて農業 創生大学 事業	地域価値創 造拠点整備 事業(孤塚 エリア) 【H26⇒27 繰越】	・旧大雄中学校 舎解体工事 ・地域価値拠点 圏場等整備工 事 ・消防用設備等 設置工事 ・実施設計 等	本事業によ る新規就農 者数(研修 者数)	5人/毎年 (H27～31)	5人/年	4人/年	629,197	583,500	45,697	<ul style="list-style-type: none"> ■6次産業化支援施設棟・管理研修棟・渡り廊下棟・トイレ階段棟・農業ハウス・車庫作業棟・格納庫棟の建築工事、電気設備工事、機械設備工事 ■圃場整備工事(排水工・舗装工・暗渠排水工) ■ストーンクラッシャーによる圃場内の石礫破碎 ■LAN環境整備(庁内ネットワークの構築) ■備品購入 等 	<ul style="list-style-type: none"> ■拠点施設(園芸振興拠点センター)の建設工事、及び当該施設で業務を行うための環境整備が完了し、平成31年4月から稼働できる体制が整った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■園芸振興拠点センターの管理運営を行うとともに、新規就農に向けた人材育成、農業所得の向上に向けた取組みを着実に実施していく。
2	1	①	6.1.3 よこて農業 創生大学 事業	農業経営者 等育成事業 【H26⇒27 繰越】	・研修生等育成 事業 ・農業経営実践 レベルアップ事 業 ・横手産野菜普 及促進事業	本事業によ る新規就農 者数(研修 者数)	5人/毎年 (H27～31)	5人/年	4人/年	4,234	0	4,234	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農者育成研修事業 ■農業経営実践者レベルアップ事業 ■市民向け野菜講習・体験事業 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農者育成研修事業(2年目生4名、1年目生7名) ■農業経営実践者レベルアップ事業(8/3、10/13、12/6) ■市民向け野菜講習・体験事業(5/16、7/3、7/4) 	<ul style="list-style-type: none"> ■アクションプランに基づき事業内容を充実させていく。 ■農外からの研修生に対する就農環境整備構築の検討が必要。 ■研修生の増に対応した専任の栽培指導者確保が必要。
3	1	①	6.1.3 よこて農業 創生大学 事業	戦略作物品 質向上プロ グラム確立 事業 【H31】	戦略作物につ いて、篤農家の 栽培状況をカメ ラや環境センサ ーを用いて栽培 技術マニュアル を作成。	横手市版栽 培マニュアルの 作成	横手市版栽培 マニュアルの 完成								
4	1	①	6.1.3 就農支援 事業	新規就農者 レベルアップ 事業 【H26以前】	青年農業者同 士また、青年農 業者とベテラン 農業者との交流 会や全国規模の 研修会への参加 費一部補助。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)	30人	31人	53	40	13	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農者レベルアップ研修の実施(実施日:H31.1/29) ■戦略的な販路開拓と消費者に選ばれるための商品作りについて研修。認定新規就農者や農業研修生など28名が参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ■農業経営の専門家を講師とし、効率的かつ収益性のある農業経営等について研修することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農者の経営力向上につながる研修を継続していく。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 続	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	令和元年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (R1)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
1	1	①	6.1.3 よこて農業 創生大学 事業	地域価値創 造拠点整備 事業(狐塚 エリア) 【H26⇒27 繰越】	・旧大雄中学校 舎解体工事 ・地域価値拠点 圃場等整備工 事 ・消防用設備等 設置工事 ・実施設計 等	本事業によ る新規就農 者数(研修 者数)	5人/毎年 (H27～31)	5人/年	6人/年	30,423	25,900	4,523	<p>■各種工事の完了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場内整備工事(残土処理等) ・施設看板設置工事 ・6次産業化支援施設棟防虫防臭対策工事 ・街路灯設置工事 ・花壇撤去処分工事 <p>■各種委託事業の完了</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圃場石礫破碎業務委託(1～2期分) ・立木伐採等業務委託(1～4期分) ・雑木等撤去処分業務委託 ・電柱撤去業務委託 <p>■上記のほか、外構工事(H30繰越分)が完了</p>	<p>■園芸振興拠点センターで円滑に事業や業務を行うための環境が整備された。</p> <p>■R1.11月から地域種苗支援センターの指定管理開始に伴い、実験農場機能がセンターへ移管されたことにより、よこて農業創生大学事業の拠点整備事業が完了した。</p>	<p>■園芸振興拠点センターの管理運営を適正に行っていく。</p> <p>■新規就農に向けた人材育成と確保、並びに農業所得の向上に向けた取り組みを着実に推進していく。</p>
2	1	①	6.1.3 よこて農業 創生大学 事業	農業経営者 等育成事業 【H26⇒27 繰越】	・研修生等育成 事業 ・農業経営実践 レベルアップ事 業 ・横手産野菜普 及促進事業	本事業によ る新規就農 者数(研修 者数)	5人/毎年 (H27～31)	5人/年	6人/年	6,975	0	6,975	<p>■新規就農者育成研修事業 (2年目生6名、1年目生5名)</p> <p>■農業経営実践者レベルアップ事業 (12/19)</p> <p>■市民向け野菜講習・体験事業 (座学編5/8、5/9、圃場編7/10) (冬季食農体験(収穫)受入れ12/27～ 3/24)</p>	<p>■新規就農者育成研修事業 (2年目生6名、1年目生5名)</p> <p>■農業経営実践者レベルアップ事業 (12/19)</p> <p>■市民向け野菜講習・体験事業 (座学編5/8、5/9、圃場編7/10) (冬季食農体験(収穫)受入れ12/27～ 3/24)</p>	<p>■11月1日より研修場所が横手市園芸振興拠点センターに移転となり、現場における研修生の実践的な研修内容について検討。</p> <p>■当初想定した“講師”ではなく“園芸相談員”として1名を採用したが、一般の園芸相談等の活動だけでなく、研修生への栽培指導や拠点センター圃場作物を対象とした栽培管理等について、実践的な指導をしていただく。</p> <p>■アクションプランに基づき、JAと連携しながら、研修カリキュラムの拡充を検討。</p>
3	1	①	6.1.3 よこて農業 創生大学 事業	戦略作物品 質向上プロ グラム確立 事業 【H31】	戦略作物につ いて、篤農家の 栽培状況をカメ ラや環境センサ ーを用いて栽培 技術マニュアル を作成。	横手市版栽 培マニュアルの 作成	横手市版栽培 マニュアルの 完成			2,463	0	3,170	<p>・「スイカの出荷予測による有利販売」をテーマとし横手市内3カ所にセンサーを設置し、積算温度のデータ収集及び出荷予測の検証</p> <p>・課題の整理及び検討</p>	<p>・収穫適期の予測日については、従来行われてきたアメダスデータや農研機構のメッシュ予測値、環境センサーデータを比較検証したところ、若干の差が確認されたが、アメダスデータを用いての収穫期予測は実用性が高いと考えられた。</p> <p>・食味官能検査においても最も良好となる適期に行われていると考えられる。</p>	<p>■スイカ(2年目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標積算温度に基づいた収穫適期の把握。(継続調査) ・データに基づく出荷時期及び出荷量の把握 ・JA・スイカ部会と連携し市場までの効率的な出荷・配車の具体的な手法の協議・検討 <p>■トマト(1年目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・篤農家と一般農家の栽培状況をカメラや環境センサーを用いて比較し横手市版栽培技術マニュアルの作成。 ・横手市版栽培技術マニュアルを用いた効果検証やJAの指導体制も含め産地全体の品質確保及び収量の底上げを図る。
4	1	①	6.1.3 就農支援 事業	新規就農者 レベルアップ 事業 【H26以前】	青年農業者同 士また、青年農 業者とベテラン 農業者との交流 会や全国規模の 研修会への参加 費一部補助。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)	30人	43人	55	40	15	<p>■新規就農者レベルアップ研修の実施 (実施日：R2.2.4)</p> <p>■「商品の魅力発信、SNSで販売力アップ」と題し、消費者等に対するPRIについて研修。認定新規就農者や農業研修生など28名が参加。</p>	<p>■商品宣伝に精通した講師により、自らが生産した農産物の魅力発信や販売力をアップするためのSNSの活用方法について研修することができた。</p>	<p>■新規就農者と農業技術研修生との意見交換や仲間づくりの場として、新規就農者の経営力向上につながる研修を企画・実施していく。</p>

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

着手年度	No.	基本目標	款項目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成27年度						取組み状況	成果
									指標 目標値 (H27)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳				
												特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
★	5	1 / ①	6.1.3	就農支援事業	フロンティア農業者育成費 【H26以前】	新規就農や新部門開始に必要な技術を身につけるため、県の各試験場等で研修を行う場合、研修奨励金を助成する。	新規就農者数	30人/毎年 (H27～31)	30人/年	20人/年	5,900	3,097	2,803	■1名×11ヶ月(農業試験場) ■4名×12ヶ月(果樹試験場)	■新規就農や新部門開始に必要な技術や経営ノウハウを身につけることができた。	
★	6	1 / ①	6.1.3	就農支援事業	地域で学べ農業技術研修事業 【H26以前】	就農に必要な技術を身につけるため、農業後継者等が市内の実験農場において研修を行う場合、研修奨励金を助成する。	新規就農者数	30人/毎年 (H27～31)	30人/年	20人/年	2,400	900	1,500	■新規2名 ■継続2名	■新規就農や新部門開始に必要な技術や経営ノウハウを身につけることができた。	
△	7	1 / ①	6.1.3	就農支援事業	農業次世代人材投資事業 【H30以降】	45歳未満の新規就農者に対して、就農直後の経営確立を支援する資金を交付する。	新規就農者数	30人/毎年 (H27～31)								
★	8	1 / ①	6.1.3	就農支援事業	農業インターンシップ 【H26以前】	将来の地域農業を担う人材を育成するため、実践研修や先進地研修等を実施する。	新規就農者数	30人/毎年 (H27～31)	30人/年	20人/年	217	0	217	■高校生の地域農業研修会 ・市内の新規就農者等(個人2、法人1)への視察研修、研修終了後意見交換会 ■高校生の就農促進、担い手人材育成活動 ・管外視察研修、夏休み農家研修、農業講和	■高校生に対する就農促進と、農業の担い手の確保、育成が図られた。	
	9	1 / ①	6.1.3	就農支援事業	「横手で農業を」スタートアップ支援事業 【H30】	・新規就農者の確保及び定着に向けた取組みを実施する。 ①情報発信(就農相談会等への出展) ②農業体験(就農希望者を対象にした現地見学、短期研修の実施) ③定着支援(横手市に転入して農業を継続的に営もうとする研修生・新規就農者に対する家賃補助)	新規就農者数	30人/毎年 (H27～31)								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度									
								指標 目標値 (H28)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)	取組み状況	成果	今後の方向性		
5	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	フロンティア 農業者育成 費 【H26以前】	新規就農や新部 門開始に必要な 技術を身につける ため、県の各試 験場等で研修を 行う場合、研修 奨励金を助成す る。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)	30人/ 年	30人/ 年	6,000	3,150	2,850	<ul style="list-style-type: none"> ■農業試験場 1名×12ヶ月 ■果樹試験場 4名×12ヶ月 ※この他1名(農業試験場)は青年就農給 付金(準備型)を受給 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農や新部門開始に必要な技術や 経営ノウハウを身につけることができた 	<ul style="list-style-type: none"> ■研修制度を広く周知し、研修生の確保に 努め、新規就農又は新規部門開始に必要 な技術・知識を習得してもらい、地域農業の 優れた担い手を確保・育成する 		
6	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	地域で学べ 農業技術研 修事業 【H26以前】	就農に必要な技 術を身につける ため、農業後継者 等が市内の実験 農場において研 修を行なう場合 、研修奨励金を助 成する。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)	30人/ 年	30人/ 年	3,400	1,275	2,125	<ul style="list-style-type: none"> ■市町村実験農場活用型 2名×12ヶ月 ■市町村実験農場活用型 1名×9ヶ月 ■先進農家活用型 1名×1ヶ月 ※この他2名(実験農場活用型)は青年就農給 付金(準備型)を受給 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農や新部門開始に必要な技術や 経営ノウハウを身につけることができた 	<ul style="list-style-type: none"> ■研修制度を広く周知し、研修生の確保に 努め、新規就農又は新規部門開始に必要 な技術・知識を習得してもらい、地域農業の 優れた担い手を確保・育成する 		
7	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	農業次世代 人材投資事 業 【H30以降】	45歳未満の新規 就農者に対して 、就農直後の経営 確立を支援する 資金を交付する。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)										
8	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	農業イン ターンシッ プ 【H26以前】	将来の地域農業 を担う人材を育 成するため、実践 研修や先進地研 修等を実施する。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)	30人/ 年	30人/ 年	111	0	111	<ul style="list-style-type: none"> ■高校生の地域農業研修会 ・市内の新規就農者等(個人2、市実験農 場)への視察研修 ■高校生の就農促進、担い手人材育成活 動 ・管外視察研修、夏休み農家研修、長期農 家研修 	<ul style="list-style-type: none"> ■高校生に対する就農促進と、農業の担い 手の確保、育成が図られた 	<ul style="list-style-type: none"> ■高校生に対する就農促進と、農業の担い 手の確保、育成を図る 		
9	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	「横手で農 業を」スタ ートアップ支 援事業 【H30】	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の 確保及び定着に 向けた取組みを 実施する。 ①情報発信(就 農相談会等への 出展) ②農業体験(就 農希望者を対象 にした現地見学 、短期研修の実 施) ③定着支援(横 手市に転入して 農業を継続的に 営もうとする研 修生・新規就農 者に対する家賃 補助) 	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)										

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
5	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	フロンティア 農業者育成 費 【H26以前】	新規就農や新部 門開始に必要な 技術を身につけ るため、県の各試 験場等で研修を 行う場合、研修 奨励金を助成す る。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)	30人	30人	4,800	2,520	2,280	<p>■4名が果樹試験場で、1名が農業試験場 で研修を実施。(2年目生3名・1年目生2 名) ※フロンティア農業者育成事業費補助金を 受給している研修生は4名。ほか1名は農業 次世代人材投資資金(準備型)を受給。</p>	<p>■新規就農や新たな部門開始に必要な技 術や経営ノウハウを習得できている。</p>	<p>■研修制度を広く周知し、研修生の確保に 努め、新規就農または新規部門開始に必要 な技術・知識を習得してもらい、地域農業の 優れた担い手を確保・育成する。</p>
6	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	地域で学べ 農業技術研 修事業 【H26以前】	就農に必要な技 術を身につけるた め、農業後継者 等が市内の実験 農場において研 修を行なう場合、 研修奨励金を助 成する。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)	30人	30人	6,000	2,250	3,750	<p>■6名が横手市実験農場で研修を実施。 (2年目生2名・1年目生4名) ※地域で学べ農業技術研修費補助金を受 給している研修生は5名。ほか1名は農業次 世代人材投資資金(準備型)を受給。</p>	<p>■新規就農や新たな部門開始に必要な技 術や経営ノウハウを習得できている。</p>	<p>■研修制度を広く周知し、研修生の確保に 努め、新規就農または新規部門開始に必要 な技術・知識を習得してもらい、地域農業の 優れた担い手を確保・育成する。</p>
7	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	農業次世代 人材投資事 業 【H30以降】	45歳未満の新規 就農者に対して、 就農直後の経営 確立を支援する 資金を交付する。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)								
8	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	農業イン ターンシッ プ 【H26以前】	将来の地域農業 を担う人材を育 成するため、実践 研修や先進地研 修等を実施する。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)	30人	30人	152	0	152	<p>■増田高校農業科学科の生徒を対象に、 市内先進農家での実践研修や管内・管外の 視察研修を実施。 ・農家研修 延べ8日間 ・視察研修 管内1回・管外1回 ・農業講話 5回</p>	<p>■実践研修や視察研修を通して、農業に対 する意識を高めてもらうことができた。</p>	<p>■農業への理解を深めてもらい、新たな担 い手の確保につなげていくために事業を継続 していく。</p>
9	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	「横手で農 業を」スタ ートアップ支 援事業 【H30】	・新規就農者の 確保及び定着に 向けた取組みを 実施する。 ①情報発信(就 農相談会等への 出展) ②農業体験(就 農希望者を対象 にした現地見学、 短期研修の実施) ③定着支援(横 手市に転入して 農業を継続的に 営もうとする研 修生・新規就農者 に対する家賃補助)	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取項目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成30年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H30)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
5	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	フロンティア 農業者育成 費 【H26以前】	新規就農や新部門開始に必要な技術を身につけるため、県の各試験場等で研修を行う場合、研修奨励金を助成する。	新規就農者数	30人/毎年 (H27～31)	30人	31人	6,000	3,150	2,850	<p>■4名が果樹試験場で、1名が農業試験場で研修を実施。(2年目生2名・1年目生3名)</p> <p>※フロンティア農業者育成事業費補助金を受給している研修生 5名。</p>	<p>■新規就農や新たな部門開始に必要な技術や経営ノウハウを習得できている。</p>	<p>■研修制度を広く周知し、研修生の確保に努め、新規就農または新規部門開始に必要な技術・知識を習得してもらい、地域農業の優れた担い手を確保・育成する。</p>
6	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	地域で学べ 農業技術研 修事業 【H26以前】	就農に必要な技術を身につけるため、農業後継者等が市内の実験農場において研修を行なう場合、研修奨励金を助成する。	新規就農者数	30人/毎年 (H27～31)	30人	31人	14,400	5,400	9,000	<p>■12名が横手市実験農場で研修を実施。(うち先進経営体研修 1名) (2年目生4名・1年目生8名)</p> <p>※地域で学べ農業技術研修費補助金を受給している研修生 12名</p>	<p>■新規就農や新たな部門開始に必要な技術や経営ノウハウを習得できている。</p>	<p>■研修制度を広く周知し、研修生の確保に努め、新規就農または新規部門開始に必要な技術・知識を習得してもらい、地域農業の優れた担い手を確保・育成する。</p>
7	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	農業次世代 人材投資事 業 【H30以降】	45歳未満の新規就農者に対して、就農直後の経営確立を支援する資金を交付する。	新規就農者数	30人/毎年 (H27～31)	30人	31人	37,909	37,906	3	<p>■新規採択者 7名</p> <p>■継続受給者 24名</p>	<p>■新規就農者の経営確立を支援する給付金を資金を交付することにより、就農意欲の喚起と就農後の経営安定につながった。</p>	<p>■地域農業の優れた担い手を育成するため、引き続き支援を行う。</p>
8	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	農業イン ターンシッ プ 【H26以前】	将来の地域農業を担う人材を育成するため、実践研修や先進地研修等を実施する。	新規就農者数	30人/毎年 (H27～31)	30人	31人	120		120	<p>■増田高校農業科学科の生徒を対象に、市内先進農家での実践研修や管内・管外の視察研修を実施。</p> <p>・農家研修 延べ11日間 ・視察研修 管内1回・管外1回 ・農業講話 4回</p>	<p>■実践研修や視察研修を通して、農業に対する意識を高めてもらうことができた。</p>	<p>■農業への理解を深めてもらい、新たな担い手の確保につなげていくために事業を継続していく。</p>
9	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	「横手で農 業を」スター トアップ支援 事業 【H30】	<p>・新規就農者の確保及び定着に向けた取組みを実施する。</p> <p>①情報発信(就農相談会等への出展)</p> <p>②農業体験(就農希望者を対象にした現地見学、短期研修の実施)</p> <p>③定着支援(横手市に転入して農業を継続的に営もうとする研修生・新規就農者に対する家賃補助)</p>	新規就農者数	30人/毎年 (H27～31)	30人	31人	495		495	<p>■情報提供事業 新・農業人フェア、秋田県移住就農個別相談会、マイナビ就農FEST出展</p> <p>■農業体験事業 園芸農業短期研修の実施</p> <p>■定着支援事業 移住就農者への印賃借住宅家賃助成</p>	<p>■マイナビ就農FEST(仙台8/4)</p> <p>■秋田県移住就農セミナー(東京10/20)</p> <p>■園芸農業短期研修(1名)</p> <p>■定着支援事業補助金交付(2名)</p>	<p>■就農相談会や農業体験の実施により、就農希望者を確保するとともに、家賃補助による定着支援を図りながら、新規就農者の確保・育成を継続実施していく。</p>

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	令和元年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (R1)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
5	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	フロンティア 農業者育成 費 【H26以前】	新規就農や新部 門開始に必要な 技術を身につけ るため、県の各試 験場等で研修を 行う場合、研修 奨励金を助成す る。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)	30人	43人	6,000	3,150	2,850	<ul style="list-style-type: none"> ■4名が果樹試験場で、1名が農業試験場 で研修を実施。(2年目生3名・1年目生2 名) ※フロンティア農業者育成事業費補助金を受 給している研修生 5名。 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農や新たな部門開始に必要な技 術や経営ノウハウを習得できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■研修制度を広く周知し、研修生の確保に 努め、新規就農または新規部門開始に必要 な技術・知識を習得してもらい、地域農業の 優れた担い手を確保・育成する。
6	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	地域で学べ 農業技術研 修事業 【H26以前】	就農に必要な技 術を身につけるた め、農業後継者 等が市内の実験 農場において研 修を行う場合、 研修奨励金を助 成する。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)	30人	43人	13,200	4,950	8,250	<ul style="list-style-type: none"> ■11名が横手市実験農場で研修を実施。 (2年目生6名・1年目生5名) ※地域で学べ農業技術研修費補助金を受 給している研修生 11名 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農や新たな部門開始に必要な技 術や経営ノウハウを習得できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■研修制度を広く周知し、研修生の確保に 努め、新規就農または新規部門開始に必要 な技術・知識を習得してもらい、地域農業の 優れた担い手を確保・育成する。
7	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	農業次世代 人材投資事 業 【H30以降】	45歳未満の新規 就農者に対して、 就農直後の経営 確立を支援する 資金を交付する。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)	30人	43人	33,050	33,047	3	<ul style="list-style-type: none"> ■新規採択者(3名) ■継続受給者(18名) ■継続受給者(夫婦型)(2組) 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規就農者の経営確立を支援する給付 金を資金を交付することにより、就農意欲の 喚起と就農後の経営安定につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域農業の優れた担い手を育成するた め、引き続き支援を行う。
8	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	農業イン ターンシッ プ 【H26以前】	将来の地域農業 を担う人材を育 成するため、実践 研修や先進地研 修等を実施する。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)	30人	43人	69		69	<ul style="list-style-type: none"> ■増田高校農業科学科の生徒を対象に、 市内先進農家での実践研修や管内・管外の 視察研修を実施。 ・農家研修 延べ12日間 ・視察研修 管内1回・管外1回 ・農業講話 3回 	<ul style="list-style-type: none"> ■実践研修や視察研修を通して、農業に対 する意識を高めてもらうことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■農業への理解を深めてもらい、新たな担 い手の確保につなげていくために事業を継続 していく。
9	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	「横手で農 業を」スター トアップ支援 事業 【H30】	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の 確保及び定着に 向けた取組みを 実施する。 ①情報発信(就 農相談会等への 出展) ②農業体験(就 農希望者を対象 にした現地見学、 短期研修の実施) ③定着支援(横 手市に転入して 農業を継続的に 営もうとする研修 生・新規就農者に 対する家賃補助) 	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)	30人	43人	1,167		1,167	<ul style="list-style-type: none"> ■情報提供事業 新・農業人フェア、秋田県移住就農個別相 談会、マイナビ就農FEST出展 ■農業体験事業 園芸農業短期研修の実施 ■定着支援事業 移住就農者への印賃借住宅家賃助成 	<ul style="list-style-type: none"> ■マイナビ就農FEST(8/4)、新・農業人 フェア(9/7、1/25) 出展 ■園芸農業短期研修(5名) ■定着支援事業補助金交付(3名) 	<ul style="list-style-type: none"> ■就農相談会から園芸農業短期研修への 誘導について、時期や研修内容を再考する 必要がある。 ■園芸農業短期研修受入予定(2名) ■賃貸借住宅家賃補助金交付予定(3名)

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

着手年度	No.	基本目標	款項目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成27年度					取組み状況	成果
									指標 目標値 (H27)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳			
												特定財源 (千円)	一般財源 (千円)		
10		1 / ①	6.1.3	就農支援事業	「横手のホップ」ステップアップ事業 【H30】	・ホップ生産者の担い手確保および新規栽培、又は拡大等に必要となるホップ棚及び高所作業車の導入又は修繕に係る費用の一部を助成。	新規栽培者	30人/毎年 (H27～31)							
11		1 / ①	6.1.3	就農支援事業	秋田のしいたけ販売三冠王獲得事業(建設) 【H31】	しいたけ生産施設等の整備に要する経費の一部を助成。	新規栽培者								
★12		1 / ①	6.1.3	就農支援事業	青年就農給付金事業 【H26以前】	原則45歳未満の新規就農者に年間150万円を給付する。	新規就農者数	30人/毎年 (H27～31)	30人/年	20人/年	18,802	18,797	5	<ul style="list-style-type: none"> ■新規6名 ■継続10名(H26年度に前倒支給41名) 	<ul style="list-style-type: none"> ■就農前後の青年就農者に対し給付金を給付することにより、青年の就農意欲の喚起と就農後の経営安定につながった。
★13		1 / ①	5.1.1	若年者等人財育成・地元定着支援事業	若年者等人財育成・地元定着支援事業 【H26以前】	・若年者の人材の育成を支援することにより、市内の企業、事業所等の雇用の安定及び若年者の定住を促進させる。求職者等が就業等に必要となる資格の取得に係る経費の一部を補助。	若年者等人財育成・地元定着支援事業を活用し資格取得等した人数(補助対象人数)	のべ80人/毎年 (H28～31)	—	のべ89人/年	4,500	0	4,500	<ul style="list-style-type: none"> ■市内企業・事業所等が18歳以上40歳以下の職員に対して行う人財育成に係る費用の一部補助。 ■市内に住所を有する18歳以上40歳以下の求職者等が就業等に資格の取得に係る経費の一部補助。 	<ul style="list-style-type: none"> ■申請件数 個人:30人 企業:のべ42事業所・59人 計 450万円補助
★14		1 / ①	5.1.1	若年者等人財育成・地元定着支援事業	就職情報総合ポータルサイト「ジョブナビ」構築事業 【H28】	・若者の横手市への定住促進のため、新卒者等の若い世代を対象としたUターンのための就職を支援 ・市内企業の求人状況や企業情報等就職情報ポータルサイトを構築	サイト登録事業者数	2,950事業所 (H28～31)							

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度										
								指標 目標値 (H28)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)	取組み状況	成果	今後の方向性			
10	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	「横手のホッ プ」ステップ アップ事業 【H30】	・ホップ生産者の 担い手確保およ び新規栽培、又 は拡大等に必要 なホップ棚及び 高所作業車の導 入又は修繕に係 る費用の一部を 助成。	新規栽培者	30人/毎年 (H27～31)											
11	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	秋田のしい たけ販売三 冠王獲得事 業(建設) 【H31】	しいたけ生産施 設等の整備に要 する経費の一部 を助成。	新規栽培者												
12	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	青年就農給 付金事業 【H26以前】	原則45歳未満の 新規就農者に年 間150万円を給 付する。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)	30人/ 年	30人/ 年	64,550	64,547	3	<ul style="list-style-type: none"> ■新規 3名 ■継続 42名 ■所得制限による給付停止 3名 	<ul style="list-style-type: none"> ■就農前後の青年就農者に対し給付金を 給付することにより、青年の就農意欲の喚起 と就農後の経営安定につながった 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域農業の優れた担い手に対し引き続き 支援を行う 			
13	1 / ①	5.1.1	若年者等 人財育成・ 地元定着 支援事業	若年者等 人財育成・地 元定着支援 事業 【H26以前】	・若年者の人材の 育成を支援する ことにより、市内 の企業、事業所等 の雇用の安定及 び若年者の定住 を促進させる。求 職者等が就業等 に必要な資格の 取得等に係る経 費の一部を補助。	若年者等 人財育成・地 元定着支援 事業を活用 し資格取得 等した人数 (補助対象 人数)	のべ80人/毎 年 (H28～31)	のべ80 人/年	のべ 122人 /年	5,578	0	5,578	<ul style="list-style-type: none"> ■市内企業・事業所等が18歳以上40歳以 下の従業員に対して行う人財育成に係る費 用の一部を補助。 ■市内に住所を有する18歳以上40歳以 下の求職者等が就業等のための資格取得等 に係る経費の一部を補助。 	<ul style="list-style-type: none"> ■補助件数 個人:37人 企業:のべ56事業所・85人 ■目標値を大きく超える対象者へ補助金を 交付し、事業所の雇用維持並びに若年者の 定住に寄与。 	<ul style="list-style-type: none"> ■現在、有効求人倍率も1を超えた状況か ら企業の従業員に対する資格取得等につい ては、一定の役割を終えたとし、H29年度は 企業向けの補助制度は廃止。 ■元来の趣旨である求職者と求人とのミス マッチ解消ならびに若年層の定住促進のた めに、個人向けに特化して事業を継続してい く。 			
14	1 / ①	5.1.1	若年者等 人財育成・ 地元定着 支援事業	就職情報総 合ポータル サイト「ジョ ナビ」構築 事業 【H28】	・若者の横手市 への定住促進の ため、新卒者等 の若い世代を対 象とした「Jターン ナビ」構築を 支援 ・市内企業の求 人状況や企業情 報等就職情報 ポータルサイトを 構築	サイト登録事 業者数	2,950事業所 (H28～31)	2,800 事業所	2,441 事業所	6,885	0	6,885	<ul style="list-style-type: none"> ■横手雇用開発協会へ事業委託し、横手 市企業・雇用情報サイト「横手JOBナビ」を9 月末に公開。 ■公開後も、サイト周知を継続し、内容充実 に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■9/30(金)にサイトを公開。 閲覧等確認状況 ・サイト登録事業者数 2,441件 ・サイト閲覧ユーザー数 延べ6,384人 35人/日 ・サイト閲覧数 延べ36,683回 200回/日 ・HP訪問者が見る平均ページ数 5.08ページ ・HP訪問者のうち1ページ見て戻る割合(直帰 率) 60.79%(40%～60%が目安) ・求人検索の利用:延べ8,040回 ・企業検索の利用:延べ7,549回 	<ul style="list-style-type: none"> ■各種就職面接会等の場への設置や企業 訪問時の掲載又は内容更新依頼を行い、サ イトの周知並びに内容の充実を図っていく。 また、フォローアップを行い、企業間及び求 人のマッチング状況を確認することで魅力あ るサイト運営に努めていく。 			

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 目 目 録	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
10	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	「横手のホッ プ」ステップ アップ事業 【H30】	・ホップ生産者の 担い手確保およ び新規栽培、又 は拡大等に必要 なホップ棚及び 高所作業車の導 入又は修繕に係 る費用の一部を 助成。	新規栽培者	30人/毎年 (H27～31)								
11	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	秋田のしい たけ販売三 冠王獲得事 業(建設) 【H31】	しいたけ生産施 設等の整備に要 する経費の一部 を助成。	新規栽培者									
12	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	青年就農給 付金事業 【H26以前】	原則45歳未満の 新規就農者に年 間150万円を給 付する。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)	30人	30人	66,800	66,796	4	<ul style="list-style-type: none"> ■新規採択者 4名 ■継続受給者 42名 ■所得制限による給付停止 1名 	<ul style="list-style-type: none"> ■就農前後の青年就農者に対し給付金を 給付することにより、青年の就農意欲の喚起 と就農後の経営安定につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域農業の優れた担い手に対し引き続き 支援を行う。
13	1 / ①	5.1.1	若年者等 人財育成・ 地元定着 支援事業	若年者等 人財育成・地 元定着支援 事業 【H26以前】	・若年者の人材の 育成を支援する ことにより、市内 の企業、事業所等 の雇用の安定及 び若年者の定住 を促進させる。求 職者等が就業等 に必要な資格の 取得等に係る経 費の一部を補助。	若年者等 人財育成・地 元定着支援 事業を活用 し資格取得 等した人数 (補助対象 人数)	のべ80人/毎 年 (H28～31)	80人	補助金 交付決定数62 人	2,895	0	2,895	<ul style="list-style-type: none"> ■事業周知として、ハローワーク横手の求人 検索システムトップ画面への補助内容掲載 や市報、市ホームページへ掲載 ■10月18日に予算上限に到達し、同日、申 請受付を終了。 ■申請受付終了後から現在まで、十数件程 度相談があり。 	<ul style="list-style-type: none"> ■補助金交付決定数62件うち求職者9件、 在職者56件(申請件数65件) ■車両系(大型特殊免許等)や建設系(建 設業経理士等)の資格取得が多く、申請全 体の6割を占めた。 ■若年者の資格取得等の補助により、能力 開発向上を促進し、地元定着と雇用の安定 に寄与した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■申請件数が少ない求職者の資格取得促 進を図れるよう、交付要件を改正予定。
14	1 / ①	5.1.1	若年者等 人財育成・ 地元定着 支援事業	就職情報総 合ポータル サイト「ジョ ナビ」構築 事業 【H28】	・若者の横手市 への定住促進の ため、新卒者等 の若い世代を対 象としたUターン のための就職を 支援 ・市内企業の求 人状況や企業情 報等就職情報 ポータルサイトを 構築	サイト登録事 業者数	2,950事業所 (H28～31)	2,850 事業所	2,454 事業所 (H30 年3月 末)時 点)	4,400	0	4,400	<ul style="list-style-type: none"> ■事業周知として、市ホームページや横手 市勤労者互助会HPへ掲載したほか、各企 業連絡協議会総会時および企業訪問時の 説明を行った。また、市、県、秋田県南工業 振興会等主催の各セミナー開催時にチラシ を配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ■サイト登録事業者数(2,454件) ■サイト閲覧ユーザー数 (延べ26,825人 73人/日) ■サイト閲覧数 (延べ78,425回 214回/日) ■HP訪問者が見る平均ページ数(2.92 ページ) ■HP訪問者のうち1ページ見て戻る割合 (直帰率80.15%[目安:40%～60%]) ■求人検索の利用(延べ14,695回) ■企業検索の利用(延べ9,198回) 	<ul style="list-style-type: none"> ■周知活動、SNSとの連携等により、引き続 き、登録事業所数およびサイト閲覧者数の 増加を図る。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 目 録	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成30年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H30)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
10	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	「横手のホッ プ」ステップ アップ事業 【H30】	・ホップ生産者の 担い手確保およ び新規栽培、又 は拡大等に必要 なホップ棚及び 高所作業車の導 入又は修繕に係 る費用の一部を 助成。	新規栽培者	30人/毎年 (H27～31)	30人	31人	1,489		1,489	<ul style="list-style-type: none"> ■作業機械・共同利用設備等の修繕に係る費用の一部助成 ■持続可能な産地づくりに向けた検討会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■作業機械・共同利用設備等の修繕に係る費用の一部助成(13件) ■持続可能な産地づくりに向けた検討会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■持続可能な産地づくりを目指し、栽培技術の向上、生産基盤の強化による経営の安定化を図りながら、新たなホップ生産者の確保・育成に努めていく。
11	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	秋田のしい たけ販売三 冠王獲得事 業(建設) 【H31】	しいたけ生産施 設等の整備に要 する経費の一部 を助成。	新規栽培者									
12	1 / ①	6.1.3	就農支援 事業	青年就農給 付金事業 【H26以前】	原則45歳未満の 新規就農者に年 間150万円を給 付する。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)								
13	1 / ①	5.1.1	若年者等 人財育成・ 地元定着 支援事業	若年者等 人財育成・地 元定着支援 事業 【H26以前】	・若年者の人材の 育成を支援する ことにより、市内 の企業、事業所等 の雇用の安定及 び若年者の定住 を促進させる。求 職者等が就業等 に必要な資格の 取得等に係る経 費の一部を補助。	若年者等 人財育成・地 元定着支援 事業を活用 し資格取得 等した人数 (補助対象 人数)	のべ80人/毎 年 (H28～31)	80人	補助金 交付決定数65 人	2,130	0	2,130	<ul style="list-style-type: none"> ■市内企業・事業所等が18歳以上40歳以下の従業員に対して行う人財育成に係る費用の一部を補助。 ■市内に住所を有する18歳以上40歳以下の求職者等が就業等のための資格取得等に係る経費の一部を補助。 	<ul style="list-style-type: none"> ■補助金交付決定数65件うち求職者5件、在職者60件(申請件数68件) ■車両系(大型特殊免許等)や製造系(床上下クレーン特別教育等)の資格取得が多く、申請全体の6割を占めた。 ■若年者の資格取得等の補助により、能力開発向上を促進し、地元定着と雇用の安定に寄与した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■申請件数が少ない求職者や企業または事業者の資格取得促進を図れるよう、交付要件の改訂予定。
14	1 / ①	5.1.1	若年者等 人財育成・ 地元定着 支援事業	就職情報総 合ポータル サイト「ジョ ナビ」構築 事業 【H28】	・若者の横手市 への定住促進の ため、新卒者等 の若い世代を対 象としたUターン のための就職を 支援 ・市内企業の求 人状況や企業情 報等就職情報 ポータルサイトを 構築	サイト登録事 業者数	2,950事業所 (H28～31)	2,900 事業所		4,400	0	4,400	<ul style="list-style-type: none"> ■横手雇用開発協会へサイト運営管理の事業委託を実施。 ■事業周知として、市ホームページ等への掲載および各企業総会、訪問時の説明、市・県等各セミナー開催時にチラシを交付。 	<ul style="list-style-type: none"> ■サイト登録事業者数(2,465件) ■閲覧ユーザー数(延べ49,358人・135人/日) ■閲覧ページ数(延べ102,989回・282/日) ■求人検索の利用:延べ12,692回 ■企業検索の利用:延べ10,397回 	<ul style="list-style-type: none"> ■周知活動、SNSとの連携等により引き続き、登録事業所数等およびサイト閲覧者数の増加を図る。 ■Yahoo!求人検索サイトへ掲載に関する契約締結を目指し、より効果的なサイト閲覧者数の増加を図る。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本手続	取組目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	令和元年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (R1)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
10	1 / ①	6.1.3	就農支援事業	「横手のホップ」ステップアップ事業 【H30】	・ホップ生産者の担い手確保および新規栽培、又は拡大等に必要となるホップ棚及び高所作業車の導入又は修繕に係る費用の一部を助成。	新規栽培者	30人/毎年 (H27～31)	30人	43人	2,726	2,000	726	<ul style="list-style-type: none"> ■持続可能な産地づくりに向けた研修制度の創設と実施 ■作業機械・共同利用設備等の修繕に係る費用の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ■ホップ栽培技術研修業務委託契約締結(大雄ホップ農協、研修生3名) ■横手のホップステップアップ事業補助金(12件) 	<ul style="list-style-type: none"> ■持続可能な産地づくりを目指し、栽培技術の向上、生産基盤の強化による経営の安定化を図りながら、新たなホップ生産者の確保・育成に努めていく。
11	1 / ①	6.1.3	就農支援事業	秋田のしいたけ販売三冠王獲得事業(建設) 【H31】	しいたけ生産施設等の整備に要する経費の一部を助成。	新規栽培者		1人	2人	343,613	301,021	42,592	<ul style="list-style-type: none"> ■事業実施者 11名(内、新規就農者2名) ■補助金執行額 交付決定額 343,613千円 	<ul style="list-style-type: none"> パイプハウス37棟、予冷库2台、簡易包装機1台、除雪機1台等 	<ul style="list-style-type: none"> ■市内農家から来年度の事業の継続要望が多く、事業を継続する。 ・事業要望者7名(内、新規就農者5名) ・補助要望額 524,900千円(内、新規就農者要望額 56,950千円)
12	1 / ①	6.1.3	就農支援事業	青年就農給付金事業 【H26以前】	原則45歳未満の新規就農者に年間150万円を給付する。	新規就農者数	30人/毎年 (H27～31)								
13	1 / ①	5.1.1	若年者等人財育成・地元定着支援事業	若年者等人財育成・地元定着支援事業 【H26以前】	・若年者の人材の育成を支援することにより、市内の企業、事業所等の雇用の安定及び若年者の定住を促進させる。求職者等が就業等に必要となる資格の取得等に係る経費の一部を補助。	若年者等人財育成・地元定着支援事業を活用し資格取得等した人数(補助対象人数)	のべ80人/毎年 (H28～31)	80人		2,658	0	2,658	<ul style="list-style-type: none"> ■市内企業・事業所等が18歳以上40歳以下の従業員に対して行う人財育成に係る費用の一部を補助。 ■市内に住所を有する18歳以上40歳以下の求職者等が就業等のための資格取得等に係る経費の一部を補助。 	<ul style="list-style-type: none"> ■若年者の資格取得や講習の受講等、職業能力開発に係る費用の一部に補助(事業者)交付決定件数:19件、交付金額:1,648千円(個人)交付決定件数:28件、交付金額:1,010千円 ■若年者の資格取得等の補助により、能力開発向上を促進し、地元定着と雇用の安定に寄与した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■令和元年度で事業廃止。
14	1 / ①	5.1.1	若年者等人財育成・地元定着支援事業	就職情報総合ポータルサイト「ジョブナビ」構築事業 【H28】	・若者の横手市への定住促進のため、新卒者等の若い世代を対象としたUターンナビ構築支援 ・市内企業の求人状況や企業情報等就職情報ポータルサイトを構築	サイト登録事業者数	2,950事業所 (H28～31)	2,900事業所		4,520	0	4,520	<ul style="list-style-type: none"> ■横手雇用開発協会へサイト管理運営管理を委託 ■アクセスの6割がスマートフォン等のモバイル端末からのアクセスであることから、同端末での表示最適化のためのサイト改修を実施。 ■ヤフー株式会社と「Yahoo!しごと検索」サイトへの情報掲載のため、求人情報掲載に関する契約を締結。 	<ul style="list-style-type: none"> ■サイト登録事業者数:2,476件 ■閲覧ユーザー数:延べ58,549人・160人/日 ■閲覧ページ数:延べ109,798ページ・210ページ/日 ■求人検索の利用:延べ12,403回 ■企業検索の利用:延べ8,979回 	<ul style="list-style-type: none"> ■横手雇用開発協会へサイト管理運営を委託予定。 ■事業効果検証のためのアンケートを実施予定。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

着手年度	No.	基本目標	款項目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成27年度					取組み状況	成果
									指標 目標値 (H27)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳			
												特定財源 (千円)	一般財源 (千円)		
○	15	1 / ①	5.1.1	若年者等 人財育成・ 地元定着 支援事業	インターン シップ促進 支援事業 【H29】	市内企業の魅力 の理解や市内就 職の促進に有効 な制度であるイン ターンシップの機 会を増やすため、 大学生等が負担 する市内企業へ のインターンシッ プ参加に要する 経費を助成	インター シップ参加 者	40名/毎年 (H29～31)							
*	16	1 / ①	7.1.2	起業・創業 支援事業	横手市起業 家育成事業 【H26以前】	・起業ワストップ 相談窓口の運営 ・BIZサポートよ こての運営 ・起業セミナー開 催 ・新たな起業又は 創業をしようとする 者に対し、起 業・創業支援事 業補助金を交付	UJターン起 業家数	2件/毎年 (H28～31)	—	—	10,149	952	9,197	<p>■具体的な活動内容</p> <p>①起業ワストップ相談窓口を設置し創業相談を実施。 ②Bizサポートよこてを運営し新規創業者を支援。 ③起業したい女性、起業したての女性経営者を対象に「女性のための起業家支援セミナー」を開催。 ④起業・創業意欲のある方等を対象に「よこて創業塾」を開催。 ⑤新たに起業される方に、起業・創業支援事業補助金を交付。</p>	<p>■延べ100名の方々に創業相談を実施。 ■6社が利用(うち1社が卒業) ■23名が参加し女性起業家の現状や起業準備等、事例紹介も含め様々な角度から考えるセミナーを実施。 ■16名が参加し事業計画立案、成功事例の紹介等をわかりやすく4日間の受講で学ぶ。 ■起業者5名</p>
*	17	1 / ①	7.1.2	起業・創業 支援事業	横手市起業 家発掘事業 【H28】	・県外在住の仕 事を作り出せる起 業家の移住を促 進 ・伴走型経営支 援(ハンズオン支 援)を行うことで、 起業家を育成	UJターン起 業家数	2件/毎年 (H28～31)							
*	18	1 / ①	7.1.2	成長産業 支援事業	特定産業・ 大規模立地 企業等研修 支援事業 【H28】	・特定業種や一 定の要件を満た す新規立地企業 等に対し、社員に 対する研修に係 る経費や研修を 受ける社員の旅 費を助成	新規立地企業数	1件/毎年 (H28～31)							

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H28)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
15	1 ①	5.1.1	若年者等 地元定着 支援事業	インターン シップ促進 支援事業 【H29】	市内企業の魅力 の理解や市内就 職の促進に有効 な制度であるイン ターンシップの機 会を増やすため、 大学生等が負担 する市内企業へ のインターンship 参加に要する 経費を助成	インターン シップ参加 者	40名/毎年 (H29～31)								
16	1 ①	7.1.2	起業・創業 支援事業	横手市起 業育成事業 【H26以前】	・起業ワンストップ 相談窓口の運営 ・Bizサポートよこ ての運営 ・起業セミナー開 催 ・新たな起業又は 創業をしようとする 者に対し、起 業・創業支援事 業補助金を交付	UIJターン起 業家数	2件/毎年 (H28～31)	6件/年	7件/年	10,948	1,630	9,318	<ul style="list-style-type: none"> ■起業ワンストップ相談窓口を設置し創業相談を実施。 ■Bizサポートよこてを運営し新規創業者を支援。 ■起業したい女性、起業したての女性経営者を対象に「女性のための起業家支援セミナー」を開催。 ■起業・創業意欲のある方等を対象に「よこて創業塾」を開催。 ■新たに起業される方に、起業・創業支援事業補助金を交付。 	<ul style="list-style-type: none"> ■延べ158名の方々に創業相談を実施。 ■7社が利用(うち1社が卒業) ■26名が参加し女性起業家の事例紹介やクラウドソーシング等を学ぶセミナーを実施。 ■12名が参加し事業計画立案、成功事例の紹介等をわかりやすく4日間の受講で学ぶ。 ■起業家7名 	<ul style="list-style-type: none"> ■起業・創業を活性化させるため創業支援事業計画による取組を継続し、創業支援事業者との連携と事業PRを強化する。
17	1 ①	7.1.2	起業・創業 支援事業	横手市起 業家発掘事業 【H28】	・県外在住の仕 事を作り出せる起 業家の移住を促 進 ・伴走型経営支 援(ハズオン支 援)を行うことで 、起業家を育成	UIJターン起 業家数	2件/毎年 (H28～31)	2件/年	2件/年	13,734	13,700	34	<ul style="list-style-type: none"> ■契約相手先である一般社団法人MAKOTOと定期的に打ち合わせを実施。情報提供にも努めた。【MAKOTO活動状況…訪問、ハズオン支援、起業家発掘調査】 ・5月 横手(延べ9社):活動5日 ・6月 横手(延べ10社)、仙台(1社):活動7日 ・7月 横手(延べ10社)、東京(2社)、湯沢(1社)、仙台(1社):活動11日 ・8月 横手(延べ15社)、仙台(1社)、にかほ市(1社)、東京(2社):活動16日 ・9月 横手(延べ6社)、仙台(1社)、東京(延べ5社):活動12日 ・10月 横手(延べ10社)、仙台(3社):活動7日 ・11月 横手(延べ19社):活動11日 ・12月 横手(延べ11社):活動9日 ・1月 横手(延べ9社):活動7日 ・2月 横手(延べ10社)、東京(1社):活動8日 ・3月 横手(延べ3社)、東京(1社):活動3日 	<ul style="list-style-type: none"> ■UIJターン起業家 2名がUIJターンにて開業準備を開始。 ■ビジネスマッチング 市内外でのネットワーク構築後、12件のマッチングを実施。成果目標は12件であり目標達成。 ■伴走型経営支援 6社支援。成果目標は6社であり目標達成。 	<ul style="list-style-type: none"> ■UIJターン起業家の誘致と将来的ポテンシャルのある中核的起業家を育成するプログラムを実施。
18	1 ①	7.1.2	成長産業 支援事業	特定産業・ 大規模立地 企業等研修 支援事業 【H28】	・特定業種や一 定の要件を満た す新規立地企業 等に対し、社員 に対する研修に 係る経費や研修 を受ける社員の 旅費を助成	新規立地企業 数	1件/毎年 (H28～31)	1件/年	1件/年	158	0	158	<ul style="list-style-type: none"> ■横手第二工業団地への新規大規模立地1社の計画を認定し、補助金の交付(158千円)を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■計画認定を行った大規模立地企業1社へ補助金を交付することにより、当該企業の立地を支援でき、平成28年度新規常用雇用21名(うち横手市民18名)を生み出すことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■大規模立地企業1社(2年目)とIT・ソフトウェア関連企業1社を支援予定。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
15	1 / ①	5.1.1	若年者等 人財育成・ 地元定着 支援事業	インターン シップ促進 支援事業 【H29】	市内企業の魅力 の理解や市内就 職の促進に有効 な制度であるイン ターンシップの機 会を増やすため、 大学生等が負担 する市内企業へ のインターンシッ プ参加に要する 経費を助成	インターン シップ参加 者	40名/毎年 (H29～31)	40人/ 年	補助金 交付決 定数16 人	223	0	223	<ul style="list-style-type: none"> ■市報、市ホームページ、よこてれび、市facebookへ掲載 ■横手JOBナビへ掲載 ■かまくらFMでの放送 ■企業へ個別通知送付(県南工業振興会総会時配布60部、動向調査企業へ配布、秋田県インターンシップ実施企業(横手市内企業)へ郵送) ■県移住・定住促進課との連携(県が協定を締結している大学(10大学)への情報提供) ■ふるさと定住機構との連携(ふるさと定住機構を通し横手市内にインターンシップをする大学生への事業紹介) ■県内大学への事業周知(秋大、県立大、秋田高専) ■中小企業庁施策マップへの掲載 ■成人式出席者への事業周知チラシ配布 	■補助金交付決定数 (16人)	■周知活動、SNSとの連携等により、引き続き、利用者数の増加を図る。
16	1 / ①	7.1.2	起業・創業 支援事業	横手市起 業育成事業 【H26以前】	・起業ワンストップ 相談窓口の運営 ・Bizサポートよこ ての運営 ・起業セミナー開 催 ・新たな起業又は 創業をしようとする 者に対し、起 業・創業支援事 業補助金を交付	UJターン起 業家数	2件/毎年 (H28～31)	7件/年	9件/年	11,368	1,566	9,802	<ul style="list-style-type: none"> ■起業ワンストップ相談窓口を設置し創業相談を実施。 ■Bizサポートよこてを運営し新規起業家を支援。 ■2日間に亘り起業したい女性、起業したての女性を対象に「女性のための起業家支援セミナー」を開催。 ■新たに起業される方に、起業・創業支援事業補助金を交付。 	<ul style="list-style-type: none"> ■創業相談の実施(延べ154名) ■インキュベーションオフィス6社(ほか1社が卒業)、シェアードスペース3名が利用。 ■21名(延べ34名)が参加。女性起業家の事業紹介やワークショップにより起業へのきっかけづくりとネットワークづくりを実施。 ■起業家9名 	■起業・創業を活性化させるため創業支援事業計画による取組を継続し、創業支援事業者との連携と事業PRを強化する。
17	1 / ①	7.1.2	起業・創業 支援事業	横手市起 業発掘事業 【H28】	・県外在住の仕 事を作り出せる起 業家の移住を促 進 ・伴走型経営支 援(ハズオン支 援)を行うことで 、起業家を育成	UJターン起 業家数	2件/毎年 (H28～31)	2件/年	0件/年	10,869	0	10,869	<ul style="list-style-type: none"> ■UJターン起業家の市内での起業およびサテライトオフィス誘致(3件以上) ■イベント等で都市圏人材へのアプローチを進めている。8月には東北を回り起業家訪問を行うツアーを実施。横手市には首都圏から4名が参加しCAMOSIBAを見学。横手の起業家や事業を紹介することを通じ、既存の起業家の課題解決を行いながら横手市に関係する人材、訪問する人材を募る。 ■ビジネススクール受講者(15件以上・受講者32名) ■アクセラレータープログラム選抜者(3名) ■内容:第1回～第3回を集合支援としてセミナー型の研修とする。それぞれ「法務」「販売」「人事」とEラーニングの内容の発展版として、事業進捗に伴い発生する課題に対応したコンテンツとする。第4回を資金調達マッチングとして金融機関とのマッチングを行う。 ■選抜:集合研修の内容と選抜用のアンケートフォームをEラーニング受講者にメールで送信を行い、回答のあった方から事業内容、成長意欲、参加可能回数などを確認協議し、3名を選抜者として決定。 	<ul style="list-style-type: none"> ■UJターン起業家 イベント等で都市圏人材へのアプローチを進めていたが「厳しい人取り合戦の環境に年々なってきた」「すぐの移住ではなく関係人口を増やしていく」という総務省の方針も相まって変更が必要な箇所と認識している」との意見をMAKOTOからいただいた。関係人口を増やしていくという面では成果はあり今後につながるものと認識しているが、結果として移住起業には至らなかった。 ■ビジネススクール受講者(32名) ■アクセラレータープログラム選抜者 地域内に中核的起業家を育てるべく、東北各地から選りすぐった起業家を集め集中的な支援を行うプログラムに横手市から3名を選抜し参加。 	■UJターン起業家の市内での起業およびサテライトオフィス誘致については実績がなく廃止とする。アクセラレータープログラムについては継続して実施する。
18	1 / ①	7.1.2	成長産業 支援事業	特定産業・ 地 企業等研修 支援事業 【H28】	・特定業種や一 定の要件を満た す新規立地企業 等に対し、社員 に対する研修に 係る経費や研修 を受ける社員の 旅費を助成	新規立地企業数	1件/毎年 (H28～31)	1社/年	1社/年	215	0	215	<ul style="list-style-type: none"> ■H28年度に計画認定(2か年)した1社に対し、2年目として実施する各種資格取得費への補助金交付。 	<ul style="list-style-type: none"> ■測定器指導講習や精密計測技術セミナーの受講等により、新規立地に伴う人材育成支援に寄与した。 ■補助金交付(対象者:6名) 	■H30年度は対象企業なし。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 目 録	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成30年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H30)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
15	1 / ①	5.1.1	若年者等 人財育成・ 地元定着 支援事業	インターン シップ促進 支援事業 【H29】	市内企業の魅力 の理解や市内就 職の促進に有効 な制度であるイン ターンシップの機 会を増やすため、 大学生等が負担 する市内企業へ のインターンシッ プ参加に要する 経費を助成	インターン シップ参加 者	40名/毎年 (H29～31)	40人/ 年	補助金 交付決 定数19 人	229	0	229	<ul style="list-style-type: none"> ■市報、市ホームページ、よこてれび、市facebookへ掲載 ■かまくらFMでの放送 ■企業へ個別通知送付(市内インターンシッ プ実施企業へ郵送) ■県移住・定住促進課との連携(県が協定 を締結している大学(14大学)への情報提 供) ■ふるさと定住機構との連携(ふるさと定住 機構を通し横手市内にインターンシップをす る大学生への事業紹介) ■県内大学への事業周知(秋大、県立大、 秋田高専) ■成人式出席者への事業周知チラシ配布 	<ul style="list-style-type: none"> ■補助金交付決定数 (19人) 	<ul style="list-style-type: none"> ■周知活動、SNSとの連携等により、引き続 き利用者数の増加を図る。
16	1 / ①	7.1.2	起業・創業 支援事業	横手市起 業家育成事業 【H26以前】	<ul style="list-style-type: none"> ・起業ワンストップ 相談窓口の運営 ・Bizサポートよこて での運営 ・起業セミナー開 催 ・新たな起業又は 創業をしようとする 者に対し、起 業・創業支援事 業補助金を交付 	UIJターン起 業家数	2件/毎年 (H28～31)	9件/年	19件/ 年	16,738	1,435	15,303	<ul style="list-style-type: none"> ■起業ワンストップ相談窓口を設置し、創業 相談を実施。 ■Bizサポートよこてを運営し、新規創業者を 支援。 ■2日間に亘り起業したい女性、起業したて の女性を対象に「女性のための起業家支援 セミナー」を開催。 ■新たに起業される方に、起業・創業支援 事業補助金を交付。 	<ul style="list-style-type: none"> ■創業相談の実施(延べ159名) ■インキュベーションオフィス7社が利用(う ち2社が卒業)、シェアードブース4名が利 用。 ■14名(延べ21名)が参加。女性起業家の 事業紹介やワークショップにより起業への きっかけづくりとネットワークづくりを実施。 ■起業家19名 	<ul style="list-style-type: none"> ■起業・創業を活性化させるため創業支援 事業計画による取組を継続し、創業支援事 業者との連携と事業PRを強化する。
17	1 / ①	7.1.2	起業・創業 支援事業	横手市起 業家発掘事業 【H28】	<ul style="list-style-type: none"> ・県外在住の仕 事を作り出せる起 業家の移住を促 進 ・伴走型経営支 援(ハンズオン支 援)を行うことで、 起業家を育成 	UIJターン起 業家数	2件/毎年 (H28～31)	プログラ ム参加 者10名	成果に 記載の とおり	7,218	0	7,218	<ul style="list-style-type: none"> ■E-ラーニング(15名以上) 起業や経営に必要な知識を効率的に身に付け られるE-ラーニング形式のビジネススクール全 32講座を実施。 ■事業創りに関するセミナー(15名以上) E-ラーニングだけでは身に付けられない知識や ノウハウをワークショップ形式で学ぶセミナーを実 施。市内起業家人材の発掘も行う。 ■集合研修(5名以上) テーマ別セミナーと起業家同士双方向型の学 びによる集合研修により、事業成長と起業家同士 が学び合うコミュニティを構築する。 ■個別ハンズオン支援(3名以上) 将来的に横手市を代表する起業家に成長する ことが期待できる起業家に対して、個別のハンズ オン支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■E-ラーニング(35名) ■事業創りに関するセミナー(延べ40名) テーマを変えて4回のセミナーを実施。起業 の準備を行っている方や起業したばかりの方が 早い段階でアイデアをしっかりとプランに整理 したり、経営にデザイン思考を取り入れる方法 を学ぶ。 ■集合研修(延べ14名) テーマを変えて3回の研修を実施。ケースタ ディ形式の課題分析等のワークショップや、会 計的な面から経営的判断を行う演習、デザイ ンマネジメントの観点から事業の一貫性と展開 力を高める方法を学ぶ。 ■個別ハンズオン支援(3名) 成長することが期待される起業家に対して、 個別のハンズオン支援を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ■今後の方向性としては、事業を自分で作 り、雇用機会を作れるような「地域の中心と なる起業家」を増やし、県南エリアの中心都 市として起業家・チャレンジャーが集まるエリ アを構築したい。 起業に関心を持った段階から起業するまで の敷居をこれまでよりも下げ、起業準備中 の方、起業に関心のある方、何か新しいこと にチャレンジしたい方を発掘し、起業への関 心が比較的低い方でも「起業できる」よ うなることを目的として、地域の中に1年 間のプログラムを通じて起業家を増やす「 事業づくりステップアッププログラム」 を実施する。
18	1 / ①	7.1.2	成長産業 支援事業	特定産業・ 地 企業等研修 支援事業 【H28】	<ul style="list-style-type: none"> ・特定業種や一 定の要件を満た す新規立地企業 等に対し、社員 に対する研修に 係る経費や研修 を受ける社員の 旅費を助成 	新規立地企業数	1件/毎年 (H28～31)	—	—	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ■平成30年度対象企業なし 		

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手続 取組目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	令和元年度					取組み状況	成果	今後の方向性
							指標 目標値 (R1)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
15	1 /①	5.1.1 若年者等 人財育成・ 地元定着 支援事業	インターン シップ促進 支援事業 【H29】	市内企業の魅力 の理解や市内就 職の促進に有効 な制度であるイン ターンシップの機 会を増やすため、 大学生等が負担 する市内企業へ のインターンシッ プ参加に要する 経費を助成	インターン シップ参加 者	40名/毎年 (H29～31)	40人/ 年	補助金 交付決 定数32 件	589	0	589	・インターンシップ補助金交付決定件数21 件123千円 ・10/15に大卒等採用情報セミナーと称し、 ハローワーク、県と共催でセミナー開催予 定。大学生のインターンシップの実情につ いてインターンシップコーディネーターが講演す るほか、大学就職担当課や実際に大卒の採 用活動をしている企業の担当者らの講演も 予定している。	・インターンシップ補助金交付決定件数 32件217千円 ・大卒等採用情報セミナー開催 参加事業所30社(36名) ・若者サロンの開催 業種:建設業 参加人数15人 ・首都圏大学へのインターンシップ開拓訪問 4大学	■市内企業が、学生が魅力的と感じるイン ターンシップを実施できるよう支援する。
16	1 /①	7.1.2 起業・創業 支援事業	横手市起業 家育成事業 【H26以前】	・起業ワンストップ 相談窓口の運営 ・Bizサポートよこ ての運営 ・起業セミナー開 催 ・新たな起業又は 創業をしようとする 者に対し、起業 ・創業支援事 業補助金を交付	UIJターン起 業家数	2件/毎年 (H28～31)	9件/年	13件/ 年	13,337	591	12,746	①起業ワンストップ相談窓口を設置し、創業 相談及びフォローアップ支援を実施。 ②Bizサポートよこてを運営し、新規創業者を 支援。 ③新たに起業される方に、起業・創業支援 事業補助金を交付。 ④2日間に亘り起業したい女性、起業したて の女性を対象に「女性のための起業家支援 セミナー」を開催。	①起業ワンストップ相談窓口利用者数 164 件、フォローアップ支援者数10件 ②R2.3.31現在インキュベーションオフィス5 社が利用(うち新規3社、ほか3社が卒業) ③起業・創業事業補助金 5,308千円 13件(一般枠11件 3,708円/移住枠2件 1,600円/ICT枠 0件) ④10/16、10/30開催 17名(延べ28名)が 参加。女性起業家の事業紹介やワークショ ップにより起業へのきっかけづくりとネットワ ークづくりを実施。	■起業・創業を活性化させるため創業支援 事業計画による取組を継続し、創業支援事 業者との連携と事業PRを強化する。
17	1 /①	7.1.2 起業・創業 支援事業	横手市起業 家発掘事業 【H28】	・県外在住の仕 事を作り出せる起 業家の移住を促 進 ・伴走型経営支 援(ハズオン支 援)を行うことで、 起業家を育成	UIJターン起 業家数	2件/毎年 (H28～31)	プログラ ム参加 者10名	プログラ ム参加 者延べ 104名	7,351	0	7,351	①E-ラーニング ※横手市周辺エリアの受講者(目標数値20 名以上) ②ステップアップ起業スクール ※6月～2月毎月第3金曜日 (目標数値20名以上※各講座ごと) ・起業基礎講座(6月～8月) ・アイデア創り講座(9月～11月) ・資金調達講座(12月～2月) ③伴走型経営支援(目標数値上限10名)	①E-ラーニング受講者 16人 ※横手市周辺エリアの受講者 ②ステップアップ起業スクール ・起業基礎講座参加者 延べ41人 ・アイデア創り講座参加者 延べ41人 ・資金調達講座参加者 延べ22人 ③伴走型経営支援数 11人	当初の事業目的であった、若者流出に歯止めをかける 策として、移住・帰郷した若者が起業し、周りの人間を 巻き込んで地域を盛り上げるキーパーソン人材となる起 業家を誘致・育成し、さらなる起業家が生まれ、新たな ビジネスや雇用を連鎖的に創出、若年層の定着、市内 経済の活性化、地域課題の解決等を目指すという目標 は未達成となった(平成28～29年度) 平成31年度は、起業準備中の方、起業に関心のある 方を発掘し、起業への関心が比較的低い方でも「起業 できる」ようになることを目的として、地域の中に1年間 のプログラムを通じて起業家を増やす「ステップアップ 起業スクール」を実施した。延べ100名を超える方々に 参加いただいた。 このようなことから、セミナーや伴走型支援において は、市内起業家が数多く発掘され、また起業家ネット ワークが出来つつあることから、一定の効果が得られた と考えるが、当初期待されていたキーパーソン人材とな る起業家の誘致については実現しなかったことから令和 元年度をもって事業を終了する。
18	1 /①	7.1.2 成長産業 支援事業	特定産業・地 企業等研修 支援事業 【H28】	・特定業種や一 定の要件を満た す新規立地企業 等に対し、社員に 対する研修に係 る経費や研修を 受ける社員の旅 費を助成	新規立地企業数	1件/毎年 (H28～31)	1社/年		0	0	0	■令和元年度対象企業なし	■令和元年度で事業廃止。	

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

着手年度	No	基本目標	款項目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成27年度					取組み状況	成果
									指標 目標値 (H27)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)		
* 19	1 / ①		7.1.2	成長産業支援事業	BIGプロジェクト支援事業 【H28～H30、R2～】	・投資額5億円超(土地・消費税除く)かつ新規正規雇用10人以上を行う市内中小企業及び市内に新たに立地する企業に対し、投資額の5%(上限5千万円)を補助する。	新規立地企業数	1件/毎年 (H28～31)							
20	1 / ①		7.1.2	成長産業支援事業	地域経済牽引事業【地方創生推進交付金】 【H31】	・投資額30億円超(土地・消費税除く)かつ新規正規雇用30人以上を行う地域経済牽引事業計画の承認を受けた市内中小企業者に対し、投資額の30%(上限1億	当該事業該当企業数	1件/毎年 (R1～2)							
* 21	1 / ①		7.1.2	成長産業支援事業	ICTビジネス推進事業 【H26以前】	・ビジネスに活用できるICTセミナーを開催	新規立地企業数	1件/毎年 (H28～31)	—	—	130	0	130	<p>■具体的な取組み 業務の効率化を図るために作られたビジネスアプリを、スマートフォン・タブレットを使って活用した「ビジネスアプリ徹底活用セミナー」を平成28年3月5日(土)に開催。</p> <p>■事業費の主な内訳 委託料 65千円 印刷製本費(チラシ)65千円</p>	<p>■セミナー受講実績 横手市民で市内の事業所に勤務している方。 9名(男4名、女5名)</p>
* 22	1 / ①		7.1.2	新製品・新技術開発支援事業	地域ビジネス発掘調査事業 【H26以前】	・産業振興に向けた市の課題解決に結びつく、企業アイデアの商品化や新製品等の開発のための試験を委託により実施	新製品開発着手企業件数	2件/毎年 (H27～31)	1件/年	1件/年	62	0	62	<p>■具体的な活動内容 公益財団法人大田区産業振興協会・(株)カセタと共同でいぶりがっこ製造時、大根の吊るし上げを省力化できる装置を開発</p>	<p>■いぶりがっこ製造省力化装置の開発 山内地域のいぶりがっこ生産者の声を聞きながら、公益財団法人大田区産業振興協会・(株)カセタと共同で大根をいぶし小屋につるす際、楽につるすことができる装置を開発。</p>

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 引 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H28)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
19	1 / ①	7.1.2	成長産業支援事業	BIGプロジェクト支援事業 【H28～H30、R2～】	・投資額5億円超(土地・消費税除く)かつ新規正規雇用10人以上を行う市内中小企業及び市内に新たに立地する企業に対し、投資額の5%(上限5千万円)を補助する。	新規立地企業数	1件/毎年(H28～31)	1件/年	1件/年	50,000	50,000	0	■横手第二工業団地への新規大規模立地2社の計画を認定し、うち1社への補助金の交付(50,000千円)を行った。	■計画認定を行った大規模立地企業1社へ補助金を交付することにより、当該企業の立地を支援でき、平成28年度新規常用雇用21名(うち横手市民18名)を生み出すことができた。	■H28年度に計画認定したもう1社に対し、H30年度(認定計画期間の満期)に補助金交付予定。
20	1 / ①	7.1.2	成長産業支援事業	地域経済牽引事業【地方創生推進交付金】 【H31】	・投資額30億円超(土地・消費税除く)かつ新規雇用30人以上を行う地域経済牽引事業計画の承認を受けた市内中小企業者に対し、投資額の30%(上限1億	当該事業該当企業数	1件/毎年(R1～2)								
21	1 / ①	7.1.2	成長産業支援事業	ICTビジネス推進事業 【H26以前】	・ビジネスに活用できるICTセミナーを開催	新規立地企業数	1件/毎年(H28～31)	10名/年	10名/年	234	0	234	■ビジネスで売れる仕組みを構築するため、マーケティングに使えるITスキルを活用し、企業の売上げアップと付加価値の向上を図るための「ITスキルを活用したマーケティングセミナー」を平成29年3月16日(木)に開催。	■セミナー受講実績 横手市内の事業所(非製造業)に勤務している方、または、横手市民で起業を目指している方。10名	■市内のIT系企業の事業拡大及びICTを活用した起業を目指している方の起業推進を図るため、ITツールを習得できるセミナー等を開催する。
22	1 / ①	7.1.2	新製品・新技術開発支援事業	地域ビジネス発掘調査事業 【H26以前】	・産業振興に向けた市の課題解決に結びつく、企業アイデアの商品化や新製品等の開発のための試験を委託により実施	新製品開発着手企業件数	2件/毎年(H27～31)	2件/年	1件/年	55	0	55	■平成26年度から開発に着手し、改良の声を反映した、いぶりがっこ製造省力化装置を生産者を交えて実証実験実施した。	■実証実験の結果、いぶりがっこ製造省力化装置の改良について、生産者の方々からも評価いただき、開発・改良について、一定の成果が見られた。	■新たな地域課題として、レタスの水耕栽培において、水温が上がりすぎないようにする仕組みの開発依頼があり、来年度以降、大田区産業振興協会と企業と連携し、進めたい。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
19	1 / ①	7.1.2	成長産業支援事業	BIGプロジェクト支援事業 【H28～H30、R2～】	・投資額5億円超(土地・消費税除く)かつ新規正規雇用10人以上を行う市内中小企業及び市内に新たに立地する企業に対し、投資額の5%(上限5千万円)を補助する。	新規立地企業数	1件/毎年(H28～31)	1件	0件	0	0	0	■実績なし	■実績なし	■H28年度に計画認定した1社に対し補助金を交付予定。
20	1 / ①	7.1.2	成長産業支援事業	地域経済牽引事業【地方創生推進交付金】 【H31】	・投資額30億円超(土地・消費税除く)かつ新規雇用30人以上を行う地域経済牽引事業計画の承認を受けた市内中小企業者に対し、投資額の30%(上限1億	当該事業該当企業数	1件/毎年(R1～2)								
21	1 / ①	7.1.2	成長産業支援事業	ICTビジネス推進事業 【H26以前】	・ビジネスに活用できるICTセミナーを開催	新規立地企業数	1件/毎年(H28～31)	10人/回	9人/回	199	0	199	■「実践！売上UPに効くデータ分析セミナー」の開催(H30.2/8) ■講師を招き、データ分析法や有効的なデータ分析活用法を主としたセミナーを開催。市内事業所に勤務する9名がセミナーに参加。	■東証一部企業等の生産性や経営改善を支援する専門家を招き、幅広い業種で活用できるITツールを活用したデータ分析セミナーを開催した。	■事業内容等について精査必要。
22	1 / ①	7.1.2	新製品・新技術開発支援事業	地域ビジネス発掘調査事業 【H26以前】	・産業振興に向けた市の課題解決に結びつく、企業アイデアの商品化や新製品等の開発のための試験を委託により実施	新製品開発着手企業件数	2件/毎年(H27～31)	2件	0件	51	0	51	■産学連携の取り組みを強化した。 ■市内企業2社の技術課題に対し、東北大学と連携し、その課題解決に向けて取り組んでいる。	■東北大学との連携強化により、市内企業の課題解決に向けた取り組みに対し、多面的な支援を行う体制を整備した。	■産学官の取り組みを強化し、市内関係機関の一体的なネットワークを構築することで横手市全体で商工業振興に取り組んでいく。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成30年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H30)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
19	1 / ①	7.1.2	成長産業 支援事業	BIGプロジェ クト支援事 業 【H28～ H30、R2 ～】	・投資額5億円 超(土地・消費税 除く)かつ新規正 規雇用10人以上 を行う市内中小 企業及び市内に 新たに立地する 企業に対し、投資 額の5%(上限5 千万円)を補助す る。	新規立地企業数	1件/毎年 (H28～31)	1件	1件	48,734	48,734	0	<p>■市内に新たに立地する企業または市内中小企業が行う大型設備投資案件に対し、その経費の一部を補助(対象経費の5%、上限500万円)</p> <p>■大橋鉄工秋田(株)(自動車部品製造業:横手第二工業団地)に交付。</p>	<p>■H28年度の計画認定した大橋鉄工秋田(株)のH28年からH30年の投資経費974,698千円に対し、48,734千円の補助金を交付。</p> <p>■当該企業の立地を支援でき、令和元年8月時点で35人の新規常用雇用を生み出すことができた。</p>	<p>■制度の見直しを検討中。</p>
20	1 / ①	7.1.2	成長産業 支援事業	地域経済牽 引事業【地 方創生推進 交付金】 【H31】	・投資額30億円 超(土地・消費税 除く)かつ新規雇 用30人以上を行 う地域経済牽引 事業計画の承認 を受けた市内中 小企業者に対し 、投資額の30% (上限1億	当該事業該当企業数	1件/毎年 (R1～2)								
21	1 / ①	7.1.2	成長産業 支援事業	ICTビジネス 推進事業 【H26以前】	・ビジネスに活用 できるICTセミナー を開催	新規立地企業数	1件/毎年 (H28～31)								
22	1 / ①	7.1.2	新製品・新 技術開発 支援事業	地域ビジネ ス発掘調査 事業 【H26以前】	・産業振興に向け た市の課題解決 に結びつく、企業 アイデアの商品 化や新製品等の 開発のための試 験を委託により実 施	新製品開発 着手企業件 数	2件/毎年 (H27～31)	2件	14件	830	0	830	<p>■H30.5.1付けで、大手電機メーカーや東北大学産学連携機構で活躍された松井康氏を横手市企業支援アドバイザーとして委嘱した。</p> <p>アドバイザーを核として企業訪問を実施し、市内企業の技術課題並びに経営課題の解決支援に取り組んだ。</p>	<p>■企業等訪問件数93件(企業59件)、うち課題解決着手数14件 (達成率:企業訪問件数105.6%、課題解決着手数280%)</p> <p>■課題解決先数2件</p>	<p>■産学連携の取組みの強化と企業支援アドバイザーとの連携を図り、大学や企業支援アドバイザーが有する知見の提供により、市内事業者の課題解決と新たなビジネスの発掘を通じ産業振興を図る。</p> <p>■東北大学等の学術機関との連携強化による企業支援体制の構築。</p> <p>■企業の新技術・新商品開発の各プロセスにおける課題や経営課題に対し、企業支援アドバイザーとの連携により解決支援に取り組む。</p>

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手続	取組目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	令和元年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (R1)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
19	1 / ①	7.1.2	成長産業 支援事業	BIGプロジェ クト支援事 業 【H28～ H30、R2 ～】	・投資額5億円 超(土地・消費税 除く)かつ新規正 規雇用10人以上 を行う市内中小 企業及び市内に 新たに立地する 企業に対し、投資 額の5%(上限5 千万円)を補助す る。	新規立地企業数	1件/毎年 (H28～31)								
20	1 / ①	7.1.2	成長産業 支援事業	地域経済牽 引事業【地方 創生推進 交付金】 【H31】	・投資額30億円 超(土地・消費税 除く)かつ新規雇 用30人以上を 行う地域経済牽 引事業計画の承 認を受けた市内 中小企業者に対 し、投資額の 30%(上限1億	当該事業該 当企業数	1件/毎年 (R1～2)	1件	1件	100,000	50,000	50,000	■R1.4.1付けで㈱アスターに対し1億円の補 助金交付決定済み。	■「高効率電動モーターコイル製造拠点事 業」において、横手第二工業団地内の新工 場にコイル製造設備及び分析評価装置を導 入。18人の正規雇用を実施。 ■整備のための設備投資経費に対し1億円 の補助金を交付。	■令和2年度も㈱アスターの同事業実施経 費に対し1億円を交付予定
21	1 / ①	7.1.2	成長産業 支援事業	ICTビジネス 推進事業 【H26以前】	・ビジネスに活用 できるICTセミナー を開催	新規立地企業数	1件/毎年 (H28～31)								
22	1 / ①	7.1.2	新製品・新 技術開発 支援事業	地域ビジネ ス発掘調査 事業 【H26以前】	・産業振興に向け た市の課題解決 に結びつく、企業 アイデアの商品 化や新製品等の 開発のための試 験を委託により実 施	新製品開発 着手企業件 数	2件/毎年 (H27～31)	2件	3件	4,552	0	4,552	■H30年度に引き続き、松井康氏を横手市 企業支援アドバイザーとして委嘱した。 ■アドバイザーを核として企業訪問を実施 し、市内企業の技術課題並びに経営課題の 解決支援に取り組んだ。 ■東北大学の先生を講師に迎え研修を実施。	■企業支援アドバイザーを核として、H30年度に 訪問した企業の中から10社程度を選定し、集中 的に支援を実施。 ■R1年度実績 ・企業訪問実数8件(秋田ヘルシー食産、工房成 瀬、十文字光学、アトラス、アスター、宮腰デジ タルシステムズ、伊藤建設工業、ロジザード) ・企業訪問延べ数71件 ・新規課題解決着手数3件 (工房成瀬:くん炭を用いた電気二重層キャパ シタの開発) (アトラス:通信アルゴリズムにおける東北大教 授との連携) (十文字光学:経営戦略策定支援) ■東北大との連携により、東北大の先生を講師 に迎え「第1回横手市産学官連携人材育成研修 会」を実施。	■R元年度と同内容で継続。 ■産学連携の取組みの強化と企業支援アド バイザーとの連携を図り、大学や企業支援アド バイザーが有する知見の提供により、市内 事業者の課題解決と新たなビジネスの発掘 を通じ産業振興を図る。 ■東北大学等の学術機関との連携強化に よる企業支援体制の構築。 ■企業の新技術・新商品開発の各プロセス における課題や経営課題に対し、企業支援 アドバイザーとの連携により解決支援に取り 組む。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

着手年度	No.	基本目標	款項目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成27年度						取組み状況	成果
									指標 実績値 (H27)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳				
												特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
◆	23	1 / ①	7.1.2	新製品・新技術開発支援事業	ものづくり事業化プラン・プロジェクト発掘支援事業 【H26⇒27繰越】	・新製品・新技術開発者への補助 ・新製品・新技術のプラン、プロジェクトの募集・発掘と開発者とのマッチング ・地域課題を発掘し、課題解決に向けた各種団体との調査研究及び新製品を開発	新製品開発着手企業件数	2件/毎年 (H27～31)	1件/年	1件/年	10,000	10,000	0	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な活動内容 ものづくり事業化プラン開発支援補助金 三又建設株式会社 1件 ※ものづくりプランコンテスト: 優秀プランなし ■事業分野開拓者認定制度審査会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・審査会委員報酬 ・専門家謝礼 	<ul style="list-style-type: none"> ■杉皮防草マットの開発に支援 <ul style="list-style-type: none"> ・製材工場で発生し、多くが産廃処理される杉皮を活用した防草マットの試作に係る生産システムの整備を支援。 ■認証制度の創設 <ul style="list-style-type: none"> ・新商品開発により新事業分野開拓者認定制度を創設 ・1社 7製品を認証 	
◆	24	1 / ①	7.1.2	IT・ソフトウェア関連産業立地優遇制度助成事業	IT・ソフトウェア関連産業立地優遇制度助成事業 【H26⇒27繰越】	・ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業等の業種で、新規に3名以上を正規雇用、または市内事業所等における純増を行った法人に対し助成	対象とする産業について新規雇用を伴い起業又は事業拡大した事業所数	2事業所/毎年 (H27～31)	1事業所/年	1事業所/年	5,350	5,350	0	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な実績 ・アイテクノ株式会社 1社に対する補助金 【参考】アイテクノ株式会社の事業 ■ICTを活用した建築に関する企画・設計及び管理等 ■事業費の主な内訳 補助金 5,350千円 (雇用 3,000千円・従業員家賃 1,440千円・事務所賃貸 756千円・通信費 154千円) 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規雇用数: 正規雇用 11名 (うち横手市在住 10名) (10名の年齢: 21～23歳) 	
●	25	1 / ②	10.1.3	「横手を学ぶ郷土学」創設事業	「横手を学ぶ郷土学」創設事業 【H27】	・全小中学生向けの「横手を学ぶ郷土学総合テキスト」の作成 ・文化財の伝承と発信のために伝統芸能の育成	「横手を学ぶ郷土学」完全実施校	23校(全校) (H31)	—	0校	167	0	167	<ul style="list-style-type: none"> ■横手を学ぶ郷土学のシンボルマークデザイン及び総合テキスト「よこてだすき」のロゴデザインを作成、総合テキストの東見本(つかみほん)の印刷を行った。 	<p>横手を学ぶ郷土学シンボルマーク、総合テキスト「よこてだすき」のロゴマーク、総合テキスト東見本(つかみほん)が完成したことにより、H28年度より本格化する編集作業のイメージとその共有ができた。</p> <p>横手を学ぶ郷土学シンボルマーク: 1点 総合テキスト「よこてだすき」のロゴマーク: 1点 総合テキスト東見本: 2点</p>	
★	26	1 / ②	10.1.3	次世代ものづくり人材育成事業	次世代ものづくり人材育成事業 【H26以前】	・ものづくりを中心とした学習や職業に関する学習等、キャリア教育の充実を図る取組により、児童生徒の望ましい労働観・職業観の育成を促進させる。	「横手市キャリア教育研修会」に対する「大変参考になった」と回答する教職員の割合	73% (H31)	—	59% (H27)	621	—	621	<ul style="list-style-type: none"> ■キャリア教育研修会を開催(実施日: 1/7 参加人数: 26人) ■横手市小学生職場見学バスツアーを実施(実施日: 8/4 参加人数: 58人) ■「職場体験受入事業所(“未来体験”応援団)」認定シールを更新し整備を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■教員のキャリア教育に関する意識の向上が図られた。 ■様々な職場を見学し、仕事に対する興味や関心を高めることができた。 ■「職場体験受入事業所(“未来体験”応援団)」が整備された。 	

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度				取組み状況	成果	今後の方向性	
								指標 目標値 (H28)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳 特定財源 (千円)				一般財源 (千円)
23	1 /	①	新製品・新技術開発支援事業	ものづくり事業化プラン・プロジェクト発掘支援事業 【H26⇒27繰越】	・新製品・新技術開発者への補助 ・新製品・新技術のプラン、プロジェクトの募集・発掘と開発者とのマッチング ・地域課題を発掘し、課題解決に向けた各種団体との調査研究及び新製品を開発	新製品開発着手企業件数	2件/毎年 (H27～31)	2件/年	2件/年	11,556	0	11,556	<ul style="list-style-type: none"> ■ものづくり事業化プラン開発支援、プランコンテストそれぞれ審査会を開催 ・ものづくり事業化プラン開発支援補助金 三又建設株式会社 1件(5,000千円)3年計画のうち2年目 ・株式会社クツザワ 1件(6,300千円)新規 ・ものづくりプランコンテスト:優秀賞 1点 ■新商品生産による新事業分野開拓者認定制度審査会を開催 認証 2社2件 ・株式会社アクトラス 点滴センサ IDC-1501 ・JUKI電子工業株式会社 分光測色計 AY555 	<ul style="list-style-type: none"> ■杉皮防草マットの開発に支援 ・製材工場が発生し、多くが産廃処理される杉皮を活用した防草マットの試作品及び生産工程の改良に支援。 ■自動車製造におけるボディー等溶接治具「受駒」の高周波焼入れを含む1個流し体制の確立に支援。 ■認証制度により市内企業開発の新商品を認証 ・2社2製品を認証 ・平成27年度に認証した(製品:エナブライトプロG-Ledaer(LED街路灯))企業と市の間で購入に関する約1億円の契約を締結、企業の業績アップに寄与。 	■市報・HP・訪問活動等により「ものづくりプランコンテスト」「認証制度」のPRをより強化する予定。
24	1 /	①	IT・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成事業	IT・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成事業 【H26⇒27繰越】	・ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業等の業種で、新規に3名以上を正規雇用又は市内事業所等における純増を行った法人に対し助成	対象とする産業について新規雇用を伴い起業又は事業拡大した事業所数	2事業所/毎年 (H27～31)	2事業所/年	1事業所/年	4,962	0	4,962	<ul style="list-style-type: none"> ■アイテック株式会社に対する補助金(継続:2年目) ■株式会社ノース設計に対する補助金(新規※アイテック/株式会社より分社化) ■渡敬情報システム株式会社に対する補助金(新規※事業拡大) ■事業費の主な内訳(見込み) 補助金 4,962千円 (雇用 600千円・従業員家賃 1,590千円・事務所賃 1,260千円・通信費 1,512千円) 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規雇用数:正規雇用 3名(渡敬情報システム株式会社分) (うち横手市在住 2名) (2名の年齢:31歳、34歳) ※株式会社ノース設計に関しては、アイテック/株式会社より分社化したもので雇用の増はなし。 	■雇用の拡大に資する事業であり、市内既存企業含め、積極的に企業訪問(事業の紹介、周知)を実施する。
25	1 /	②	「横手を学ぶ郷土学」創設事業	「横手を学ぶ郷土学」創設事業 【H27】	・全小中学生向けの「横手を学ぶ郷土学総合テキスト」の作成 ・文化財の伝承と発信のために伝統芸能の育成	「横手を学ぶ郷土学」完全実施校	23校(全校) (H31)	0校	0校	21,342	21,300	42	<ul style="list-style-type: none"> ■「漫画後三年合戦物語」を4,500部購入、市内5年生上の小中学生及び教職員、図書館等に配布。 ■金沢掛唄育成チーム「よこて掛唄チャレンジキッズ」を横手北小学校4年生5人で結成し、9月14日の大会本番、9月22日の創作横手歌舞伎、10月16日の横手市子ども伝統芸能発表大会に参加。 ■横手市子ども伝統芸能発表大会を10月16日横手市民会館を会場に開催、出演団体は9団体149人(うち小中学生67人)の発表を行った。 ■横手を学ぶ郷土学総合テキスト「よこてだいたすき」の編集を開始し、検討委員会による点検確認を行いながら進め年度末に刊行。市内全小中学生並びに教職員に配布。 	<ul style="list-style-type: none"> ■「後三年合戦」を漫画にすることで、5年生以上の小中学生はもとより、その家族も横手市の史実としてわかりやすく、楽しんで理解していただく機会となった。各学校では朝の読書時間等で活用。 ■地域に伝わる伝統芸能の保存継承と後継者育成が、学校と地域(保存団体)の連携により活発化し、様々な発表の場を得て、金沢掛唄育成チーム「よこて掛唄チャレンジキッズ」を広くPRできた。具体的な活動としては、7回の練習と9月14日の大会本番、9月22日の創作横手歌舞伎、10月16日の横手市子ども伝統芸能発表大会への参加となった。 ■横手市子ども伝統芸能発表大会では、出演団体は9団体、149人(うち小中学生67人)となり、計350人の参加を得られた。開催により各団体の交流と活性化、今後の後継者育成に寄与することができた。 ■内容を精査しながら編集作業を行い、年度内に刊行した。H29.4月に市内小中学生全員と教職員、図書館などに配布した。 ■横手北小学校開校記念こけら落とし特別大興業として、9月22日に創作子ども歌舞伎を上演。児童有志約20名が「御存知後三年合戦」を披露した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■次年度以降、新5年生に配布し、楽しみながら市の歴史に触れ、学べる機会として提供する。 ■金沢掛唄に続き、後継者育成に悩む伝統芸能保存団体を学校・地域と連携をとり育成する。 ■横手市子ども伝統芸能発表大会を更に内容充実し開催する。 ■H29.4月には市内小中学生全員に配布し、横手を学ぶ郷土学を授業の中に位置づけ、郷土の歴史、伝統、文化を理解してもらおう。 ■創作子ども歌舞伎制作上演事業(H29より新事業として取り組む) 横手の史実である後三年合戦を歌舞伎に取り入れ演じることで、郷土への誇りと愛着を涵養し、地域の歴史を内外に発信する。
26	1 /	②	次世代ものづくり人材育成事業	次世代ものづくり人材育成事業 【H26以前】	・ものづくりを中心とした学習や職業に関する学習やキャリア教育の充実を図る取組により、児童生徒の望ましい勤労観・職業観の育成を促進させる。	「横手市キャリア教育研修会」に対する「大変参考になった」と回答する教職員の割合	73% (H31)	70%	1	432	432	<ul style="list-style-type: none"> ■キャリア教育研修会を開催(実施日:2/10 参加人数:24人) ■横手市小学生職場見学バスツアーを実施(実施日:8/9 参加人数:市内小学校5・6年生52人) ■横手市HPをリニューアルし、「職場体験受入事業所(“未来体験”応援団)」の登録があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■教員のキャリア教育に関する意識の向上が図られた。 ■様々な職場を見学し、仕事に対する興味や関心を高めることができた。 ■横手市HPをリニューアルしたことに伴い「職場体験受入事業所(“未来体験”応援団)」の登録があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもたちの望ましい職業観や勤労観の育成のため、引き続き教員のキャリア教育研修会を開催する。 ■様々な職場の協力を得ながら、子どもたちの仕事に対する興味や関心を高める機会を設ける。 ■職場体験学習の充実を図るため、引き続き受け入れ事業所の登録を実施する。 	

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 項 目	実 施 計 画 事 業 名	中 事 業 名 (予 算 事 業 名) 【 番 手 年 度 】	主 な 事 業 の 概 要	主 た る 指 標	指 標 目 録 値	平成29年度					取 組 み 状 況	成 果	今 後 の 方 向 性
								指 標 目 録 値 (H29)	指 標 実 績 値	決 算 額 (千 円)	特 定 財 源 (千 円)	一 般 財 源 (千 円)			
23	1 / ①	7.1.2	新製品・新技術開発支援事業	ものづくり事業化プラン・プロジェクト発掘支援事業 【H26⇒27繰越】	・新製品・新技術開発者への補助 ・新製品・新技術のプラン、プロジェクトの募集・発掘と開発者とのマッチング ・地域課題を発掘し、課題解決に向けた各種団体との調査研究及び新製品を開発	新製品開発着手企業件数	2件/毎年(H27～31)	2件	3件	20,252	20,000	252	<ul style="list-style-type: none"> ■ものづくり事業化プラン開発支援(対象:3社) ■ものづくりアイデアコンテストの実施 ・一般の部:優秀賞1点 ・小中学生の部:優秀賞3点 ■新商品生産による新事業分野開拓者認定制度審査会を開催(1社:ペーパーレス会議ツール) 	<ul style="list-style-type: none"> ■杉皮防草マット開発、建物診断システム開発、清酒製造技術開発の3社に対し、補助金を交付予定。 ■市内企業開発の新商品を認証しHPや市報への掲載を実施。製品の知名度向上に寄与した。 ■ものづくりアイデアコンテストの表彰式を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■H29年度の同様の支援内容で継続予定。 ■ものづくりアイデアコンテストは非継続。
24	1 / ①	7.1.2	IT・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成事業	IT・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成事業 【H26⇒27繰越】	・ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業等の業種で、新規に3名以上を正規雇用、または市内事業所等における純増を行った法人に対し助成	対象とする産業について新規雇用を伴い起業又は事業拡大した事業所数	2事業所/毎年(H27～31)	2社	1社	4,809	4,800	9	<ul style="list-style-type: none"> ■補助金交付 継続3年目:2社、継続2年目:1社、新規事業拡大:1社 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規雇用数:正規雇用1社4名(うち横手市在住:2名) 	<ul style="list-style-type: none"> ■IT・ソフトウェア業務を核とする優良企業の誘致を目指し、助成項目を見直す。
25	1 / ②	10.1.3	「横手を学ぶ郷土学」創設事業	「横手を学ぶ郷土学」創設事業 【H27】	・全小中学生向けの「横手を学ぶ郷土学総合テキスト」の作成 ・文化財の伝承と発信のために伝統芸能の育成	「横手を学ぶ郷土学」完全実施校	23校(全校)(H31)	23校	23校	4,612	4,600	12	<ul style="list-style-type: none"> ■小中学校の児童・生徒のうち、冊子未配布である転校生に対して、小学校1年生以上の児童・生徒には、横手を学ぶ郷土学総合テキスト「よこてだいすき」及び「横手市の文化財」を配布。小学校5年生以上の児童・生徒には、サブテキストとして「漫画後三年合戦物語」を買取・配布。 ■地域の特色ある文化の継承と発信のため、伝統芸能育成チームを編成し、後継者育成に寄与するとともに、実践の発表の場として、「子ども伝統芸能発表大会」を開催。 ■横手市最大の歴史的出来事である「後三年合戦」を題材として、「横手市創作子ども歌舞伎」を上演し、市民が地域の歴史を身近に感じる機会を提供するとともに、子どもたちが、ふるさと横手に誇りと愛着を持てる機会とすることができた。 ■地域に伝わる伝統芸能で後継者育成に悩む伝統芸能保存団体を学校、地域と連携をとりながら育成していくことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■総合テキスト「よこてだいすき」「横手市の文化財」が完成し、市内小中学校生徒及び教職員に配布(7,350部)。また「漫画後三年合戦物語」新5年生に配布(720部)。 ■「子ども伝統芸能発表大会」の開催(10/22:観客200名) ■「横手市創作子ども歌舞伎」の開催(9/23:400名) ■小坂町から依頼を受け「康楽館演劇祭」に出演(12/10:20名) ■地域に伝わる伝統芸能の保存継承と後継者育成が学校と地域(保存団体)の連携により活発化し、様々な発表の場の機会を頂き、金沢掛唄育成チーム「よこて掛唄チャレンジキッズ」を広くPRできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■事業を継続することで、未来を担う子どもたちに地域の特色ある歴史・文化などを分かりやすくかつ楽しく学ぶことで、さらなる郷土愛の醸成に繋げていく。
26	1 / ②	10.1.3	次世代ものづくり人材育成事業	次世代ものづくり人材育成事業 【H26以前】	・ものづくりを中心とした学習や職業に関する学習等、キャリア教育の充実を図る取組により、児童生徒の望ましい勤労観・職業観の育成を促進させる。	「横手市キャリア教育研修会」に対する「大変参考になった」と回答する教職員の割合	73%(H31)	71	55	344	0	344	<ul style="list-style-type: none"> ■「平成29年度 横手市キャリア教育研修会」の開催(H30.2/9) 	<ul style="list-style-type: none"> ■各小中学校から1名ずつの参加 ■外部講師の講話を聞き、社会で求められる人材について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ■研修会参加対象者の再考が必要。県の研修会も充実してきているため、臨時講師の先生方にも研修の機会を増やすことも含めて開催を検討。 ■外部講師の講話の時間を増やし、「講話会」形式での開催を検討。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成30年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H30)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
23	1 / ①	7.1.2	新製品・新技術開発支援事業	ものづくり事業化プラン・プロジェクト発掘支援事業 【H26⇒27繰越】	・新製品・新技術開発者への補助 ・新製品・新技術のプラン、プロジェクトの募集・発掘と開発者とのマッチング ・地域課題を発掘し、課題解決に向けた各種団体との調査研究及び新製品を開発	新製品開発着手企業件数	2件/毎年 (H27～31)	2件	2件	15,020	15,000	20	<p>■ものづくり事業化プラン開発支援事業(対象2社2件) ・(株)秋田ヘルシー食産(10,000千円) ※新規 ・朝日綜合(株)(5,000千円) ※2年計画のうち2年目 ■新商品生産による新事業分野開拓者認定制度審査会の開催(対象2社3件) ・三又建設(株)(杉皮防草マット) ・(株)工房成瀬(くん炭ボード) ・(株)工房成瀬(樹皮ボード)</p>	<p>■賦形剤不使用の造粒新技術開発、建物診断システム開発の2社に対し、補助金を交付決定。 ■市内企業開発の新商品を認証し、HPや市報への掲載を実施。製品の知名度向上に寄与した。</p>	<p>■ものづくり事業化プラン開発支援事業は、実施継続有無を含め、制度内容等の見直し予定。 ■新商品生産による新事業分野開拓者認定制度審査会は継続予定。</p>
24	1 / ①	7.1.2	IT・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成事業	IT・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成事業 【H26⇒27繰越】	・ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業等の業種で、新規に3名以上を正規雇用、または市内事業所等における純増を行った法人に対し助成	対象とする産業について新規雇用を伴い起業又は事業拡大した事業所数	2事業所/毎年 (H27～31)	2社	1社	4,292	4,200	92	<p>■補助金交付 継続4年目：2社、継続3年目：1社、継続2年目：1社</p>	<p>■新規雇用数：正規雇用 3社6名 (うち横手市在住：2名)</p>	<p>■IT・ソフトウェア業務を核とする優良企業の更なる誘致を目指す。</p>
25	1 / ②	10.1.3	「横手を学ぶ郷土学」創設事業	「横手を学ぶ郷土学」創設事業 【H27】	・全小中学生向けの「横手を学ぶ郷土学総合テキスト」の作成 ・文化財の伝承と発信のために伝統芸能の育成	「横手を学ぶ郷土学」完全実施校	23校(全校) (H31)	23校	23校	8,574		8,574	<p>■よこてを学ぶ郷土学総合テキスト「よこてだいすき」「横手市の文化財一覧」を市内17校の新小学1年生641人と転入教職員59人に配布した。 ■サブテキストとして「漫画後三年合戦物語」を買取り、市内17校の新5年生693人と転入教職員等に配布した。 ■地域の特色ある文化の継承と発信のため、伝統芸能育成チーム「金澤八幡宮伝統掛唄チャンシタキッズ」を横手北小児童5人で編成し、9月14日の金澤八幡宮奉納伝統掛唄大会に出場した。また、前日の13日には金沢孔城館において大会出場予定の児童、新潟大学生、一般市民らによる「金沢掛唄育成チーム市民ワークショップ」を開催し、交流を深めた。 ■伝統芸能の歌舞伎を手法に取り入れながら、地元の後三年合戦を題材にした「横手市創作子ども歌舞伎」を浅舞小学校を会場に9月23日上演。児童生徒や園児ら役者・スタッフ100人に加え、観客約400人が会場に足を運んだ。 ■伝統芸能後継者育成の発表の場として、「横手市子ども伝統芸能発表大会」を横手市民会館を会場に10月13日開催。仁井田番楽保存会、深間内神楽保存会、戸波郷土芸能保存会など、あわせて5団体が出演した。 ■平泉町・大館市・美郷町・横手市4市町交流記念公演として、横手市創作子ども歌舞伎を若手県平泉町中尊寺本堂で10月28日に特別上演を行った。 ■「よこてだいすき」の発祥と食文化をテーマに「発祥伝承ワークショップ」を金沢孔城館で11月24日開催。親子ら約50人が麴菌や伝統食を学んだ。</p>	<p>■総合テキスト「よこてだいすき」の中からテーマを決め、総合学習の時間などを利用して質問に訪れる中学生が増えている。 ■伝統芸能育成チーム支援や子ども伝統芸能発表大会を通じて、伝統芸能後継者育成の重要性を児童生徒や市民らに伝えることが出来た。 ■横手市創作子ども歌舞伎が藤原氏ゆかりの自治体連携として上演され、市外県外にも横手市を知られる契機となった。</p>	<p>■横手を学ぶ郷土学の各種事業の継続した取り組みを行う。伝統芸能育成チームについては、金沢掛唄に加えもう一つ伝統芸能の再興支援に取り組む。</p>
26	1 / ②	10.1.3	次世代ものづくり人材育成事業	次世代ものづくり人材育成事業 【H26以前】	・ものづくりを中心とした学習や職業に関する学習等、キャリア教育の充実を図る取組により、児童生徒の望ましい勤労観・職業観の育成を促進させる。	「横手市キャリア教育研修会」に対する「大変参考になった」と回答する教職員の割合	73% (H31)	72	82	357	0	357	<p>■「科学おたのしみ広場」7/26雄物川小学校開催(201参加) ■「ものづくり交流会」8/6横手明峰中学校開催(19名参加) ■「小学生職場見学ツアー」8/9開催(参加者33名秋田火力発電所、航空自衛隊秋田分屯基地見学) ■「横手市児童生徒理科研究作品展」9/8-9浅舞公民館蛭野分館開催(325展作品) ■「職場体験学習習入事業者」の今年度の加入数 160社 ■「横手市キャリア教育研修会」2/15開催(23名) 講師：三又建設株式会社 代表取締役 下村正樹氏 ： 明照保育園 園長 青少年育成委員会 委員 津村信弥氏</p>	<p>■実施予定事業は全て実施済 ■「職場体験学習習入事業者」の申請受付業務を継続して実施</p>	<p>■県の研修会も充実してきていることから、研修会参加対象者の再考を行い、臨時講師の先生方に研修の機会を増やした。今後も継続していく予定 ■外部講師の講話の時間を増やし「講話会」形式での開催を今後も継続していく予定</p>

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本目標 / 取項目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	令和元年度					取組み状況	成果	今後の方向性
							指標 目標値 (R1)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
23	1 / ①	7.1.2 新製品・新技術開発支援事業	ものづくり事業化プラン・プロジェクトの募集・発掘と開発者とのマッチング 【H26⇒27繰越】	・新製品・新技術開発者への補助 ・新製品・新技術のプラン、プロジェクトの募集・発掘と開発者とのマッチング ・地域課題を発掘し、課題解決に向けた各種団体との調査研究及び新製品を開発	新製品開発着手企業件数	2件/毎年 (H27～31)	2件	2件	15,020	15,000	20	<p>■ものづくり事業化プラン開発支援事業(申請3社うち継続1社)以下、採択企業</p> <p>・(株)アクトラス(10,000千円)※新規</p> <p>・(株)秋田ヘルシー食産(5,000千円)※2年計画のうち2年目</p> <p>■新商品生産による新事業分野開拓者認定制度審査会の開催(申請なし)</p>	<p>■申請件数:新規案件2件、継続案件1件</p> <p>■採択結果:新規案件1件、継続案件1件</p> <p>二事業者ともにR1年度中に開発に成功。</p> <p>【新規事業】</p> <p>・(株)アクトラス: 世界初、ハニカムリンク機構による「免疫組織染色のための迅速撹拌装置」の製品化 補助金交付額:10,000千円(単年度計画)</p> <p>【継続事業】</p> <p>・(株)秋田ヘルシー食産: 「地域資源の機能性を活かしたサプリメント製造に向けた賦形剤を使わない造粒新技術の構築」 補助金交付額:5,000千円(2か年計画の最終年度)</p>	■令和元年度で事業廃止。
24	1 / ①	7.1.2 IT・ソフトウェア関連産業立地優遇制度助成事業	IT・ソフトウェア関連産業立地優遇制度助成事業 【H26⇒27繰越】	・ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業等の業種で、新規に3名以上を正規雇用、または市内事業所等における純増を行った法人に対し助成	対象とする産業について新規雇用を伴い起業又は事業拡大した事業所数	2事業所/毎年 (H27～31)	2社	1社	43,400	43,200	200	<p>■補助金交付</p> <p>継続5年目(交付最終年):2社、継続4年目:1社、継続3年目:1社、新規1年目:1社</p>	<p>■新規雇用数:正規雇用 5社28名(うち横手市在住:16名)</p>	事業実施から5年目を迎え、事業継続の有無、助成内容見直しの必要性について検証する時期に来ている。
25	1 / ②	10.1.3 「横手を学ぶ郷土学」創設事業	「横手を学ぶ郷土学」創設事業 【H27】	・全小中学生向けの「横手を学ぶ郷土学総合テキスト」の作成 ・文化財の伝承と発信のために伝統芸能の育成	「横手を学ぶ郷土学」完全実施校	23校(全校) (H31)	23校	23校	3,522	0	3,522	<p>■よこてを学ぶ郷土学総合テキスト「よこてだいすき」「横手市の文化財一覽」を市内17校の新小学1年生578人と転入教職員70人、転入生36人等に配布した。</p> <p>■サブテキストとして「漫画後三年合戦物語」を買取り、市内17校の新5年生634人と転入教職員等に配布した。</p> <p>■地域の特色ある文化の継承と発信のため、伝統芸能育成チーム「金澤八幡宮伝統掛唄よこてチャレンジ☆キッズ」を横手北小児童8人で編成し、9月14日の金澤八幡宮奉納伝統掛唄大会に出場した。また、前日の13日には金沢孔城館において大会出場予定の児童、新潟大学生、一般市民らによる「金沢掛唄育成チーム市民ワークショップ」を開催し、交流を深めた。</p> <p>■伝統芸能の歌舞伎を手法に取り入れながら、地元の後三年合戦を題材にした「横手市創作子ども歌舞伎」を大雄小学校を会場に9月22日上演。児童生徒や園児ら役者・スタッフ100人にくわえ、観客約400人が会場に足を運んだ。</p>	<p>■総合テキストを活用した総合学習の時間や勉強会により、ふるさと横手を広く深く知るきっかけができた。テキストは入手方法の問い合わせがあるなど、年々認知度が上がり、事業効果が現れている。</p> <p>■サブテキスト「漫画後三年合戦物語」は、漫画で読みやすく理解しやすいため、小学生を中心に読まれ、後三年合戦について学ぶ機会を設けることができた。</p> <p>■県指定無形民俗文化財「金沢掛唄」の保存伝承のため、学校と地域(保存団体)の連携やワークショップの開催により、様々な発表の場の機会を設け、後継者育成を進めることができた。</p> <p>■「横手市創作子ども歌舞伎」では、主に小学生に対して出場希望者を募り、大雄小学校を舞台に披露することで、当地で起きた後三年合戦の歴史を学んでもらうことが出来た。</p>	<p>これまで「横手を学ぶ郷土学」事業については、順調に進捗しており、引き続き継続発展させていく。令和元年度下半期における事業は次のとおり。</p> <p>■伝統芸能後継者育成の発表の場として、「横手市子ども伝統芸能発表大会」を横手市民会館を会場に11月4日開催。八沢木獅子舞保存会、金沢ささら舞保存会、岡本新内保存会など、あわせて6団体が出演した。</p> <p>■「よこてだいすき」掲載の伝統食文化を学ぶため、「発酵伝承よこてだいすきワークショップ」を開催し、麹菌の働きや豆の標本づくり、味噌づくりなど親子で体験できる催しを実施した。</p>
26	1 / ②	10.1.3 次世代ものづくり人材育成事業	次世代ものづくり人材育成事業 【H26以前】	・ものづくりを中心とした学習や職業に関する学習等、キャリア教育の充実を図る取組により、児童生徒の望ましい勤労観・職業観の育成を促進させる。	「横手市キャリア教育研修会」に対する「大変参考になった」と回答する教職員の割合	73% (H31)	73	32	338		338	<p>■「科学おたのしみ広場」7/26増田小学校開催(110名参加)</p> <p>■「第10回横手市中学生ものづくり交流会」8/6横手明峰中学校開催(22名参加)</p> <p>■「小学生職場見学ツアー」8/8開催(参加者25名)秋田魁新報社印刷センター、秋田空港管理事務所見学</p> <p>■「横手市児童生徒理科研究作品展」9/7-8(543作品)</p> <p>■「職場体験学習受入事業者」の今年度の加入数162社(R02.03.31現在)</p> <p>■「横手市キャリア教育研修会」講師:秋田大学准教授 2/21浅舞公民館開催(参加者38名)</p>	<p>■実施予定事業は全て実施済。小中学生が参加する事業では、「また参加したい」といった感想が多く寄せられた。</p> <p>■「横手市キャリア教育研修会」には、各小中学校から1名ずつの他、南教育事務所キャリア担当者にも参加いただいた。</p> <p>■「職場体験学習受入事業者」の申請受付業務を継続して実施する。</p>	<p>■【課題】研修会の再考が必要。</p> <p>「横手市キャリア教育研修会」をこれまでの各校1名参加から1～2名の参加に増やし、臨時講師の先生方への研修の機会を増やすことについて検討。</p> <p>■【方向性】ものづくりを中心とした学習や職業に関する学習等、キャリア教育の充実を図る取組を継続していくことで、児童生徒の望ましい勤労観・職業観を育成していく。</p>

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

番 手 年 度	No / 主 目 標	款 項 目	実 施 計 画 事 業 名	中 事 業 名 (予 算 事 業 名) 【 番 手 年 度 】	主 な 事 業 の 概 要	主 た る 指 標	指 標 自 標 値	平成27年度					取 組 み 状 況	成 果
								指 標 自 標 値 (H27)	指 標 実 績 値	決 算 額 (千 円)	財 源 内 訳			
											特 定 財 源 (千 円)	一 般 財 源 (千 円)		
27	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館費	マンガ活用教育推進事業【H31】	教育機関をはじめ、民間機関とも連携しながら、マンガを活用した子どもの育成や豊かな学びの場の提供に取り組む。	マンガを活かした教育事業に参加した市内小中学校数	5校(H31)							
▲ 28	1 / ②	2.1.3	横手市情報発信戦略プロジェクト事業	横手情報センター連携事業【H27⇒28繰越】	・市民一体となった情報発信の推進を担う「横手情報センター」の自律的な運営に向けた支援	横手市役所発信の新規情報提供	5,000件(H28～32)							
29	1 / ②	2.1.3	横手市情報発信戦略プロジェクト事業	横手市情報発信戦略プロジェクト事業【H30】	市民一体となった情報発信の推進、横手市の魅力アップ推進を図るため、「横手市情報センター」による情報発信、およびLineを活用した情報発信を進めていく。	情報センター掲載依頼数(月平均)	50件							

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 項 目	実 施 計 画 事 業 名	中 事 業 名 (予 算 事 業 名) 【 当 手 年 度 】	主 な 事 業 の 概 要	主 た る 指 標	指 標 目 標 値	平成28年度					取 組 み 状 況	成 果	今 後 の 方 向 性
								指 標 目 標 値 (H28)	指 標 実 績 値	決 算 額 (千 円)	特 定 財 源 (千 円)	一 般 財 源 (千 円)			
27	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館費	マンガ活用教育推進事業【H31】	教育機関をはじめ、民間機関とも連携しながら、マンガを活用した子どもの育成や豊かな学びの場の提供に取り組む。	マンガを活かした教育事業に参加した市内小中学校数	5校(H31)								
28	1 / ②	2.1.3	横手市情報発信戦略プロジェクト外事業	横手情報センター連携事業【H27⇒28繰越】	・市民一体となった情報発信の推進を担う「横手情報センター」の自律的な運営に向けた支援	横手市役所発信の新規情報提供	5,000件(H28～32)	3,000件	2,839件	17,128	0	17,128	<ul style="list-style-type: none"> ■企業や民間団体、横手市を中心とした「横手市情報センター設置運営委員会」を設置。横手市情報センターの運営について協議。 ■デジタルサイネージ「よこてれび」を市内20カ所に設置し情報発信の開始。あわせて市民へ向け情報センターへの情報提供呼びかけを実施。(よこてれび、FM、チラシ、市報等による) ■インターネットを利用したアプリ「よこてれび」の運用開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ■7月より市内20カ所にデジタルサイネージを設置し、「よこてれび」による情報発信の開始。 ■11月よりインターネットを利用したアプリ「よこてれび」の運用開始。 ■1月より横手市Facebook英語版の運用開始。 ■2月よりスマートフォンアプリ「よこてれび」の運用開始。 ■7月～3月までの寄せられた情報462件(うち市民から63件)。 	<ul style="list-style-type: none"> ■横手市情報センターを民間に委託しながら市内の様々な情報発信をし、広告収入などで自立させていく。 ■多言語情報を世界中への情報発信を推進していく。
29	1 / ②	2.1.3	横手市情報発信戦略プロジェクト外事業	横手市情報発信戦略プロジェクト事業【H30】	市民一体となった情報発信の推進、横手市の魅力アップ推進を図るため、「横手市情報センター」による情報発信、およびLineを活用した情報発信を進めていく。	情報センター掲載依頼数(月平均)	50件								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 引 目	実 施 計 画 事 業 名	中 事 業 名 (予 算 事 業 名) 【 箇 手 年 度 】	主 な 事 業 の 概 要	主 た る 指 標	指 標 目 録 値	平成29年度					取 組 み 状 況	成 果	今 後 の 方 向 性
								指 標 目 録 値 (H29)	指 標 実 績 値	決 算 額 (千 円)	特 定 財 源 (千 円)	一 般 財 源 (千 円)			
27	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館費	マンガ活用教育推進事業【H31】	教育機関をはじめ、民間機関とも連携しながら、マンガを活用した子どもの育成や豊かな学びの場の提供に取り組む。	マンガを活かした教育事業に参加した市内小中学校数	5校(H31)								
28	1 / ②	2.1.3	横手市情報発信戦略プロジェクト事業	横手情報センター連携事業【H27⇒28繰越】	・市民一体となった情報発信の推進を担う「横手情報センター」の自律的な運営に向けた支援	横手市役所発信の新規情報提供	5,000件(H28～32)	1,500件	3,000件	2,995	0	2,995	<ul style="list-style-type: none"> ■横手市情報センターとの連携とセンター自立への委託支援。 ■よこてれびに市民にしたらんでもらうために、小中学校のスポーツ大会結果をよこてれびHP上で掲載。 ■委託先のYokotterによる企画番組の開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ■よこてれびのアプリ登録数は、平成29年3月末が595件、1月末が1049件。 ■小中学校のスポーツ大会結果をよこてれびHP上で9月より掲載し、掲載前(約300件)より閲覧数が約5倍に増加(平成30年1月末まで)。 ■委託先のYokotterによる企画番組計127本を制作し、よこてれびやSNSで放送。 ■市民からの情報提供総数(平成30年1月末) 55件 	<ul style="list-style-type: none"> ■今後も横手市情報センターが自立出来るように連携しながら、市民が身近に感じれる情報を発信していく。
29	1 / ②	2.1.3	横手市情報発信戦略プロジェクト事業	横手市情報発信戦略プロジェクト事業【H30】	市民一体となった情報発信の推進、横手市の魅力アップ推進を図るため、「横手市情報センター」による情報発信、およびLineを活用した情報発信を進めていく。	情報センター掲載依頼数(月平均)	50件								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成30年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H30)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
27	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館費	マンガ活用教育推進事業【H31】	教育機関をはじめ、民間機関とも連携しながら、マンガを活用した子どもの育成や豊かな学びの場の提供に取り組む。	マンガを活かした教育事業に参加した市内小中学校数	5校(H31)								
28	1 / ②	2.1.3	横手市情報発信戦略プロジェクト事業	横手情報センター連携事業【H27⇒28繰越】	・市民一体となった情報発信の推進を担う「横手情報センター」の自律的な運営に向けた支援	横手市役所発信の新規情報提供	5,000件(H28～32)								
29	1 / ②	2.1.3	横手市情報発信戦略プロジェクト事業	横手市情報発信戦略プロジェクト事業【H30】	市民一体となった情報発信の推進、横手市の魅力アップ推進を図るため、「横手市情報センター」による情報発信、およびLineを活用した情報発信を進めていく。	情報センター掲載依頼数(月平均)	50件	55件	4,449	0	4,449	(横手市情報センター管理運営委託) <平成31年3月末現在> ■情報管理数 665件(月平均55件) ・横手市役所情報 399件 ・市民からの情報 47件 ・Yokotterからの情報 208件 ・安心安全メールからの情報 11件 ■デジタルサイネージ「よこてれび」設置箇所 市内20カ所 ・よこてれび掲載数(延べ) 22,795件 ・よこてれび@登録者数 1500件超 (横手市魅力発信) ■石坂洋次郎マンガバンフレット制作(10,000万部) ■石坂洋次郎文学記念館30周年記念事業開催(石坂洋次郎朗読会 10/6 横手高校100周年記念館にて) ■関西伊丹空港PR事業(観光おもてなし課出前かまくら事業と連携実施) 1/18-19 ■外部専門アドバイザー招聘2回(門脇氏) 9/26-28、1/30-2/1	■デジタルサイネージ「よこてれび」が、市民にとって身近に感じられる情報を発信していく。 ■よこてれび@の登録者数を伸ばすため、フェイスブックやよこてれび通信など、あらゆる媒体でPRしていく。 ■横手市魅力発信にかかる予算については、当初の予定どおり、平成30年度をもって終了とする。		

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本目標 / 手続	取組目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	令和元年度					取組み状況	成果	今後の方向性	
								指標 目標値 (R1)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)				
27	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館費	マンガ活用教育推進事業 【H31】	教育機関をはじめ、民間機関とも連携しながら、マンガを活用した子どもの育成や豊かな学びの場の提供に取り組む。	マンガを活かした教育事業に参加した市内小中学校数	5校(H31)	5	24	2,970	-	2,970	<p>■マンガを活用した教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まんが美術館教室の実施 ・まんが美術館の社会見学用教材の制作 ・秋田県教育旅行説明会への参加 ・横手市ミライの漫画家発掘マガジン制作プロジェクトの開催 	<p>■まんが美術館教室には2校(増田小学校5年生、十文字第一小5年生)が参加し、原画の貴重性の美術館の取り組みや役割について参加者の理解を深めた。</p> <p>■まんが美術館の社会見学用教材の制作にあたり、矢口高雄氏の原画を活用した教材を1000部作成し、美術館教室等に活用した。</p> <p>■札幌市で行われた秋田県教育旅行説明会へ参加したことで、現地エージェントや教育機関への美術館PRし、今度の旅行の選択肢として取り入れていただくことができた。</p> <p>■横手市ミライの漫画家発掘マガジン制作プロジェクトの小学生41名・中学生17名が参加。その作品でマガジンを作成して約400箇所配布し、「マンガ活用事業実行委員会」と連携して市全域に本事業を広めることができた。</p>	マンガの魅力を活用した子どもの教育や豊かな学びを提供し、シビックプライドの醸成を図るため、市内小中学校および教育委員会との連携を強化する。また、取り組みの全市的な広がりを目的とし、市と民間団体で組織する「マンガ活用事業実行委員会」の事業内容の充実を図っていく。	
28	1 / ②	2.1.3	横手市情報発信戦略プロジェクト事業	横手情報センター連携事業 【H27⇒28繰越】	・市民一体となった情報発信の推進を担う「横手情報センター」の自律的な運営に向けた支援	横手市役所発信の新規情報提供	5,000件(H28～32)									
29	1 / ②	2.1.3	横手市情報発信戦略プロジェクト事業	横手市情報発信戦略プロジェクト事業 【H30】	市民一体となった情報発信の推進、横手市の魅力アップ推進を図るため、「横手市情報センター」による情報発信、およびLineを活用した情報発信を進めていく。	情報センター掲載依頼数(月平均)	50件	情報センター掲載依頼数(月平均)	50件	3,050	0	3,050	<p>■各課シティプロモーターからの積極的な情報発信を促した。</p> <p>■横手市情報センターと連携を取り、画面の構成を変更し、「見やすく」「分かりやすい」情報発信に努めた。</p> <p>■よこてれびの利用状況を確認し、利用頻度の少ない場所については、設置場所を変更した。</p> <p>■横手市公式Lineの周知徹底を図る(市報、ホームページ、よこてfun通信など)</p>	<p>(横手市情報センター管理運営委託) ≪令和2年3月末現在≫</p> <p>■情報管理数 785件(月平均65件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横手市役所情報 505件 ・市民からの情報 94件 ・Yokotterからの情報 183件 ・安心安全メールからの情報 3件 <p>■デジタルサイネージ「よこてれび」設置箇所 市内20カ所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よこてれび掲載数(延べ) 26,161件 <p>■よこて公式Line登録者数 2850件</p> <p>(その他)</p> <p>■令和元年度は「てくてくん」をモデルとした横手市LINEスタンプを作成・販売した。(予算支出はシティセールス事業)</p>	<p>■「よこてれび」をもっと市民が身近なものに感じられるよう、市役所の情報のみならず、「市民活動の情報」が収集できる工夫が必要。</p> <p>■横手市公式Lineの登録者数を増やすべく、LINEスタンプなども活用しながら、フェイスブックやよこてfun通信など、あらゆる媒体でPRしていく。</p> <p>■若者が考案する「横手市LINEスタンプ」の作成を検討したい。</p>	

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

番 手 年 度	No	基 本 目 標	款 項 目	実 施 計 画 事 業 名	中 事 業 名 (予 算 事 業 名) 【番 手 年 度】	主 な 事 業 の 概 要	主 た る 指 標	指 標 自 標 値	平成27年度							
									指 標 自 標 値 (H27)	指 標 実 績 値	決 算 額 (千 円)	財 源 内 訳		取 組 み 状 況	成 果	
												特 定 財 源 (千 円)	一 般 財 源 (千 円)			
◆	30	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館魅力アップ事業	マンガ原画収集保存事業 【H26⇒27繰越】	・マンガ原画の収集及びアーカイブ化を進める。	マンガ原画収集点数(累計)	175,000点(H31)	55,000点	77,511点					<p>■原画収集事業】 常設展示作家 12人(さくらももこ、江川達也ほか) 大部数収蔵作家 2人(東村アキコ・能條純一)</p>	<p>■常設、大部数収蔵とも当初の計画を上回る収蔵数を達成。 常設展示作品の充実が図られたと共に、大部数収蔵作品を活用することにより、来館者の増が期待できる。</p>
*	31	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館魅力アップ事業	人材育成事業 【H28】	・マンガやアニメ文化振興のための人材育成の取り組み。	マンガ原画収集点数(累計)	175,000点(H31)	55,000点	77,511点	19,312	19,312	0			
◆	32	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館魅力アップ事業	特別企画展等開催事業 【H26⇒27繰越】	・特別企画展や官学交流イベント等を開催する。	マンガ原画収集点数(累計)	175,000点(H31)	55,000点	77,511点				<p>■官学連携イベント(9/12(土)～13(日)開催) 京都精華大学マンガ学科の講師陣(漫画家 5人)を招いたワークショップや増田の町並みとの連携イベントを開催。 ■20周年記念イベント(10/25(日)開催) サイン会やトークショー、料理漫画家による調理イベントなど、参加漫画家の特徴を生かしたファンとの交流イベントを開催。</p>	<p>■重伝建地区との連携イベントは、参加者からも大変好評であり、次回開催も熱望された。</p>	
◆	33	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館魅力アップ事業	増田の町並み連携事業 【H26⇒27繰越】	・重伝建地区である「増田の町並み」と相乗的な効果を図るための誘導看板等を設置する。	マンガ原画収集点数(累計)	175,000点(H31)	55,000点	77,511点				<p>■HP多言語化事業及び誘導案内看板設置 ・増田まんが美術館及び増田町観光協会HPの一部を英語・フランス語・中国語・韓国語の4か国版へ多言語化。 ・国道等に誘導案内看板を設置</p>	<p>■HPの多言語化は今後の海外誘客の窓口としての活用に期待が持てる。 ■来街者にとって高速道路や国道から増田の町並み(まんが美術館を含むエリア)へのわかりやすい案内がとれる体制となったが、今後、繁忙期での、来街者の導線や声、交通安全面など注視していきたい。</p>	

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H28)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
30	1 /	10.4.4	増田まんが美術館魅力アップ事業	マンガ原画収集保存事業 【H26⇒27 繰越】	・マンガ原画の収集及びアーカイブ化を進める。	マンガ原画 収集点数 (累計)	175,000点 (H31)	77,450 点	105,51 5点	6,826	0	6,826	<ul style="list-style-type: none"> ■大部数収蔵作家1人(小島剛夕:23,000点)収蔵済み ■常設展示作家1人(魚戸おさむ:4点)収蔵済み 	<ul style="list-style-type: none"> ■大部数収蔵は当初の計画を上回るペースで進んでいる。 ■横手市の取組みに賛同し、漫画家自身から収蔵してほしいと連絡が入り、収蔵待ちの状況となっている。 	
31	1 /	10.4.4	増田まんが美術館魅力アップ事業	人材育成事業 【H28】	・マンガやアニメ文化振興のための人材育成の取り組み。	マンガ原画 収集点数 (累計)	175,000点 (H31)	77,450 点	105,51 5点	1,575	0	1,575	<ul style="list-style-type: none"> ■マンガ学芸員養成プログラミング事業 ・マンガの専門性を生かした人材づくり(マンガ学芸員)を養成するために必要な知識及び条件等のプログラムづくりを目的とした事業であり、「一般財団法人横手市増田まんが美術財団」への委託事業として実施。 ・マンガ関連施設での実地研修及び現場スタッフへの聴き取り調査など。 ■マンガ・増田をどう楽しむ?ワークショップ ・増田地域内でまちづくり等に取り組むリーダー養成のためのワークショップを3回開催。 トータル40人参加 	<ul style="list-style-type: none"> ■北九州漫画ミュージアム、京都国際マンガミュージアムといったマンガ関連施設の視察に加え、学芸業務に従事する現場スタッフからの聞き取り調査などを実施。マンガ学芸員に必要なスキルや心構え等を備えた養成プログラムの指針づくりを行った。 ■様々な分野で活動する人が集まり、一つのテーマに沿ってワークショップを行ったことにより、横のつながりができた。まんが美術館や町並みに訪れた観光客をどうやって市内全域に波及させるか。何をどう魅せるのか等の話し合いを重ね、次年度以降の活動目標を、継続して一緒に活動していく確認をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ■改修工事による休館中も、 ①常設展示作品及び大部数収蔵作品の収蔵 ②大部数収蔵原画の台帳作成とデジタルアーカイブ化等を実施する。 ■平成28年度3月補正予算(案)(29年度へ繰越) 15,000千円(特財:15,000千円) ■平成29年度予算額(案) 10,777千円(一財:10,777千円)
32	1 /	10.4.4	増田まんが美術館魅力アップ事業	特別企画展等開催事業 【H26⇒27 繰越】	・特別企画展や官学交流イベント等を開催する。	マンガ原画 収集点数 (累計)	175,000点 (H31)	77,450 点	105,51 5点	4,536	0	4,536	<ul style="list-style-type: none"> ■関智一トークイベントinまんが美術館(7/17) ■日本橋ヨコトークイベント&ギャラリートーク(9/17・18、10/29・30) ■矢口高雄&高橋よしひろサイン会(10/23) ■明海大学学園祭での移動ワークショップ(11/4～6) 	<ul style="list-style-type: none"> ■閉館前イベントとして声優や漫画家によるトークショーやサイン会を開催したが、全国各地からの参加により、いずれも定員を上回った。 関智一:153人 日本橋ヨコ:160人 矢口・高橋サイン会:110人 ■官学連携イベントとして実施した明海大学(千葉県浦安市)との交流には、ワークショップなどに約1,000人の参加があった。 	
33	1 /	10.4.4	増田まんが美術館魅力アップ事業	増田の町並み連携事業 【H26⇒27 繰越】	・重伝建地区である「増田の町並み」と相乗的な効果を図るための誘導看板等を設置する。	マンガ原画 収集点数 (累計)	175,000点 (H31)								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
30	1 /	10.4.4	増田まんが美術館魅力アップ事業	マンガ原画 収集保存事業 【H26⇒27 繰越】	・マンガ原画の収 蔵及びアーカイブ 化を進める。	マンガ原画 収蔵点数 (累計)	175,000点 (H31)	85,000	167,761	18,500	1,975	16,525	<ul style="list-style-type: none"> ■マンガ原画の収蔵 <ul style="list-style-type: none"> ・大部数収蔵 高橋よしひろ氏 3月末までに全原画 40,000枚を収蔵 ■マンガ原画のアーカイブ <ul style="list-style-type: none"> ・矢口高雄氏の原画15,000枚をアーカイブ 45,000枚全てのアーカイブ作業終了 (解像度1,200dpi 一枚10分) 	<ul style="list-style-type: none"> ■高橋よしひろ氏の全原画を3月下旬に収蔵。目標指数をはるかに上回るペースで収蔵が進んでいる。 ■アーカイブについては文化庁のメディア芸術アーカイブ推進支援事業(まんが財団が直接補助)として実施しており、文化庁等からは「増田モデル」として推奨されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■高橋よしひろ氏の原画の整理作業に着手。 ■矢口高雄氏の全原画(45,000枚)のアーカイブを終了。 ■昨年度収集した小島剛夕氏のデジタルアーカイブ作業に着手していく
31	1 /	10.4.4	増田まんが美術館魅力アップ事業	人材育成事業 【H28】	・マンガやアニメ 文化振興のため の人材育成の取 組み。	マンガ原画 収蔵点数 (累計)	175,000点 (H31)								
32	1 /	10.4.4	増田まんが美術館魅力アップ事業	特別企画展 等開催事業 【H26⇒27 繰越】	・特別企画展や 官学交流イベント 等を開催する。	マンガ原画 収蔵点数 (累計)	175,000点 (H31)	85,000	167,761	7,031	1,775	5,256	<ul style="list-style-type: none"> ■マンガアート展 <ul style="list-style-type: none"> ・矢口高雄氏、東村アキコ氏、能條純一氏、小島剛夕氏4氏のアート展 ・期間:4/22～5/14 ・会場:旬菜みそ茶屋くらを ・入場者数:331人 ■俺節原画展 <ul style="list-style-type: none"> ・土田世紀原作「俺節」の舞台化とあわせ、公演会場隣で開催 ・期間:5/26～6/18 ・会場:東京赤坂サカス ・入場者数:13,396人 ■りぼんのふろく展 <ul style="list-style-type: none"> ・創刊60周年を記念し、創刊からのフロクを展示 ・期間:7/29～10/29 ・会場:旬菜みそ茶屋くらを ・入場者数:6,335人 ■まんが美術館は休館中ですがいろいろ知ってほしいことがあります展 <ul style="list-style-type: none"> ・期間2/1～2/25 ・会場:FORTE秋田6階イベント会場 ・入場者数:1,206人 ■マンガを描く楽しさを知るワークショップ 2/25FORTE秋田 77人 3/18Y2ぶらざ 76人 	<ul style="list-style-type: none"> ■増田まんが美術館大規模改修工事に伴い、増田の町並みにおいて移動特別企画展を2回開催したことにより、これまで町並みに訪れたことのない年齢層の観光客が訪れ、今後の連携事業の可能性が生まれた。また、商店経営者とのコラボレーションも、経営者の自発的な発想により生まれ、今後の事業展開に大きな弾みとなった。 ■東京で移動特別企画展を開催したことにより、短期間の開催にも関わらず、多くの入場者を迎えることができ、横手市のPRへとつながった。 ■京都精華大学と連携し、FORTE秋田やY2プラザを会場にワークショップを開催したところ、小学生から高校生まで153人(秋田77人、横手76人)が参加し、リニューアルオープンする増田まんが美術館のPRになるとともに、大学との連携強化、マンガを活用した子ども育成、生涯学習のニーズや可能性を把握できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■増田まんが美術館のリニューアルオープンまでの間は移動特別企画展等を開催し、美術館のPR等を行い、オープン後は美術館での企画展は勿論のこと、町並みとの連携企画展及び市内全域へ波及効果をもたらす企画展を開催していく。
33	1 /	10.4.4	増田まんが美術館魅力アップ事業	増田の町並み連携事業 【H26⇒27 繰越】	・重伝建地区である「増田の町並み」と相乗的な効果を図るための誘導看板等を設置する。。	マンガ原画 収蔵点数 (累計)	175,000点 (H31)								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成30年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H30)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定費額 (千円)	一般財源 (千円)			
30	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館 魅力アップ 事業	マンガ原画 収集保存事 業 【H26⇒27 繰越】	・マンガ原画の収 蔵及びアーカイ ブ化を進める。	マンガ原画 収蔵点数 (累計)	175,000点 (H31)	100,00 0	234,28 9	14,064		14,064	<p>■横手市増田まんが美術財団と、収蔵原画のアーカイブ化業務及び原画収蔵業務委託を年度当初に締結し事業を遂行した。</p> <p>■小島剛夕氏と能條純一氏のデジタルアーカイブ(画像データ化)を進めるとともに、昨年度大規模収蔵した高橋よしひろ氏の整理作業を行い、今後のアーカイブ作業の元となる受入台帳を整備した。</p> <p>■大規模収蔵については、土山しげる氏(40,000枚)、倉田よしみ氏(16,000枚)の2氏、合計56,000点の原画を新たに収蔵した。</p>	<p>■デジタルアーカイブ作業については、順調に実績を重ねている。30年度も新たに56,000点の大規模な原画収蔵が実現し、計画を大幅に上回る収蔵実績となっている。</p> <p>■横手市の取り組みが、漫画家や編集者を通じて広がり、多数の漫画家や編集者より収蔵の相談が寄せられている。</p> <p>■平成31年3月末現在の漫画原画収蔵枚数は、約23万枚。</p>	<p>■来年度以降は指定管理料の中で増田まんが美術財団がアーカイブと収蔵の実務を担っていくことから、指定管理者との調整をこれまで以上に綿密に行い、適正な保管と活用に努めていく。</p>
31	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館 魅力アップ 事業	人材育成事 業 【H28】	・マンガやアニメ 文化振興のため の人材育成の取 組み。	マンガ原画 収蔵点数 (累計)	175,000点 (H31)								
32	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館 魅力アップ 事業	特別企画展 等開催事業 【H26⇒27 繰越】	・特別企画展や 官学交流イベント 等を開催する。	マンガ原画 収蔵点数 (累計)	175,000点 (H31)	100,00 0	234,28 9	7,897		7,897	<p>■移動特別企画展</p> <p>・安齋筆の世界展 会場：旬菜みそ茶屋「くらを」 入場者数：3,541人</p> <p>・まんが美術館は休館中ですがいろいろ知ってほしいことがあります展2 会場：ふるさと村鳥海 入場者数1,927人</p> <p>・原画！ゲンガ!!GENGA展!!!! 宮城県仙台市EbeanS 入場者数：884人</p> <p>・小島剛夕展の開催 会場：横手城展望台 入場者数：848人</p> <p>・リニューアルオープン特別企画展準備官学連携交流イベント(マンガWS)開催 会場：Y2ぶらざ及び大曲イオン花火の広場 参加者147人</p>	<p>■増田の町並みを会場に開催した移動特別企画展では、カフェを中心とする商店経営者との連携事業も展開できたことから、「マンガと町なみの連携」の今後の取り組みへの足掛かりとなった。</p> <p>■東京で移動特別企画展を開催したことにより、短期間の開催にも関わらず、多くの入場者を迎えることができ、横手市のPRへとつながった。</p> <p>■京都精華大学と連携し、イオンモール大曲を会場にワークショップを開催。小学生から高校生まで147人が参加し、マンガ製作に触れる機会を提供できた共に、リニューアルオープンする増田まんが美術館のPRにつながった。</p>	<p>■増田まんが美術館のリニューアルオープン後は、指定管理者が特別企画展やワークショップなどの事業を行うこととなり、市はより広くマンガをまちづくりに活かす取り組みを行うこととなっている。これまでの事業で培ったノウハウや人脈を指定管理者に適切に引き継ぎながら、より魅力ある美術館運営に努めていく。</p>
33	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館 魅力アップ 事業	増田の町並 み連携事業 【H26⇒27 繰越】	・重伝建地区であ る「増田の町並 み」と相乗的な効 果を図るための 誘導看板等を設 置する。。	マンガ原画 収蔵点数 (累計)	175,000点 (H31)								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	令和元年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (R1)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳 特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
30	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館 魅力アップ 事業	マンガ原画 収集保存事 業 【H26⇒27 繰越】	・マンガ原画の収 蔵及びアーカイブ 化を進める。	マンガ原画 収蔵点数 (累計)	175,000点 (H31)								
31	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館 魅力アップ 事業	人材育成事 業 【H28】	・マンガやアニメ 文化振興のため の人材育成の取 り組み。	マンガ原画 収蔵点数 (累計)	175,000点 (H31)								
32	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館 魅力アップ 事業	特別企画展 等開催事業 【H26⇒27 繰越】	・特別企画展や 官学交流イベン ト等を開催する。	マンガ原画 収蔵点数 (累計)	175,000点 (H31)								
33	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館 魅力アップ 事業	増田の町並 み連携事業 【H26⇒27 繰越】	・重伝建地区であ る「増田の町並 み」と相乗的な効 果を図るための 誘導看板等を設 置する。。	マンガ原画 収蔵点数 (累計)	175,000点 (H31)								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

着手年度	No	基本目標	款項目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成27年度					取組み状況	成果
									指標 目標値 (H27)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)		
* 34	1 / ②		10.4.4	増田まんが美術館整備事業	増田まんが美術館整備事業 【H28】 【H28⇒29 繰越】	・増田ふれあいプラザの一機能であった「まんが美術館」機能を強化し、施設全体をまんが美術館に特化し魅力向上を図るための展示及び施設改修工事を実施する。	増田まんが美術館入場者数	120,000人/年(H31)							
35	1 / ②		10.4.4	増田まんが美術館費	増田まんが美術館情報発信強化事業 【H30】	・市民と協働した情報発信を展開しビックプライドの醸成に生かす。 ・リニューアルオープンに向けて観光・まちづくりのアドバイザーの指導の下、情報発信と誘客に取り組む。 ・SNSやWeb広告等を活用し、まんが美術館の情報発信を強化する。	増田まんが美術館入場者数	120,000人/年(H31)							
36	1 / ②		10.4.4	増田まんが美術館費	増田まんが美術館費(債務負担含) 【H31】	まんが美術館運営のための指定管理料。	増田まんが美術館入場者数	120,000人/年(H31)							

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H28)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
34	1 /	②	10.4.4 増田まんが美術館整備事業	増田まんが美術館整備事業 【H28】 【H28⇒29 繰越】	・増田ふれあいプラザの一機能であった「まんが美術館」機能を強化し、施設全体をまんが美術館に特化し魅力向上を図るための展示及び施設改修工事を実施する。	増田まんが美術館入場者数	120,000人/年(H31)	45,000人/年	60,000人/年	44,547	29,900	14,647	<p>■増田ふれあいプラザ内の図書館を増田庁舎1階に、公民館・生涯学習機能を増田地区多目的研修センターに移転し、まんが美術館に特化する為の基本・実施設計を行った。</p> <p>■改修後の美術館をより魅力あるものにする為、専門家を招聘し、アドバイザー検討会を実施するとともに、地域内の関係団体からなる「未来づくり協働プログラム横手市プロジェクト推進協議会」を組織し広く意見聴取した。</p>	<p>■大規模改修工事の基本・実施設計が完成し、29年度工事発注。</p> <p>■当初予定していた工事価格を上回る設計内容となっているが、展示内容の充実と、法令を遵守するための工事及び長寿命化工事を追加したことによるものである。</p>	<p>■引き続き、「増田まんが美術館」に特化するための改修工事を実施。工事のため平成29年4月～31年3月休館とし、平成31年4月下旬にリニューアルオープン予定。</p>
35	1 /	②	10.4.4 増田まんが美術館費	増田まんが美術館情報発信強化事業 【H30】	・市民と協働した情報発信を展開しシンビョクプライドの醸成に生かす。 ・リニューアルオープンに向けて観光・まちづくりのアドバイザーの指導の下、情報発信と誘客に取り組む。 ・SNSやWeb広告等を活用し、まんが美術館の情報発信を強化する。	増田まんが美術館入場者数	120,000人/年(H31)								
36	1 /	②	10.4.4 増田まんが美術館費	増田まんが美術館費(債務負担含) 【H31】	まんが美術館運営のための指定管理料。	増田まんが美術館入場者数	120,000人/年(H31)								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
34	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館整備事業	増田まんが美術館整備事業 【H28】 【H28⇒29 繰越】	・増田ふれあいプラザの一機能であった「まんが美術館」機能を強化し、施設全体をまんが美術館に特化し魅力向上を図るための展示及び施設改修工事を実施する。	増田まんが美術館入場者数	120,000人/年(H31)	0	0	428,294	342,629	85,665	<p>■増田まんが美術館大規模改修工事</p> <p>【設計管理業務委託】 ・期間:H29.7.25～H30.12.14 【建築工事請負】 ・工期:H29.7.19～H30.3.20 【機械設備工事請負】 ・工期:H29.7.19～H30.3.20 【展示工事請負】 ・工事:H29.9.25～H30.11.30 【外装・外構等設計及び設計監理業務委託】 ・委託期間:29.6.27～30.11.30 【アスベスト調査業務委託】</p>	<p>■内部の建築、機械設備工事は年度内に終了し、展示工事に関しては、3月末進捗率35%まで完成した。</p> <p>■外装・外構等の設計は年度内に完成させたうえで調整を行い、30年度早々に発注手続きを行い、着手する。</p>	<p>■H30.11/30をもって全ての工事を完了し、同12月に横手市への引き渡しを受け、H31.4中旬のリニューアルオープンを目指す。</p>
35	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館費	増田まんが美術館情報発信強化事業 【H30】	・市民と協働した情報発信を展開し、ヒックプライドの醸成に生かす。 ・リニューアルオープンに向けて観光・まちづくりのアドバイザーの指導の下、情報発信と誘客に取り組む。 ・SNSやWeb広告等を活用し、まんが美術館の情報発信を強化する。	増田まんが美術館入場者数	120,000人/年(H31)								
36	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館費	増田まんが美術館費(債務負担含) 【H31】	まんが美術館運営のための指定管理料。	増田まんが美術館入場者数	120,000人/年(H31)								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成30年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H30)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
34	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館整備事業	増田まんが美術館整備事業 【H28】 【H28⇒29 繰越】	・増田ふれあいプラザの一機能であった「まんが美術館」機能を強化し、施設全体をまんが美術館に特化し魅力向上を図るための展示及び施設改修工事を実施する。	増田まんが美術館入場者数	120,000人/年(H31)	0	0	396,938	203,300	193,638	<p>■増田まんが美術館大規模改修工事</p> <p>【設計管理業務委託】 ・期間:H29.7.25～H30.12.14 【展示工事請負】 ・工事:H29.9.25～H30.11.30 【外装・外構等設計及び設計監理業務委託】 ・委託期間:H29.6.27～H30.11.30</p>	<p>■2か年の継続事業であった展示工事及び外装・外構工事を含め、全ての工事が工期通り終了し、H30年12月に横手市へ引き渡された。</p>	<p>※整備事業終了 2019年4月20日 開館記念式典 2019年5月1日 リニューアルオープン</p>
35	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館費	増田まんが美術館情報発信強化事業 【H30】	・市民と協働した情報発信を展開しヒットブライドの醸成に生かす。 ・リニューアルオープンに向けて観光・まちづくりのアドバイザーの指導の下、情報発信と誘客に取り組む。 ・SNSやWeb広告等を活用し、まんが美術館の情報発信を強化する。	増田まんが美術館入場者数	120,000人/年(H31)	—	—	20,551		20,551	<p>・マンガ活用PR戦略の作成と事業実施 ・WEB広告の実施 ・TVCMの制作、放映 ・横手市内におけるポスターチラシ配布 ・インフルエンサーツアーの実施と雑誌掲載</p> <p>【まんが美術館リニューアルオープンPRイベントの開催】:会場:東京都渋谷区hotelkoetokyo 来場者:プレス35社、一般来場者50名)・出前かまくらのPR ・東京キャラバンでのPR 【エージェント商談会への参加】:首都圏・台湾エージェント商談会</p>	<p>■マンガ活用PR戦略の完成と、戦略を基にした様々なPR活動を展開し、2019年5月1日にリニューアルオープンするまんが美術館の魅力を広くPRすることができた。</p>	<p>リニューアルオープン後も継続的にPR活動を展開する必要があるため、WEB広告を中心に、国内外への情報発信を続けていく。</p>
36	1 / ②	10.4.4	増田まんが美術館費	増田まんが美術館費(債務負担含) 【H31】	まんが美術館運営のための指定管理料。	増田まんが美術館入場者数	120,000人/年(H31)								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手続 取組目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	令和元年度					取組み状況	成果	今後の方向性
							指標 目標値 (R1)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
34	1 / ②	10.4.4 増田まんが美術館 整備事業	増田まんが 美術館整備 事業 【H28】 【H28⇒29 繰越】	・増田ふれあいプ ラザの一機能で あった「まんが美 術館」機能を強 化し、施設全体を まんが美術館に 特化し魅力向上 を図るための展 示及び施設改修 工事を実施する。	増田まんが 美術館入場 者数	120,000人/ 年(H31)								
35	1 / ②	10.4.4 増田まんが美術館 費	増田まんが 美術館情報 発信強化事 業 【H30】	・市民と協働した 情報発信を展開 しシンビックブレ イドの醸成に生か す。 ・リニューアル オープンに向けて 観光・まちづくり アドバイザーの指 導の下、情報発 信と誘客に取り組 む。 ・SNSやWeb広告 等を活用し、まん が美術館の情報 発信を強化する。	増田まんが美 術館入場者 数	120,000人 /年(H31)	120,00 0	142,31 6	18,858	-	18,858	<p>■横手市マンガ活用PR戦略に基づく事業 (まんが美術館リニューアルオープンに係る 県内広告事業(秋田空港、県内TVCM、県 内雑誌・フリーペーパーへの掲載、ラジオ告 知)、JR東日本管内でのポスター掲示、旅 行エージェント・各種媒体への売り込み事 業、WEB広告の実施、クルーズ船ファミツ アーの受け入れ)</p> <p>■美術館情報発信(首都圏および関西圏で の出前かまくらと共同したPR、商談用パンフ レットの作成、アニメツーリズム協会首長サ ミットへの参加、マンガ瓦版の発行(1回)、み んなが広報宣伝係(2件)、増田地区多言語 音声案内システムの構築)</p>	<p>■横手市マンガ活用PR戦略に基づき、様々 な情報発信を行った結果、5/1リニューアル オープン後、9/23には来館者10万人を達 成。年度末には初年度目標の12万人をこ える14万人が来館した。</p> <p>■まんが美術館と町並みに音声ガイドシス テムを構築し、来訪者の地域内回遊性が図ら れた。</p>	<p>目標の来館者数は達成したが、首都圏およ び近隣県での美術館の認知度はまだ高いと は言えず、今後はこれまでの入込分析をし、 また関係課とも連携して、美術館PRと美術 館を中心とする市内文化観光の推進を図っ ていく必要がある。</p>
36	1 / ②	10.4.4 増田まんが美術館 費	増田まんが 美術館費 (債務負担 含) 【H31】	まんが美術館運 営のための指定 管理料。	増田まんが美 術館入場者 数	120,000人 /年(H31)	120,00 0	142,31 6	93,528	-	93,528	<p>■増田まんが美術館指定管理料 ・まんが美術館の施設管理 ・美術館内および町並み運動特別企画展の 開催 ・ワークショップの開催 ・マンガ原画収蔵事業</p>	<p>■横手市増田まんが美術館の指定管理業 務について基本協定書等に基づき適正な管 理運営の指導を行ったほか、月例会議を開 催し情報の共有等に努めた。美術館内にお ける特別企画展開催により令和元年度の入 館者数が142,316人となったほか、町並みと の連携企画展を開催し来訪者の回遊性を 図ることができた。</p> <p>■週末を中心としてワークショップの開催し、 延べ2,444人が参加した。</p> <p>■マンガ原画収蔵事業では新たな大規模収 蔵を実現し、総収蔵数 180名、406,669点 となった。</p>	<p>指定管理業務の実施状況及び指定管理業 者の経営状況等を細やかに把握しながら、 さらなる適正管理・運営と情報共有の徹底 を図るため、月例会議開催や指導を徹底し ていく。</p>

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

着手年度	No.	基本目標 / 主要目標	款項目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成27年度					取組み状況	成果
									指標 目標値 (H27)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳			
												特定財源 (千円)	一般財源 (千円)		
★37		1 / ②	7.1.2	横手産品 販路拡大 事業	横手産品販 路拡大推進 事業 【H26以前】	・首都圏・仙台圏 での横手産品販 促とテストマーケ ティング ・バイヤーとの引 き合わせにより、 生産者が直接の 商談機会を増やし、 定期商流の構築 できるような支援 ・香港シテイスー パーでの販促活 動や専門家を通 じた海外販路開 拓のための調査・ 検証活動	商談機会提 供数	10回/毎年 (H28～31)	—	15回/ 年	9,383	0	9,383	<ul style="list-style-type: none"> ■仙台圏における販促活動 ・八百長商店(仙台)でのうめっす菜の開催(12回) ■首都圏における販路開拓・販促活動 ・サカガミと包括連携協定を締結し、事業者も参加した横手市フェア(2店舗のべ12日間)や料理教室(1回)を実施。 ・九州屋でスイカフェア(トップセールス)をはじめ、横手フェア、りんごフェアの開催及び産地見学の実施。 ・大山商店街夏まつりへの参加や周年祭の開催。 ・JAあつぎ夢未市での物産展の開催(2回)。 ・モスフードサービスや地元高校、JA(生産者)と連携した実地研修(販売体験含む)及び産学研修の実施。 ■海外における販路拡大・販促活動 ・シテイスーパーでのPRの実施及びアドバイザーを介した企業面談等の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ■仙台圏における販促活動 ・八百長商店における催事事業者の自立の実現。 ■首都圏における販路開拓・販促活動 ・サカガミ店舗での生産者・事業者参加による販促催事の実現とサカガミ会員参加による横手産品活用料理教室の開催(催事開催時の商品買取実現、取引商材の増加)。 ・九州屋への商流の改善と産地見学による横手産品への理解度の向上。 ・モスフードサービスをサポート企業に地元高校、JAとの農業活性化支援に関する協定による高校生の就業意欲の醸成、若手農業者の育成、販路拡大。 ・県内外のバイヤーを招へいたマッチング機会・商談の実施(県との共催によるマッチング商談会)。 ■海外における販路拡大・販促活動 ・シテイスーパーにおける販促活動(中秋節、春節)の実施。 ・アドバイザー紹介によるマカオ飲食店との商談成立。
▲38		1 / ②	7.1.2	横手産品 販路拡大 事業	海外販路開 拓支援事業 【H27⇒28 繰越】	・海外販路開拓 を目指す市内事 業者を総合的に 支援するため、輸 出業務に精通し ている専門家によ る実務セミナーの 開催や市場調査 を実施する。	商談成立事業者数	3社 (H31)							
◆39		1 / ②	7.1.2	応援人口 拡大事業	応援人口拡 大事業 【H26⇒27 繰越】	・「よこてfun通信」 を年4回発行し 応援人口の拡大を 図り、交流人口の 増加や物産振興 につなげる	応援市民 ネットワー ク （「よこてfun 通信」）読者 数	5,000人 (H31)	3,000 人	2,600 人	5,286	5,042	244	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な活動内容 よこてfun通信、年3回発行 よこてfun通信別冊物産カタログ発行 ふるさと小包バックチャリ発行 ■事業費の主な内訳 よこてfun通信発行に係る経費 2,668千円 (作成、インタビュー、広告) よこてfun通信印刷/郵送 1,936千円 イベントPRスタッフ経費 62千円 職員旅費(ふるさと会PR) 他事務費 460千円 	<ul style="list-style-type: none"> ■ふるさと会員を中心に「横手」への関心を高めるきっかけとなっている。市内特産品やふるさと納税返礼品制度の情報提供により、物産のPRや市物産関係団体の活性化に貢献している。 ■第3号発行時点、2,600名への発行 (首都圏在住のふるさと会約2,000名への配布のほか、首都圏でのイベント開催時に読者募集) ・県外イベントや市内観光施設等で、2,000部を配布 ■市内中学生による首都圏での横手市産品販売体験学習を実施。ふるさと会会員など首都圏在住者に横手の魅力を発信し、参加した生徒の郷土愛の醸成や地域の魅力発見にも寄与。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 目 録	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H28)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	財源内訳 一般財源 (千円)			
37	1 / ②	7.1.2	横手産品 販路拡大 事業	横手産品販 路拡大推進 事業 【H26以前】	・首都圏・仙台圏 での横手産品販 促とテストマーケ ティング ・バイヤーとの引 き合わせにより、 生産者が直接の 商談機会を増やし、 定期商流の構築 できるような支 援 ・香港シテイス ーパーでの販促活 動や専門家を通 じた海外販路開 拓のための調査・ 検証活動	商談機会提 供数	10回/毎年 (H28～31)	10回/ 年	23回/ 年	6,851	0	6,851	<ul style="list-style-type: none"> ■仙台圏における販促活動 <ul style="list-style-type: none"> ・八百長商店(仙台)での直売催事「うめっす菜」の開催(12回)。 ■首都圏における販路開拓・販促活動 <ul style="list-style-type: none"> ・サカガミ:フェア(3回のべ8日間)開催及び産地見学による商談機会創出。 ・九州屋:スイカフェア(トップセールス)をはじめ、りんごテストマーケティング実施(2回)及び産地見学の実施。 ・大山商店街催事への参加(2回)。 ・友好都市における物産展の開催(4回)。 ■人材育成のための体験学習やセミナーの開催(講演会2回、セミナー2回、モス・九州屋店舗での販売体験)。 ■市内いぶりがっこ生産者、販売者の組織化。 ■伝統野菜や特産品等の販路拡大支援の実施(県内イオン店舗で販促2回)。 ■海外における販路拡大・販促活動 <ul style="list-style-type: none"> ・台湾の商談会でのPRの実施。 ■仙台圏における販促活動 <ul style="list-style-type: none"> ・「うめっす菜」への支援による認知度向上と顧客増加への貢献。 ■首都圏における販路開拓・販促活動 <ul style="list-style-type: none"> ・サカガミ社員の産地見学による市産品理解度醸成と商談会開催等による販路拡大(11事業者紹介)。 ・市主催催事のほか、九州屋首都圏店舗での期間を通じたスイカ・りんご販売の実現及び九州屋独自企画フェアの開催。 ・友好都市での販路拡大(厚木市:観光協会店舗・市役所食堂での一次産品の採用、ふるさと納税返礼品の相互採用。那珂市:加工品採用、返礼品の相互採用。) ■高校生、若手生産者への人材育成事業の実施による、流通・販売に関する理解度の向上。 ■横手市いぶりがっこ活性化協議会の設立と県産いぶりがっこ販売振興のための県内他団体との連携。 ■伝統野菜(山内にんじん)の販売促進、販路拡大の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ■仙台圏・首都圏 <ul style="list-style-type: none"> ・小売店、友好都市などと連携した販促活動、テストマーケティングへの支援を行い、新たな販路拡大と既存の販路強化、参加事業者の自立を支援する。 ■高校生や若手農業者に研修や体験の場を提供し、担い手となる人材の育成をはかる。 ・伝統野菜や特産品の品質向上、販路拡大支援を関係機関と連携しながら推進する。 ■海外 <ul style="list-style-type: none"> ・北都銀行との連携協定を活用した新たな販路拡大支援。 	
38	1 / ②	7.1.2	横手産品 販路拡大 事業	海外販路開 拓支援事業 【H27⇒28 繰越】	・海外販路開拓 を目指す市内事 業者を総合的に 支援するため、輸 出業務に精通し ている専門家によ る実務セミナーの 開催や市場調査 を実施する。	商談成立事業者数	3社 (H31)	—	—	2,191	1,543	648	<ul style="list-style-type: none"> ■市内事業者(横手市物産団体連絡協議会)あて輸出支援希望商品の募集 ■海外販路アドバイザーによる輸出支援事業者訪問、アドバイス業務 ■農業ブランド創造課及び発酵文化研究所と連携した発酵食品の海外販路開拓可能性調査 ■アドバイザーより輸出希望事業者へ対象国の市場状況、法規制等の情報提供 ■国内外バイヤー等への配付を目的とした「横手市農産加工品パンフレット」の作成(日本語・英語) ■海外バイヤー配付を目的とした輸出支援商品の「商品仕様書」「商品規格書」翻訳(英語)支援 ■国際教養大学留学生(タイ、シンガポール)による横手産品試食会の実施 ■タイ王国への企業訪問、現地マーケット視察 	<ul style="list-style-type: none"> ■海外販路開拓を希望する事業者の発掘 <ul style="list-style-type: none"> ⇒5事業者14商品 ■海外販路開拓希望事業者海外市場及び法規制等に対する理解度向上⇒5事業者 ■有望国内の法規制解除に向けた取り組み(タイ保健省食品医薬品局への事前登録) <ul style="list-style-type: none"> ⇒4事業者4商品(1社辞退) ■政策間連携(よこて発酵文化研究所ほか)による新たな候補商品の発掘と国際教養大学留学生による横手産品試食会を通じた嗜好性の把握 試食会後の候補商品 <ul style="list-style-type: none"> ⇒漬物、みそ、甘酒、リンゴジュース ■タイ王国の貿易商社、現地バイヤー、現地広告代理店等への企業訪問(7事業者)による、横手産品の紹介及びマッチングの事前調査(現地百貨店、日本人向けスーパーなど)と関連事業者とのネットワークの構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ■海外販路開拓を希望する新規事業者の発掘、育成 ■海外販路アドバイザーによる継続、新規輸出支援希望事業者への海外市場等アドバイス ■国内外貿易商社に対する横手産品(輸出支援希望商品)の紹介及びマッチング ■輸出支援希望事業者の自立に向けた貿易実務の勉強会
39	1 / ②	7.1.2	応援人口 拡大事業	応援人口拡 大事業 【H26⇒27 繰越】	・「よこてfun通信」 を年4回発行し 応援人口の拡大を 図り、交流人口の 増加や物産振興 につなげる	応援市民 ネットワーク (「よこてfun 通信」)読者 数	5,000人 (H31)	3,500 人	4,321 人	6,509	0	6,509	<ul style="list-style-type: none"> ■「よこてfun通信」発行(6月、9月、12月、3月) ■「よこてfun通信」別冊発行(物産(和洋菓子)カタログ) ■市内中学校2校による首都圏での横手産品販売体験学習を実施(横手北中(131人)4ヶ所、十文字中(121人)2ヶ所) ■市の情報や首都圏で開催のイベント情報、ふるさと会の活動情報を掲載し、横手市を身近に感じてもらえるよう企画(紙面づくり)。 	<ul style="list-style-type: none"> ■平成28年度累計読者数目標 3,500人に対し、ふるさと会会員からの紹介や各種イベント、SNSで周知を図るなどした結果、読者数4,321人(H29年2月末現在)の獲得に成功した。 ・主な周知イベント…友好都市等でのイベント、ふるさと会「funフェスタ(錦糸町)」、まるごととぼん「横手うまいものフェア(浅草)」 ■市内中学校が横手産品販売体験学習を開催。 ふるさと会員向けに「よこてfun通信」号外で告知。ふるさと会会員を中心とした首都圏在住者に横手の良さをアピールできた。中学生には、ふるさとの魅力について学ぶ機会を創出できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規読者獲得 <ul style="list-style-type: none"> 市出身者が望む「ふるさと情報」などの掲載内容充実を図るとともに、首都圏横手市ふるさと会との連携、県外催事での配布・周知、市SNS、市職員のネットワークを活用。また、財政確保のための業務の民間移行を検討する。 ■物産振興への貢献 <ul style="list-style-type: none"> 市産品を数多く紹介(産品折込カタログ含む)し、読者の購買意欲も高められるような紙面づくりに努める。 ■地元中学生による首都圏での産品の販売PR体験。 ■ふるさと会と連携した首都圏とふるさと会の交流物産イベント「横手うまいものフェア」の開催。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基 本 手 段	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度				取組み状況	成果	今後の方向性	
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳 特定財源 (千円)				一般財源 (千円)
37	1 / ②	7.1.2	横手産品 販路拡大 事業	横手産品販 路拡大推 進事業 【H26以前】	・首都圏・仙台圏 での横手産品販 促とテストマー ケティング ・バイヤーとの引 き合わせにより、 生産者が直接の 商談機会を増や し、定期商流の構 築できるよう支援 ・香港シティス ーパーでの販促活 動や専門家を通 じた海外販路開 拓のための調査 ・検証活動	商談機会提 供数	10回/毎年 (H28～31)	10回	15回	7,714	0	7,714	<ul style="list-style-type: none"> ■仙台圏直売専「うめっす菜」の開催支援(12回…ポス ター・チラシ印刷と開催事務手続き支援、販促品の提供)、直 売所棚代支援 ■サカガミフェア開催及び産地見学による商談機会創出 (フェア・夏秋各計3回、産地見学会1回) ■九州屋・産地見学及びフェアの実施(各店舗店長等社員4 名、スイカフェア都内5店舗で開催、JA産リングフェア都内3店 舗、リング担い手農家によるテストマーケティング1回) ■友好都市における物産展の開催(厚木市…3回、那珂市… 2回) ■人材育成のための体験学習やセミナーの開催(増高生対象 …モスバーガーでの販売体験、九州屋でのインターンシップ) ■商工会議所と連携した商品開発セミナー開催(食品加工事 業者10事業者参加、開催支援3回) ■県いぶりがっこ振興協議会と連携した取り組みの実施と伝統 野菜や特産品等の販路拡大支援の実施 ■あきた食彩プロデュースへの委託による台湾での販路開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ■仙台圏、首都圏事業者・小売店、友好都市な どと連携した販促活動、テストマーケティングへの 支援を行い、新たな販路拡大と既存の販路強 化、参加事業者の自立を支援する ■市役所関係部署、JAとの連携により、一次産 品、加工品の一定規模の販路拡大を目指す ■高校生や若手農業者に研修や体験の場を提 供し、担い手となる人材の育成を図る ■伝統野菜や特産品の品質向上、販路拡大支 援を関係機関と連携しながら推進する ■台湾における販路拡大事業の見直しと北都銀 行との連携協定を活用した新たな販路拡大支援 	
38	1 / ②	7.1.2	横手産品 販路拡大 事業	海外販路開 拓支援事業 【H27～28 繰越】	・海外販路開拓 を目指す市内事 業者を総合的に 支援するため、輸 出業務に精通し ている専門家による 実務セミナーの 開催や市場調査 を実施する。	商談成立事業者数	3社 (H31)	—	1社	2,225	0	2,225	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な活動内容 …県との連携模索(補助金…商業貿易課、事業連携の可能性 …うまいもの販売課、畜産振興課、農業経済課販売戦略室) …海外販路開拓希望事業者を対象とした貿易実務勉強会の開 催(3回) …マカオジャパンフェアへ商品提案及び出展事業者支援(10 商品提案、8月) …タイ王国バイヤーの横手招へい(10月…市内4事業者訪 問) …タイジャパンフェアへの出展事業者支援(11/9～12/9、ハ ンコク高級百貨店3店舗) …海外販路アドバイザーによる事業者商品へのアドバイス実施 (2回) ■事業費の主な内訳(H30.3.15) …海外販路アドバイザー等経費 700千円 …職員旅費、出張費 328千円 …タイジャパンフェア出展経費 304千円 …タイ向け観光素材、横手産品広告料 390千円 …マカオジャパンフェア出展経費 57千円 	<ul style="list-style-type: none"> ■事業者に対して県補助金活用支援、貿易実 務を習得させる機会の創出(事業者が自ら輸入 申請書類を作成) ■マカオジャパンフェアへの出展実現(提案10商 品のうち8商品採用)と通常取引への発展(地 ビール、日本酒) ■タイ王国バイヤーを招へいた事業者マッチ ングの実現(自社商品の優位性等、事業者自ら説 明)。同バイヤーとのパートナー関係を構築し、初 のフェア(3事業者、4商品)成功に結び付ける。 ■事業者自らフェアに出展(渡航)してもらい、有 望国の可能性、課題等を直に感じ取ってもらう機 会創出により、輸出事業に対する理解と意欲を 持ってもらった 	<ul style="list-style-type: none"> ■有望国でのフェア出展した商品に対する 事業検証を事業者とともに実施し、輸出事 業への理解を深め、自立を促す(輸出リー ドタイム検証、収支検証、輸出における課題 抽出) ■有望国においてフェア等を通じて継続した 横手産品のPR活動の実施 (フェアの継続実施、SNSの活用、バイ ヤー・オーナー企業との人間関係の構築)
39	1 / ②	7.1.2	応援人口 拡大事業	応援人口拡 大事業 【H26～27 繰越】	・「よこてfun通信」 を年4回発行し 応援人口の拡大を 図り、交流人口の 増加や物産振興 につなげる	応援市民 ネットワーク (「よこてfun 通信」)読者 数	5,000人 (H31)	4,000 人	6,806 人	6,615	0	6,615	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な活動内容 …よこてfun通信、年4回発行(6月、9月、12月、 3月) …よこてfun通信号外年3回発行(4月、7月、10 月) …市内中学校1校による首都圏での横手産品販 売体験学習を実施。 …ふるさと会連絡協議会役員会でのfun通信編集 に関する意見交換の実施。 …市役所関係課との掲載記事に関する協議 ■事業費の主な内訳(H30.2.28) …よこてfun通信発行に係る経費 2,894千円 …よこてfun通信印刷 1,731千円 …よこてfun通信郵送 1,149千円 …職員旅費(ふるさと会打合せ、取材) 109千円 	<ul style="list-style-type: none"> ■平成29年度読者数の目標4,000人に対 して6,806人(30.3末)となり目標をクリアし た。 …主な周知イベント(友好都市等でのイベ ント、浅草まるごとっぽん「よこてうまいもの フェア」) ■よこてfun通信号外発行による首都圏で のイベントを告知し集客に結び付けた。 ■市内中学校1校が首都圏で横手市産品 販売体験学習を実施。首都圏在住者に横 手の良さをアピールできたと共に、ふるさと会 会員との交流の場になった。また、中学生に は、ふるさとの魅力や、効果的なPR販売を 学ぶ機会を創出できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■紙面づくり 市出身者が望む「ふるさと情報」などの掲 載内容を図るとともに、移住定住情報も掲載 するなど、新たな読者ニーズ(ふるさと納税 応援市民など)に対応した記事掲載を企画 する 市産品や、ふるさと納税返礼品を数多く紹 介し、読者の購買意欲を高める ■新規読者獲得 首都圏ふるさと会との連携、県外催事での 配布・周知、市SNS、市職員のネットワー クを活用する。 ■地元中学生による首都圏での横手産品の 販売PR活動を支援し、将来の横手ファン育 成を進める

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成30年度				取組み状況	成果	今後の方向性	
								指標 目標値 (H30)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳				
											特定財源 (千円)				一般財源 (千円)
37	1 / ②	7.1.2	横手産品 販路拡大 事業	横手産品販 路拡大推 進事業 【H26以前】	・首都圏・仙台圏 での横手産品販 路とテストマーケ ーティング ・バイヤーとの引 き合わせにより、 生産者が直接の 商談機会を増や し、定期商流の構 築できるよう支援 ・香港シテイス ーパーでの販促活 動や専門家を通 じた海外販路開 拓のための調査 ・検証活動	商談機会提 供数	10回/毎年 (H28～31)	10回	28回	6,586	6,586	<ul style="list-style-type: none"> ■仙台圏直売催事「うめつ菜」の開催支援(12回) ■サカガミ 夏フェア1回(2店舗)、秋フェア1回(2店舗)、冬フェア1回(1店舗) ■産地見学会1回(バイヤー3名招聘) ■九州屋 スイカフェア1回(5店舗) ■市長とJA専務理事、ミスフレッシュによる販促を実施 ■横手フェア1回(3店舗) ■ミスフレッシュ、JA職員による販促を実施 ■スーパーマーケットフェア1回(1店舗) ■りんごフェア1回(3店舗) ■産地見学会1回(バイヤー3名招聘) ■大山商店街 ・横手市出張販売1回 ・周年祭開催 ・いぶりがっこフェア開催 ・大山ふるさと夏まつりに横手やきそば「栄屋号」が出演 ■友好都市間における物産展 ・原本市2回・那珂市3回・世田谷1回 ■人材育成のための体験学習の開催 ・増高生を対象にティーンズ農業プロジェクトと産学2回、実地研修2回、講演会2回、講義1回、販売体験1回、輸出チャレンジ勉強会5回実施 ■生産者のスキルアップセミナーの開催 ■女性のための農業ビジネスセミナー実施1回(15名参加) ・チーズから学ぶ発酵食品の可能性を探るセミナー開催(44名参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ■仙台市八百長商店「うめつ菜」への支援による認知度向上と顧客増加への貢献。 ■サカガミの産地見学会による商談機会の創出とフェア開催等による販路拡大(フェア参加生産者…2事業者) ■JAと連携したフェア開催により、九州屋店舗での期間を通したスイカ・リンゴ販売取扱量の増加 ■九州屋スーパーマーケットにおいて改装オープンにあわせてフェアを初めて実施。加工品等の取扱いが実現 ■友好都市での販路拡大(職員向け横手産品ギフトセットの提案) ■高校生への人材育成事業実施により、農業、流通販売に関する理解度の向上 ■大山商店街で「いぶりがっこフェア」を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■仙台圏、首都圏事業者・小売店、友好都市などと連携した販促活動、事業者が直接消費者の声を聞く機会を創出し、新たな販路拡大と既存の販路強化、参加事業者の自立を支援する。定期開催だったフェアを固定化する ■友好都市における物産展において、取引のある事業者と連携した取り組みを実施する ■いぶりがっこのGI取得後、GI商品のほかGI対象外のいぶりがっこの対策を図る ■ティーンズ地域活性化プロジェクトの一環として、高校生による商品開発や横手産品の伝統継承につながる体験学習を実施する 	
38	1 / ②	7.1.2	横手産品 販路拡大 事業	海外販路開 拓支援事業 【H27⇒28 繰越】	・海外販路開拓 を目指す市内 事業者を総合的 に支援するため、 輸出業務に精通 している専門家 による実務セミ ナーの開催や市 場調査を実施 する。	商談成立事業者数	3社 (H31)	1社	13社 (マカオ 12社、 タイ1 社)	3,213	3,213	<ul style="list-style-type: none"> ■アドバイザー面談(3回) ■バイヤー招聘(1名・1回) ■商談実施(3回) ・マカオ小売店、飲食店への商談、提案活動の実施(11月・2月) ・マレーシアの現地輸入者との商談(9月) ・市内事業所との面談は随時実施 ■市内事業所を対象とした勉強会(9月・6事業所参加) ■国際教養大生徒とともに、香港・マカオ圏でのプロモーションの在り方を研究・構築(7月) ◎アドバイザーとの面談、アドバイスにより、新規にマレーシア、タイをカバーする国内輸出事業者を横手市に招聘し、事業者との商談を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■マカオ小売店、飲食店への商談、提案活動の実施により、現地協力者との強固な信頼関係が構築された。 ■マカオ百貨店に働きかけ、横手市産品を中心とした「北日本フェア」に新たに参加することができた。(11月) ■マカオ百貨店において商品定着のためのプロモーションを新たに実施することができた。(3月) ■マカオホテル内飲食店において、新たに横手産品を使用したメニューが採用された。(2店舗) ■アドバイザーより海外市場の魅力、注意点等を聞き取り、新たに海外販路に挑戦したい市内事業者を发掘することができた(新規取組事業者6社) ■輸出が実現したことにより、取組事業所からは「社内のモチベーションが上がった」「世界が広がったことを閉塞感を打破するきっかけにしたい」など、前向きな意見を頂いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■市内中小事業所でも取組み可能な相手先として、国内での円決済、日本語で取引可能ということを条件に販路を拡大していく。国内の第一人者であるアドバイザーの力を借りて実現していきたい。 ■商品の販路実現はもちろんのこと、現地協力者、食品関係者との信頼関係が構築、維持できる取組みとなるよう努める。 ■エリア的な優先順位がはっきりしつつあり、定期販路、現地協力者との信頼関係が確立されつつある香港とマカオを中心として、その他現在有望としている国にも対応できるという姿勢で選択と集中を進めていく。 	
39	1 / ②	7.1.2	応援人口 拡大事業	応援人口 拡大事業 【H26⇒27 繰越】	・「よこてfun通信」 を年4回発行し 応援人口の拡大 を図り、交流人口 の増加や物産振 興につなげる	応援市民 ネットワーク （「よこてfun 通信」）読者 数	5,000人 (H31)	7,800 人	8,637 人	8,376	8,376	<ul style="list-style-type: none"> ■読者数8,637人(H31.2月末) ■よこてfun通信を6月・9月・12月・3月の4回発行。 ■9月・12月・3月号は総合政策部・まちづくり推進部と連携し、関係人口施策のページを2ページ増。応援人口との関係性構築という点で新たなステージに入ることができた。 ■首都圏在住の読者に対し、号外にて首都圏で開催するイベントを告知したところ、多くの来場者があるなどの反響があったことから、大きな情報インフラとして活用できている。 ■12月号は公益社団法人日本広報協会が主催する全国広報コンクールに企画部門の秋田県代表として選出。 ■修学旅行の販売支援については、目的と役割分担について整理をするため、教育委員会と協議した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■昨年1月末の読者数6,806人から、目標である1,000人以上の増加を達成。 ■他課事業であるが紙面を活用して読者が実際に横手の応援をする事業を連携して実施。 ■首都圏での物産展開催時にお客様からfun通信の話題を聞く頻度が確実に増えてきている。 ■読者(応援市民)の声からは、ふるさと納税をリピートするケースも多いことがうかがえ、結果として物産業界の活性化につながっている。 ■全国広報コンクール企画部門で入賞。同コンクールの入賞は平成21年の市報横手以来10年ぶり。 	<ul style="list-style-type: none"> ■紙面の内容について、伝統芸能、伝統工芸、自然、人、技術、風土、文化などについても光をあて、食だけではなく文化・産業の振興にも注力しながら、読者が「応援したくなる横手」の姿を表現していく。 ■応援人口についての理解を図り、関係性を構築していく。 ■ふるさと納税返礼品情報の拡充を図る。 ■消費税増額による市内経済の景気減退対策として、特産品・返礼品等について魅力的な情報を発信し、よこてfun通信読者の購入機会の増加につなげる。 ■よこてfun通信読者数を平成31年度末に11,000人程度まで増加させる。 	

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本目標 手目標	取組目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	令和元年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (R1)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
37	1 / ②	7.1.2	横手産品 販路拡大大 事業	横手産品販 路拡大推進 事業 【H26以前】	・首都圏・仙台圏 での横手産品販 促とテストマーケ ティング ・バイヤーとの引 き合わせにより、 生産者が直接の 商談機会を増やし、 定期商流の構築 ができるよう支援 ・香港シテイス パーでの販促活 動や専門家を通 じた海外販路開 拓のための調査・ 検証活動	商談機会提 供数	10回/毎年 (H28～31)	10回	32回	6,880		6,880	<ul style="list-style-type: none"> ■仙台圏直売催事「うめっす菜」の開催支援(12回) ■サカガミ ■夏フェア1回(2店舗)生産者1名が販促、旬フェア1回(1店舗)、秋フェア1回(2店舗)事業者1名が販促、冬フェア1回(1店舗) ■産地見学会1回(バイヤー3名招聘) ■九州産 ■夏フェア1回(5店舗)市長とJA専務理事、ミスフレッシュによる販促を実施 ■旬フェア1回(5店舗) ■秋フェア1回(5店舗)市長によるトップセールスを実施 ■りんごフェア1回(2店舗) ■産地見学会1回(バイヤー、店舗職員4名招聘) ■友好都市等における物産展 ■厚木市2回・那珂市1回・世田谷1回 ■人材育成のための体験学習の開催 ■若者生を対象にティーンズ地域活性化プロジェクトとして商品開発の作業等10回実施、販売体験3回 ■外食産業におけるフェア開催 ■「和食・酒えん」14店舗で6月の1か月間、横手の食材を取入れたフェアを開催。(夜メニュー8品目、ランチメニュー2品目) ■いぶりがっこ ■R15.8G登録 ■横手市いぶりがっこ活性化協議会役員会3回、総会1回、部会1回、研修会4回 ■商談会、いぶりがっこ祭り開催(あきた美彩館) 	<ul style="list-style-type: none"> ■仙台市八百長商店「うめっす菜」への支援による認知度向上と顧客増加への貢献。 ■サカガミの産地見学会による商談機会の創出とフェア開催等による販路拡大。(フェア参加者…2事業者) ■定期的なフェア開催により、九州屋店舗での期間を通じたスイカ・リンゴ販売取引量の増加。 ■友好都市職員向け横手産品の提案、厚木市職員食堂での横手市メニューの提供・売店での横手産品取扱い開始。 ■高校生が横手の農産品等をつかった新商品の企画・開発・販売等を実施することにより、横手産品及びマーケティングへの理解度向上と人材育成につながった。 ■外食産業におけるフェア開催により、横手産食材の魅力を発信することができた。 ■「商談会」「いぶりがっこ祭り」など、G1登録後の販路拡大、PRを実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■首都圏で横手産品が認知され、好評を得ていることから、さらに商品が定着するように事業を進めていく。 ■他産地との差別化をはかりながら販売できる取組を進めていく。 ■サカガミ、九州屋との関係をさらに密にしながら、横手産品の取引を拡大していく。
38	1 / ②	7.1.2	横手産品 販路拡大大 事業	海外販路開 拓支援事業 【H27⇒28 繰越】	・海外販路開拓 を目指す市内事 業者を総合的に 支援するため、輸 出業務に精通し ている専門家による 実務セミナーの 開催や市場調査 を実施する。	商談成立事業者数	3社 (H31)	1社		2,940		2,940	<ul style="list-style-type: none"> ■アドバイザー面談(4回・うち1回海外同行) ■市長トップセールス(香港・マカオ5月) ■商談実施 ・香港・マカオ小売店、飲食店への商談、提案活動の実施(5月・8月・11月) ■フェア開催 ・香港クールジャパンフェア(8月・1事業者渡航) ・マカオ横手フェア(11月・1事業者渡航) ■年度中輸出回数36回 ■国際教養大生徒をディスカッションの機会を設け、香港・マカオ地域のマーケティング戦略を議論 	<ul style="list-style-type: none"> ■市長トップセールスにより、現地協力者との強固な信頼関係が構築され、新たな展開につながった。アドバイザーも同行したことで、新規フェアや発注につながるなど非常に有益な商談が可能となった。 ■マカオ百貨店において横手フェア実施。地元事業者1社も渡航。(11月) ■香港高級食品店においてジャバンクールフェアに横手産品採用。地元事業者も1社参加(8月) ■新たに横手産品を紹介できる販路が広がった。(マカオ内ホテル2社、飲食店1店舗) ■アドバイザーの指導のもと、地道に商品紹介を続けてきた効果が現れてきており、多様な商品への要望が来始めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■市内中小事業所でも取組み可能な相手先として、国内での円決済、日本語で取引可能ということを条件に販路を拡大していく。国内の第一人者であるアドバイザーの力を借りて実現を目指す。 ■新型コロナ感染拡大により3月に予定していたフェアは中止となった。コロナ禍においては発注も低空飛行となることが予測されるが、現地協力者との信頼関係を低下させることのないよう、要望には真摯に応えていく。
39	1 / ②	7.1.2	応援人口 拡大大 事業	応援人口拡 大事業 【H26⇒27 繰越】	・「よこてfun通信」 を年4回発行し 応援人口の拡大を 図り、交流人口の 増加や物産振興 につなげる	応援市民 ネットワーク （「よこてfun 通信」）読者 数	5,000人 (H31)	7,800 人	9,388 人	12,979		12,979	<ul style="list-style-type: none"> ■読者が9,388人(R2.2月末) ■よこてfun通信を6月・9月・12月・3月の4回発行。 ■号外扱いで12月号に横手弁番付をふろくとして添付 ■庁内各事業と連動し、読者に応援メニューを提示し、実際に応援してもらう活動を展開(6事業) 9月トリルよこて物産展ボランティア19人 11月いぶりがっこ生産体験 2人 など ■3月のトリルよこて物産展が新型コロナウイルスにより中止となり、代替策として通信販売に特化した号外を発行した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■読者が1万人に迫る勢いであり、応援人口への情報インフラとして機能している。 ■他課事業が紙面を活用して読者が実際に横手の応援をする事業を実施できる仕組みを構築。 ■Uターン向けに横手の魅力企業紹介コーナーを新設 ■読者(応援市民)の声からは、ふるさと納税をレポートするケースが多いことや、観光需要を掘り起こしている様子がうかがえる。市全般への効果につながる可能性を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■横手の魅力=食onlyというイメージを払拭するべく、多様な横手の魅力を表現していくことが課題であり、特集記事の視点を毎回精査していく。 ■引き続きfum通信の有効な活用方法を探っていく。 ■市として応援人口(関係人口)の位置づけや目指すところを議論していく。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

着手年度	No	基本目標	款項目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成27年度					取組み状況	成果
									指標 目標値 (H27)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳			
												特定財源 (千円)	一般財源 (千円)		
◆	40	1 / ②	7.1.3	観光誘客 推進事業	国際的産学 官連携モデル 事業 【H26⇒27 繰越】	・訪日観光需要 が伸びている台湾をターゲットに、 大同大学(台湾)と市内企業連携 による情報発信のための中国語 サイトの運営やホームステイ・イ ンターンシップ等の活用を通じ、市 内への誘客を促進する。	台湾から秋 田県内への 観光客数の 10%が横手 市を訪れる こと	2,500人/年 (H27～31)	700人 /年	831人 /年	12,483	11,168	1,315	<p>■具体的な活動内容 台湾 大同大学との協定締結 中国語観光サイト構築と運用 横手市ガイドブックの作成</p> <p>■事業費の主な内訳 中国語サイト構築のためのコンテンツ作り経費(大同大学学生 の滞在費)、サイト保守経費 6,802千円 ガイドブック作成 4,085千円 大同大学との協定締結等のための職員旅費 1,315千円 その他事務費等 281千円</p>	<p>■産学官連携により、横手市を紹介する中国語サイトを構築 ■中国語版、英語版の横手市ガイドブックを作成。中国語(繁体 字)の翻訳及びデザイン・レイアウトについては、協定を結んだ 台湾・大同大学の監修を受け実施した。</p>
*	41	1 / ②	7.1.3	観光誘客 推進事業	インバウンド 対応事業 【H28】 拡大 【R2～】	・秋田県との合同 による観光PR事 業 ・多言語による情 報発信 ・海外旅行者おも てなし講習会の 開催	台湾から秋 田県内への 観光客数の 10%が横手 市を訪れる こと	2,500人/年 (H27～31)							
*	42	1 / ②	7.1.3	増田のまち なみ振興 事業	増田エリア 観光誘客事 業 【H28】	・増田エリアの魅 力発信などにより 交流人口を増加 させる	増田エリア 内の観光客 数	330,000人/ 年(H31)							

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 目 録	実施計画事業名 (中事業名) 【着手年度】	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H28)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
40	1 / ②	7.1.3	観光誘客 推進事業	国際的産学 官連携モデル 事業 【H26⇒27 繰越】	・訪日観光需要 が伸びている台 湾をターゲットに、 大同大学(台湾) と市内企業連携 による情報発信 のための中国語 サイトの運営や ホームステイ・イ ンターンシップ等 の活用を通じ、市 内への誘客を促 進する。	台湾から秋 田県内への 観光客数の 10%が横手 市を訪れる こと	2,500人/年 (H27～31)	1,000 人/年	1,611 人/年	8,920	0	8,920	<ul style="list-style-type: none"> ■デザインワークショップ in 増田 (大同大学・Aiu・秋田公立美術大学・増田関係 団体) ・企業研修(1か月間×2人) ・台湾観光PR(出前かまくら in 台湾) ・冬期間の情報発信(大学生によるSNSの活用) ・大同大学創立60周年式典出席 ・多言語パンフ増刷 ■デザインワークショップ・企業研修など調整業 務委託 ・中国語サイト(HP)保守業務委託 ・大同大学関係訪問時における職員旅費(3回) ・多言語パンフ増刷 ・その他事務費等 	<ul style="list-style-type: none"> ■中国語サイトの運営状況(12か月) ・アクセス数:2,137件(うち台湾から991件 46.37%) ・HP訪問者が見る平均ページ数:2.90ページ ・HP訪問者のうち1ページ見て戻る割合(直帰率): 69.54%(40%～60%が目安) ■デザインワークショップによる案内用サイン作成。 増田の町並み・景観に配慮し、外国人旅行者にも理 解できる案内用サインを多国籍のワークショップにより作 成(6グループ×6種類)し、今後のサインの設置に向け て検討することとした。 ■市内企業の海外研修の実施 大学生の企業研修後、商工会議所青年部による海外 研修を実施。市内企業から14名が参加した。 (大同大学に通訳・コーディネーターを依頼し、大学と繋 がりのある企業など各種企業訪問を実施。) 	<ul style="list-style-type: none"> ■台湾の大学からのインターンシップ、ワー キングホリデーが生まれ、地域や企業との交 流が生まれる事業展開が主たる目標。 (大学側は学生在学中に、日本での研修カリ キュラム/単位制を充実させたいという目標 がある) ■将来の国際社会を担う台湾の優秀な人 材に対し、日本の中の横手市という地域を身 近に感じていただき、観光面のみならず、横 手市の企業と連携した人的、技術的連携も 視野に入れ、市に経済効果を生み出せる事 業に展開していきたい。
41	1 / ②	7.1.3	観光誘客 推進事業	インバウンド 対応事業 【H28】 拡大 【R2～】	・秋田県との合同 による観光PR事 業 ・多言語による情 報発信 ・海外旅行者おも てなし講習会の 開催	台湾から秋 田県内への 観光客数の 10%が横手 市を訪れる こと	2,500人/年 (H27～31)	1,000 人/年	1,100 人/年	2,913	0	2,913	<ul style="list-style-type: none"> ■秋田県と合同によるタイ向け観光PR事業 ・FITフェア(日本政府観光局主催) ・事業者向けPR活動(秋田県主催) ・タイ国内電車へのラッピング等によるPR活 動 ■雪まつり用多言語パンフによる情報発信 ・3言語(英語・繁体字・韓国語)を計3,000 部 ■海外旅行者おもてなし講習会の開催 ・雪まつりに備え市内事業者向けに計3回 ■台湾出前かまくらによるPR活動 ・秋田県・大同大学(台北)等と連携し実施 ■海外向けフリーペーパーへの情報掲載 ・市の伝統行事・食に関する情報を発信 	<ul style="list-style-type: none"> ■タイ関係 ・平成28年11月実施のFITフェアには、主催者から6万人以上の来場 者があったこととあり、PRとしては有効な手段と考えている。 ・パンコの高校では、修学旅行の訪問先として横手市を選定した実績 がある。 ・タイからのプロガーも当市を訪問しており、今後も誘客の増加が見込ま れる。 ■台湾関係 ・来訪者及び宿泊者は増加傾向にあり、今後もPRを継続することが必要 と捉えている。 ■受入体制関係 ・多言語による案内やおもてなしを充実させることにより、外国人観光客 の満足度も向上傾向にあると期待している。また、セミナーに対する満 足度も大変高いものであった。(参加者:全3回合計65名) ■市内における外国人宿泊者数 平成28年 982人 平成27年 983人 平成26年 305人 ■多言語パンフ関係 ・これまで多言語による海外向け情報発信を十分に行なえておらず、今 後海外向けに横手の情報を発信する有効なツールとなることを期待さ れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■秋田県と連携し、海外からの誘客に向けPR 事業を展開していく。 ■外国人旅行者の受入体制整備のため、 多言語による情報発信とおもてなし講習会 を継続する。 ■大同大学(台湾)との連携を強化し、台湾 からの誘客を図る。 ■多言語によるパンフレット作成や情報掲載 等を行ない、海外向けに有効なPRを展開し ていく。
42	1 / ②	7.1.3	増田のま ちなみ振興 事業	増田エリア 観光誘客事 業 【H28】	・増田エリアの魅 力発信などにより 交流人口を増加 させる	増田エリア 内の観光客 数	330,000人/ 年(H31)	240,000 人	190,400 人	8,986	0	8,986	<ul style="list-style-type: none"> ■雪まつりと酒蔵の連動イベント等 ・「かまくら」に合わせシャトルバス運行を実施。 ・酒蔵めぐりツアーと題し日帰り増田の町並みも 楽しめる旅行商品を地元旅行会社と造成し催行 (2/15.16)した。 ・仙台からの誘客を目的に3/4.5に1泊2日の旅 行商品を造成し、増田を中心に山内にも立寄る 旅行商品を地元旅行会社とともに催行した。 ■ゲームアプリ等連動誘客イベント ・スマホアプリ「ingress」のイベントを実施した。 ■観光満足度調査 ・施策を検討するために満足度調査を行った。 ■JALとの旅行商品造成及びPR ・同社HP等でのPRによる誘客事業を展開した。 ■増田エリア広告宣伝 ・秋田空港内に増田地域を中心としたPR用プ ースを設置した。 ■JR東日本「大人の休日倶楽部」との連携 ・増田への二次交通強化のため、12月補正予算 により臨時バスと乗合ジャンボタクシーを運行させ た。 	<ul style="list-style-type: none"> ■雪まつりと酒蔵の連動イベント等 ・「かまくら」の期間に運行したシャトルバスに関しては、増田エリアで のおもてなしの取り組みを進めることで利用者数も増加し、「かまくら」目 当てのお客様にも増田を知っていただく機会が増えたものと考えている。 (延べ127名利用) ・酒蔵巡りバスツアーは、キャンセル待ちが出るほどの人気ぶりだっ た。(定員80人/参加者77名) ・仙台からのツアーは地元酒蔵や酒販の皆さんのご協力を得て催行 プログラム内に新潟まつりを組み込むなど、普通の旅行商品にはない 趣向を凝らせることができた。 (立寄り場所での土産品も好評であり、来年以降のツアー実施要望 の声もいただいている。)(定員40人/参加者40人) ■ゲームアプリ等連動誘客イベント ・スマホアプリ「ingress」のイベントを行ったことで、確実にこれまで増田 に来ていなかった客層に、増田エリアをPRすることができた。(公式イベ ント1回・独自イベント2回実施) ■観光満足度調査 ・増田エリアを訪れたことのないモニターを募集し、新たな視点から魅 力発信、施策成果について検討できた。 ■JALとの旅行商品造成及びPR ・同社のホームページや機内誌等での効果的な宣伝活動が可能とな り、誘客の効果があった。 ■増田エリア広告宣伝 ・旅客の玄関にブース・パンフレットを設置することにより、増田に対 するイメージアップを行え、マスコミにも取り上げられ効果があった。 ■JR東日本「大人の休日倶楽部」との連携 ・利用者が想定よりも少なく、キャンペーン効果が即時現れたものでは なかったが、今後の誘客効果に期待できる。(臨時バス:30日運行・延 べ251人、乗合タクシー:30日運行・延べ77人) 	<ul style="list-style-type: none"> ■雪まつり「かまくら」の期間運行したシャトルバス は、さらなる利用者の増加を図る取組を進めた い。(運動したイベントを増田で実施するなど調整 が必要と考える。) ■酒蔵巡りバス及び仙台からのツアーが好評だ ったことから、関係者と改善点等を検証し、次年度 以降もブラッシュアップし実施したい。 ■JALと連携することで、ホームページや機内誌 等での宣伝活動が可能となることから、さらなる 誘客を目指し継続することとした。 ■「ingress」へのイベント支援及び秋田空港を 活用したPR事業については一定の効果があったと 認識しているが、上記継続事業へ経営資源を注 力するため実施を見直しする。今後のニーズ等 を見極めたい。 ■観光満足度調査は、次回の調査時には増田 地域に特化することなく実施したい。 ■二次交通強化に向け、関係機関との調整を行 い、増田へのアクセス向上に向け検討を実施し たい。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録 / 取 目 録	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度						取組み状況	成果	今後の方向性
							指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳					
										特定財源 (千円)	一般財源 (千円)				
40	1 / ②	7.1.3 観光誘客 推進事業	国際的産学 官連携モデル 事業 【H26⇒27 繰越】	・訪日観光需要 が伸びている台 湾をターゲットに 、大同大学(台湾) と市内企業連携 による情報発信 のための中国語 サイトの運営や ホームステイ・イ ンターンシップ等 の活用を通じ、市 内への誘客を促 進する。	台湾から秋 田県内への 観光客数の 10%が横手 市を訪れる こと	2,500人/年 (H27～31)	1,500 人/年	2,344 人/年	8,113	0	8,113	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な活動内容 ・企業研修(1か月間、横手市役所観光おもてなし課1名、(株)デジタルウルトメア2名、ゆうゆうプラザ1名、Hostel&Bar CAMOSIBA1名) ・台湾観光PR (大同大学学祭、出前かまくらin台湾) ・デザインワークショップin十文字 (大同大学・AIU・秋田公立美術大学・十文字和紙関係) ・大学生によるSNS情報発信 ・横手市に関する出前授業(大同大学生向け) 	<ul style="list-style-type: none"> ■中国語サイトの運営状況(過去1年間) ・すべてのアクセス数 3,515 ・うち台湾からのアクセス数 2,112(60.01%) ・サイト訪問者が見る平均ページ数 2.14 ・うち直帰率(1ページ見て戻る割合) 68.48% ■デザインワークショップによるお土産品作成 ・横手の伝統工芸「十文字和紙」を活用し、台湾人・留学生・日本の学生等の様々なアイデアを融合したお土産品を作成(9種類)。コンセプトや価格を踏まえ、今後の販売や技術・デザインの活用について検討することとした。 ■県内企業の海外研修の実施 ・大同大学生の企業研修後、秋田県商工会議所青年部連合会および横手商工会議所青年部による海外研修を実施。大同大学生に通訳・コーディネートを依頼し、台湾観光コースの視察や、企業訪問などを行なった。横手の企業研修を皮切りに、効果が県内企業へ波及しつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■台湾の大学からの職場体験が市内企業へ広まりつつあるため、より地域や企業との交流が深まるような事業展開を目標とする。(大学側としては、在学中に日本での企業研修をすることに意義を見出しており、今後も学生が日本・横手へ行く機会を増やしたいとの意向。) ■横手を訪れた学生が、将来観光のみならず、商工業やデザインなど多くの分野で活躍し、横手市の人や企業と連携することで市に経済効果を生み出す、という将来像を見据えた事業を展開していきたい。 ■今後も継続的に連携を図り、台湾からの誘客の効果があらわれるよう取組を展開していく。 	
41	1 / ②	7.1.3 観光誘客 推進事業	インバウンド 対応事業 【H28】 拡大 【R2～】	・秋田県との合同 による観光PR事 業 ・多言語による情 報発信 ・海外旅行者おも てなし講習会の 開催	台湾から秋 田県内への 観光客数の 10%が横手 市を訪れる こと	2,500人/年 (H27～31)	1,500 人/年	2,344 人/年	11,499	6,432	5,067	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な活動内容 ・秋田県と合同によるタイ向け観光PR事業 ・FITフェア(日本政府観光局主催) ・観光PRセミナー(秋田県主催) ・秋田県と合同による台湾トップセールス ・台湾チャーター便誘致に係る企業訪問及び政府関係者訪問【台北市・高雄市】 ・秋田県及び民間事業者と連携した韓国国際観光展への出展 ・横手市ガイドブック(繁体字)増刷による情報発信 ・観光客への配布や誘客プロモーションでの配布のため計1,500部増刷 ・台湾出前かまくらによるPR活動 ・日本政府観光局・東北観光推進機構・大同大学(台北)等と連携し実施 ・東北観光復興対策交付金を活用した横手市・湯沢市・東成瀬村連携による県南周遊コンテンツ開発事業 ・東北観光復興対策交付金を活用した横手市Wi-Fi環境整備事業 	<ul style="list-style-type: none"> ■タイ関係 ・秋田県公式プロモーション動画のロケ地に選定され、撮影。県公式youtube、SNSで横手の魅力を発信した。(動画再生数:約16,000回) ・タイ現地関係者による雪まつり期間の撮影を実施した。 ■台湾関係 ・来訪者及び宿泊者は増加傾向にあり、今後もPRを継続することが必要と捉えている。 ・昨年度実施した台湾での出前かまくら事業が好評であり、今年度は主催者側の経費負担による実施が決定した。 ■東北観光復興対策交付金を活用した事業 ・3市村が連携し、県南地域を周遊できる観光コンテンツ開発を行い、外国人旅行者の誘客を図る。 ・横手市単独事業として、観光エリアにおける無料公衆無線LANを整備し、外国人旅行者等の利便性及び満足度の向上を図る。 ■多言語パンフ作成関係 ・これまで多言語による海外向け情報発信を十分に行なっておらず、当市を訪れる観光客の配布のほか、秋田県などが実施する誘客プロモーションの規模・回数も増加していることから、継続的に情報発信を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■秋田県と連携し、海外からの誘客に向けPR事業を展開していく。 ■外国人旅行者の受入体制整備のため、多言語による情報発信とおもてなし講習会を継続する。 ■大同大学(台湾)との連携を強化し、台湾からの誘客を図る。 ■多言語によるパンフレット作成や情報掲載等を行ない、海外向けに有効なPRを展開していく。 ■東北観光復興対策交付金を活用し、近隣市町村と連携した事業の実施及びWi-Fi環境整備を継続する。 ■庁内関係課との連携により、インドネシアからの誘客事業を進めるとともに、受入体制を整備していく。 	
42	1 / ②	7.1.3 増田のま ちなみ振興 事業	増田エリア 観光誘客事 業 【H28】	・増田エリアの魅 力発信などにより 交流人口を増加 させる	増田エリア 内の観光客 数	330,000人/ 年(H31)	280,00 0人	240,80 0人	2,498	0	2,498	<ul style="list-style-type: none"> ■横手・増田冬期観光バスツアー(着地型)造成業務委託 ・冬期の増田地域を含む横手管内の観光資源を結びモニターバスツアーを実施し、それを参考とした冬期の旅行商品の造成を行う。 ■JALとの旅行商品造成及びPR ・同社ホームページで「秋田ふるさと応援割」を活用した観光情報のPRと誘客事業を展開した。 ■増田エリア広告宣伝 ・観光情報誌へ増田エリアの広告を掲載。 	<ul style="list-style-type: none"> ■横手・増田冬期観光バスツアー(着地型)造成業務委託 ・「秋田ふるさと応援割」実施期間内に同社ホームページで「秋田大将集」が掲載されたほか機内誌等で横手が紹介された事により、期限内に利用者が上限に達した。 ・今年度新たに行ったアンケート調査により、「秋田ふるさと応援割」が観光目的で活用されている事(80%)、また横手を訪れるきっかけとなっている事(80%)が分かり、誘客の効果が大きかった。 ■増田エリア広告宣伝 ・「ふるさと応援割」実施期間内に同社ホームページで「秋田ふるさと応援割」が掲載されたほか機内誌等で横手が紹介された事により、期限内に利用者が上限に達した。 ・今年度新たに行ったアンケート調査により、「秋田ふるさと応援割」が観光目的で活用されている事(80%)、また横手を訪れるきっかけとなっている事(80%)が分かり、誘客の効果が大きかった。 ■増田エリア広告宣伝 ・「ふるさと応援割」実施期間内に同社ホームページで「秋田ふるさと応援割」が掲載されたほか機内誌等で横手が紹介された事により、期限内に利用者が上限に達した。 ・今年度新たに行ったアンケート調査により、「秋田ふるさと応援割」が観光目的で活用されている事(80%)、また横手を訪れるきっかけとなっている事(80%)が分かり、誘客の効果が大きかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■横手・増田冬期観光バスツアー(着地型)造成業務委託 ・冬期観光バスツアー企画は旅行商品を造成し、旅行者等へ活用していただく事で一定の目的まで達成したものと判断できる。 ・再来年度にリニューアルオープンする増田まんが美術館と増田の町並みを結びつける観光事業へと移行していく必要がある。 ■JALとの旅行商品造成及びPR ・JALと連携することで、ホームページや機内誌等での宣伝活動が可能となることから、さらなる誘客を目指し継続することとした。 ・この事業を活用する県南の市町(大仙市、羽後町、加入予定)が増えてきていることから、今後は連携した取り組みが期待できる。 ■増田エリア広告宣伝 ・上記事業と連携した広告宣伝へと移行する必要がある。 	

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	手 目 録	基 本 事 業	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成30年度					取組み状況	成果	今後の方向性
									指標 目標値 (H30)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳				
												特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
40	1 / ②	7.1.3	観光誘客 推進事業	国際的産学 官連携モデ ル事業 【H26⇒27 繰越】	・訪日観光需要 が伸びている台 湾をターゲットに、 大同大学(台湾) と市内企業連携 による情報発信 のための中国語 サイトの運営や ホームステイ・イ ンターナシッパ 等の活用を通じ、市 内への誘客を促 進する。	台湾から秋 田県内への 観光客数の 10%が横手 市を訪れる こと	2,500人/年 (H27～31)	2,000 人	3,441 人	6,641	0	6,641	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・企業研修(台湾大同大學生10名が横手市内企業10社で1か月間の職場体験の実施。) ・横手市に関する出前授業(大同大學生向け) ・県内大学と台湾大同大学の連携に関する調整。 ・中国語(繁体字)サイトによる情報発信。市内企業での職場体験の実施に合わせて、SNS(FB)による情報発信を実施した。台湾人目線による横手市の情報を、職場体験の滞在期間中に毎日更新し、発信を継続した。 ・台湾旅行エージェン特への訪問。台湾トップセールス時、台湾旅行AGT訪問の際にガイドブックを活用し観光PRを実施した。旅行関係者との意見交換会において、ガイドブックを配布しプレゼンを実施した。(秋田県との合同事業)(大同大学学校祭) 	<ul style="list-style-type: none"> ■中国語サイトの運営状況(過去1年間) <ul style="list-style-type: none"> ・すべてのアクセス数 3,259 ・うち台湾からのアクセス数 1,860(57.07%) ・サイト訪問者が見る平均ページ数 1.77 ・うち直帰率(1ページ見て戻る割合) 75.51% ■県内企業の海外研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・大同大學生の企業研修後、秋田県商工会議所青年部連合会および横手商工会議所青年部による海外研修を実施。大同大學生に通訳・コーディネーターを依頼し、台湾観光コースの視察や、企業訪問などを行った。横手の企業研修を皮切りに、県内企業へ効果が波及しつつある。 ■8月3～4日にイタリア・ヴェネツィアの「カ・フォスカリ」大学で開催された2018年日本語教育国際研究大会にて、「横手市×大同大学×デジタル・ウルト・メア国際的産学官連携プロジェクト」を大同大學生陳先生が発表。広く世界に情報発信していた。 ■横手高校がSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の認定を受けたことにより、大同大学と交流事業を実施。地元高校生の教育に当事業が関与することが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ■昨年度と同様に、台湾の大学からの職場体験が市内企業へ広まりつつあるため、より地域や企業との交流が深まるような事業展開を目標とする。(大学側としては、在学中に日本での企業研修をすることに意義を見出しており、今後も学生が日本・横手へ行く機会を増やしたいとの意向。) ■今後も継続的に連携を図り、台湾からの誘客の効果があらわれるよう取組を展開していく。 ■総務省関連の補助金を活用して、台湾との関係人口を創出・拡大する事業。今まで産学官事業で取引してきた大同大學生生方や学生・卒業を起点に、台湾国内で横手市を応援するネットワークを構築する事業。(R1単年度事業(経営企画課)) 	
41	1 / ②	7.1.3	観光誘客 推進事業	インバウンド 対応事業 【H28】 拡大 【R2～】	・秋田県との合同 による観光PR事 業 ・多言語による情 報発信 ・海外旅行者おも てなし講習会の 開催	台湾から秋 田県内への 観光客数の 10%が横手 市を訪れる こと	2,500人/年 (H27～31)	2,000 人/年	3,441 人/年	6,477	3,018	3,459	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・秋田県と合同による台湾トップセールス ・台湾チャーター便誘致に係る企業訪問及び台湾現地商談会視察、政府関係者懇談会出席【台北市】 ・台湾大同大学表敬訪問 ・秋田県と合同による中国大連トップセールス ・タイ観光事業者、情報発信事業者訪問 ・明海大学との連携協定締結 ・横手市ガイドブック(英語・繁体字)設置・送付による情報発信(県庁、空港、日本東北遊楽日イベント(台湾)等) ・雪まつり時の外国人受け入れ態勢整備(おもてなしセミナー実施、多言語リーフレット作成、多言語案内看板作成、横手市Wi-Fi環境運用業務) ・東北観光復興対策交付金を活用した横手市・湯沢市・東成瀬村連携による秋田県南地域プロモーション事業 	<ul style="list-style-type: none"> ■台湾関係 <ul style="list-style-type: none"> ・秋田県・他市町村とのトップセールスにより、H31年度からの定期チャーター便の運行が決定した。 ■タイ関係 <ul style="list-style-type: none"> ・タイから日本への観光客の動向や傾向を把握し、翌年度以降の誘客施策に反映した(タイ向け誘客コンテンツの再考)。H31年度から実施するタイ語facebookによる情報発信事業の体制を整備した。 ■雪まつり外国人観光客受け入れ態勢整備 <ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者や雪まつり出務職員に、英語、中国語による簡単な会話や道案内ができるように講習会を実施した。多言語リーフレットや案内板の設置により、外国人観光客が観光しやすい環境を整えた。 ■東北観光復興対策交付金を活用した事業 <ul style="list-style-type: none"> ・台湾・タイからインフルエンサーを招聘し、県南地域の周遊ツアーを実施し、情報発信及び提言をもらい、SNS記事閲覧数873,709となった。また、県南のモデルコースを5コース作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■秋田県と連携し、引き続き海外からの誘客に向けPR事業を展開していく。 ■雪まつり時等の外国人旅行者の受入態勢整備のため、引き続き多言語による情報発信とおもてなし講習会を継続する。 ■多言語によるパンフレット作成や情報掲載等を行い、海外向けに有効なPRを展開していく。 ■市施設や観光案内所における多言語表示など、受け入れ態勢整備を行う。 	
42	1 / ②	7.1.3	増田のま ちなみ振 興事業	増田エリア 観光誘客事 業 【H28】	・増田エリアの魅 力発信などにより 交流人口を増加 させる	増田エリア 内の観光客 数	330,000人/ 年(H31)	320,00 0人	246.84 5人	955	0	955	<ul style="list-style-type: none"> ■JALとの旅行商品造成及びPR <ul style="list-style-type: none"> ・当初の対象期間は5/14～11/30であったが、実績が伸びず上限に達しなかったため、3/17まで延長したものの、最終的に上限には達しなかった。 ・同社ホームページで「秋田ふるさと応援割」を活用した観光情報のPRと誘客事業を展開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■JALとの旅行商品造成及びPR <ul style="list-style-type: none"> ・当初の対象期間は5/14～11/30であったが、実績が伸びず上限に達しなかったため、3/17まで延長したものの、最終的に上限には達しなかった。 ・HPでは、増田を前面に打ち出した構成にしたこともあり、増田エリアの宿泊数が微増ではあるが伸びた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■JALとの旅行商品造成事業の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・H28～30の3年間の実績を踏まえ、宿泊数も大きく伸びておらず、また、増田エリアへの誘客数を正確に測れる事業内容でないことから見直しを図り、H31は旅行エージェン特的な招聘を行い、より誘客に実効性のある事業展開を行う。 	

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 項 目	実 施 計 画 事 業 名	中 事 業 名 (予 算 事 業 名) 【 哲 手 年 度 】	主 な 事 業 の 概 要	主 た る 指 標	指 標 目 標 値	令和元年度							
								指 標 目 標 値 (R 1)	指 標 実 績 値	決 算 額 (千 円)	特 定 財 源 (千 円)	一 般 財 源 (千 円)	取 組 み 状 況	成 果	今 後 の 方 向 性
40	1 / ②	7.1.3	観光誘客 推進事業	国際的産学 官連携モデ ル事業 【H26⇒27 繰越】	・訪日観光需要 が伸びている台 湾をターゲットに、 大同大学(台湾) と市内企業連携 による情報発信 のための中国語 サイトの運営や ホームステイ・イ ンターナシッ プ等の活用を通じ、市 内への誘客を促 進する。	台湾から秋 田県内への 観光客数の 10%が横手 市を訪れる こと	2,500人/年 (H27～31)	2,000 人	5,104 人/年	6,613	0	6,613	<p>■取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H31.4台湾大同大学長が来日し、県内大学長らと面会。今後の大学間連携について協議された。 ・H31.4デザインワークショップを開催し、大同大学・AIU・秋田公立美術大学の学生が参加した。 ・R1.7大同大生10名が、横手市内企業10社で1か月間の職場体験の実施した。また、SNS(FB)による情報発信を実施した。 ・台湾トップセールス時、台湾旅行AGT訪問の際にガイドブックを活用し、観光PRを実施した。旅行関係者との意見交換会において、ガイドブックを配布しプレゼンを実施した。(秋田県との合同事業) ・横手高校がSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の認定を受けたことにより、大同大学と交流事業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・横手市内の事業者が大学を訪問し交流するなど、関係人口拡大へのネットワークの構築を図ることができた。 ・各種商談の成果として、増田まんが美術館に台湾からの団体旅行(バスツアー)を繋げることができた。 <p>・中国語サイトの運営状況 すべてのアクセス数 3,746 うち台湾からのアクセス数 2,154(57.50%) サイト訪問者が見る平均ページ数 1.62 ・秋田ふるさと村への台湾からの入込客の増加。 前年対比H30:3,441人→H31:5,104人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大同大学との連携協定の期間は5年間であり、今年度が最終年度になるが、今後も継続していく。今後の事業展開などを検討する必要があり、「関係人口創出・拡大事業」モデル事業を引き継ぎ、調整を図っていく。 ・ワークショップは、観光客誘致の観点から事業効果が弱い見直しする。また、職場体験については、情報発信が行えるうえ、受入企業の意識高揚や外国人観光客の受入態勢向上が見込まれることから継続していく。 ・中国語サイトのアクセス数が伸び悩んでいることから、「関係人口創出・拡大事業」モデル事業で実施しているHPリニューアルに対応していく。 ・台湾旅行エージェンツセールス、トップセールスは、今後も秋田県と合同で継続して実施していく。
41	1 / ②	7.1.3	観光誘客 推進事業	インバウンド 対応事業 【H28】 拡大 【R2～】	・秋田県との合同 による観光PR事 業 ・多言語による情 報発信 ・海外旅行者おも てなし講習会の 開催	台湾から秋 田県内への 観光客数の 10%が横手 市を訪れる こと	2,500人/年 (H27～31)	2,000 人/年	5,104 人/年	5,768	1,484	4,284	<p>■取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾旅行エージェンツ商談会に参加した。 ・秋田県と合同による台湾トップセールスに参加した(台湾旅行エージェンツ訪問、秋田県観光交流懇談会出席)。 ・台湾大同大学へ表敬訪問した。 ・タイでの日本東北観光フェアへの出展(タイ一般向け観光PR)、情報発信事業者へ訪問した。 ・タイ語facebookによる情報発信。 ・雪まつり時の外国人受け入れ環境整備(おもてなし講習会開催、多言語パンフレット作成、多言語案内看板作成、横手市Wi-Fi運用業務)。 ・県南3市村(横手市・湯沢市・東成瀬村)連携による秋田県南地域プロモーション事業(一部東北観光復興対策交付金活用)を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■台湾関係 <ul style="list-style-type: none"> ・商談会やトップセールスでは、増田まんが美術館とかまくらを中心にPRすることができた。来訪者及び宿泊者は、増加傾向にある。 ・タイにおけるweb発信の有効性、今後の誘客可能性を再確認できた。 ・タイ語facebookにおける月平均約23,000件の投稿閲覧。来訪者数は、微増傾向にある。 ■雪まつり外国人観光客受け入れ態勢整備 <ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者や雪まつり出務職員を対象に、外国語やおもてなし力向上のための講習会を開催したほか、多言語パンフレットや案内板の設置により外国人観光客が観光しやすい環境整備に努めたことにより、満足度の向上を図ることができた。 ■県南3市村連携によるプロモーション事業 <ul style="list-style-type: none"> ・予約制乗合タクシー(増田～小安峡間)を運行、及び予約システムの改修等を実施(タクシー10名利用)。 ・台湾人インフルエンサーを招聘してのモニターツアーの開催、PR動画素材の撮影、及びインフルエンサーによるSNSでの情報発信を実施。 ・多言語パンフレットを作成(計10,000部)。 	<ul style="list-style-type: none"> ■台湾関係 <ul style="list-style-type: none"> ・台湾からの観光客は増加傾向にあるが、引き続き県と連携しながらPRを継続していく必要がある。国際的産学官連携モデル事業にて培った台湾との関係を活かして、誘客施策を検討していく。 ■タイ関係 <ul style="list-style-type: none"> ・日本東北観光フェアへの出展により、誘客の可能性を実感できた。今後も引き続き、タイ語facebookによる情報発信事業等を活用して、周知方法などを検討していく。 ■誘客全般 <ul style="list-style-type: none"> ・増田地域を中心にした誘客促進への取組のほか、インバウンド受入環境整備(Wi-Fi、公衆トイレ洋式化、ガイドの人材育成など)を進めていく。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンドに係る今後の取組は不透明である。
42	1 / ②	7.1.3	増田のまち なみ振興 事業	増田エリア 観光誘客事 業 【H28】	・増田エリアの魅 力発信などにより 交流人口を増加 させる	増田エリア 内の観光客 数	330,000人/ 年(H31)	320,000 人	377,127	488	0	488	<p>■取り組み状況</p> <p>観光誘客推進事業の他事業と連携しながら、国内外からの誘客のため、各種商談会及び観光フェア、出前かまくら等でPR活動を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイ人向けFacebook運用業者を招聘。ランゲージデザインセンター(3人)10/20～23 ・大阪国際空港雪まつり(大阪府) 1/17～19 ・かまくら&なまはげ祭り(兵庫県加古川市・ニッケパークタウン) 1/25～26 	<ul style="list-style-type: none"> ■各種商談会及び観光フェア、出前かまくら等でPR活動を実施することにより認知度を高めることができた。 ■タイ人向けFacebook運用業者招聘 <ul style="list-style-type: none"> ・実際にオペレーションしているタイ人が、現地視察・体験したことで、横手を実感し、その画像等をFacebookで発信することによりフォロワーにPRすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■増田まんが美術館と増田の街並み(内蔵)の回遊を進めているが、客層によっては、関心の相違から一方の観光のみにとどまっている状況にある。増田エリア内は、徒歩での観光が可能であり、さらに飲食もでき、また歴史的風致の観点からも重要区域としての魅力をPRすることで、誘客はもとより、滞在時間の延長を図っていく ■商談会では、今後も秋田県や近隣市町村と連携を図りながら進めていく。また、インバウンド事業とも連携し、海外からの誘客に向けた商談を行っていく。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

着手年度	No.	基本目標	款項目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成27年度					取組み状況	成果
									指標 目標値 (H27)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳			
												特定財源 (千円)	一般財源 (千円)		
	43	1 / ②	7.1.3	増田のまちなみ振興事業	まちなみ振興事業	・重伝建地区増田の魅力を発信するPR活動を行う。これにより知名度アップや交流人口の増加、伝統的建造物の利活用促進など地域活性化につなげる。	増田エリア内の観光客数	330,000人/年(H31)							
▲	44	1 / ②	7.1.3	よこて観光地域づくり推進事業	地域DMO構築事業【H27⇒28繰越】	・横手市観光連盟、横手市コンベンション協会等市内の観光地域づくりに携わることのできる多様な関係者を巻き込み、地域DMOを立ち上げ、地域一体となった戦略性のある観光振興のための事業を実施させる。	よこて版DMOの設立と組織の継続	地域DMOが継続して運営されている状態(H32)							
△	45	1 / ②	10.4.3	文化財観光活用地域連携事業	文化財観光活用地域連携事業【H30】	・文化財を活用した広域連携事業(観光客誘客事業)を行うための協議会の立ち上げ、文化庁事業(日本遺産等)と連携を図りながら日本遺産認定を	団体(協議会)参加団体数	10団体(H32)							
★	46	1 / ②	2.1.7	移住定住促進事業	移住定住促進事業【H26以前】 拡大【H31】	・首都圏移住コンシェルジュの活動費 ・首都圏での移住相談会、セミナーへの参加	移住、またはUターン件数	13件/5年間(H27～31)	1件/年	3件/年	1,704	0	1,704	<ul style="list-style-type: none"> ■移住コンシェルジュ 首藤郷さん 90千円(情報提供、相談業務) 布施義男さん 370千円(情報発信、セミナー参加) ■移住相談会:セミナー参加 ・7/5 北東北3県合同移住セミナー 相談者7組 ・12/6 あきた暮らしセミナー&相談会 相談者6組 ・2/20 由利本荘市&横手市 移住まるごとミーティング 相談者1組 ■起業支援プログラム「ドチャベン」 ・7/7 オリエンテーション(東京) ・7/10 オリエンテーション(秋田大学) ・7/24 ローカルビジネススクール第1回横手会場7人 ・7/29 " 第2回 " 3人 ・8/7 " 第3回 " 5人 ・8/19 " 第4回 " 6人 ・9/19-21 現地プログラム 横手会場 17人 ・11/22 ビジネスプランコンテスト(東京) 横手市へ8組応募 	<ul style="list-style-type: none"> ■移住者 3組7名 ■相談者 来庁・電話・メール等 15件 相談会 14件 <p>横手市を会場とした企業支援プログラム「ドチャベン」を開催したことで、起業+移住という新たなムーブメントが巻き起こった。自身も秋田に移住、起業をしている首藤 郷さんのネットワークを生かし、地元農家、事業者を巻き込んだ取り組みに発展していく可能性がある。</p>

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H28)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
43	1 / ②	7.1.3	増田のまちなみ振興事業	まちなみ振興事業	・重伝建地区増田の魅力を発信するPR活動を行う。これにより知名度アップや交流人口の増加、伝統的建造物の利活用促進など地域活性化につなげる。	増田エリア内の観光客数	330,000人/年(H31)								
44	1 / ②	7.1.3	よこて観光地域づくり推進事業	地域DMO構築事業【H27⇒28繰越】	・横手市観光連盟、横手市コンベンション協会等市内の観光地域づくりに携わることのできる多様な関係者を巻き込み、地域DMOを立ち上げ、地域一体となった戦略性のある観光振興のための事業を実施させる。	よこて版DMOの設立と組織の継続	地域DMOが継続して運営されている状態(H32)	DMO 1組織	DMO 1組織	11,120	11,120	0	<p>■よこて版DMO設立発起人会を立ち上げ、横手市観光連盟と横手コンベンション協会が改組し一緒になった法人組織として、よこて版DMOの組織づくりを進めた。組織の骨格メンバーとなる横手市観光連盟と横手コンベンション協会の双方の理事ほか、各地域の観光協会の代表者とも協議を進めるため、12月に第1回発起人会を開催し、DMO組織づくりに着手した。</p> <p>■DMO組織後にスムーズに事業移行できるように、横手のブランド構築の一環で「横手のかまくら」を海外にてPR(台湾での出前かまくら)を実施したほか、「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりをイメージし「リノベーションによる観光地域づくり」の勉強会やDMOに関する講演会を開催するなど、組織づくりだけでなく、法人組織設立後を意識した事業を進めている。</p>	<p>■平成28年度内(平成29年3月)に一般社団法人横手市観光推進機構を設立した。</p> <p>■台湾での出前かまくらについては、約11万人の集客を得るなど、効果的にPRできた。次年度以降の雪まつり「かまくら」時の外国人観光客の増加状況を成果として見極めていく。</p>	<p>■法人設立後は、観光庁のDMO候補法人登録を目指し準備を進めており、平成29年度中に申請を行う予定である。</p> <p>■DMO組織後の事業計画の着実な推進 地域住民を巻き込んだ観光地域づくり、地域経済波及効果の創出、横手ブランド発信、観光情報の一元化とその発信等</p>
45	1 / ②	10.4.3	文化財観光活用地域連携事業	文化財観光活用地域連携事業【H30】	・文化財を活用した広域連携事業(観光客誘客事業)を行うための協議会の立ち上げ、文化庁事業(日本遺産等)と連携を図りながら日本遺産認定を	団体(協議会)参加団体数	10団体(H32)								
46	1 / ②	2.1.7	移住定住促進事業	移住定住促進事業【H26以前】 拡大【H31】	・首都圏移住コンシェルジュの活動費 ・首都圏での移住相談会、セミナーへの参加	移住、またはリターン件数	13件/5年間(H27～31)	3件/年	4件/年	1,846	0	1,846	<p>■移住コンシェルジュ 首藤郷さん 相談者 8名 各種情報発信等 布施義男さん 情報発信</p> <p>■移住相談会・セミナー参加 5/28 県主催秋田で農業ははじめませんか 相談者 5組 7/9 北東北3県合同移住セミナー 相談者 8組 1/15 JOIN移住・地域おこしフェア 相談者 3組 3/12 まるごと秋田参加予定</p>	<p>■移住コンシェルジュ首藤さんの協力により、移住者だけではなく、起業家へ注目が集まっている。</p> <p>■移住相談に来た方で起業希望の方を首藤さん、起業家発掘支援事業の委託先MAKOTOで支援して起業。</p> <p>■移住者 4組7名 ■相談者 来庁・電話・メール等 32件 相談会 16件</p>	<p>■移住コンシェルジュより移住希望者の希望に寄り添ったサポート体制構築とサポート実施。</p> <p>■県と協力した移住希望者発掘 県で実施する首都圏セミナーへの協力と継続支援</p> <p>■起業支援との連携 横手市へ起業家が集まり始めているので、更なる呼び込みを商工労働課と協力して実施する。</p>

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
43	1 / ②	7.1.3	増田のまちなみ振興事業	まちなみ振興事業	・重伝建地区増田の魅力を発信するPR活動を行う。これにより知名度アップや交流人口の増加、伝統的建造物の利活用促進など地域活性化につなげる。	増田エリア内の観光客数	330,000人/年(H31)								
44	1 / ②	7.1.3	よこて観光地域づくり推進事業	地域DMO構築事業【H27⇒28繰越】	・横手市観光連盟、横手市コンベンション協会等市内の観光地域づくりに携わることのできる多様な関係者を巻き込み、地域DMOを立ち上げ、地域一体となった戦略性のある観光振興のための事業を実施させる。	よこて版DMOの設立と組織の継続	地域DMOが継続して運営されている状態(H32)	—	—	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ■よこて版DMOの設立 <ul style="list-style-type: none"> ・H29.3に地域DMOとして「一般社団法人 横手市観光推進機構」が設立された。 ・幹事会と5つの専門部会が設置され、各専門部会長を中心に事業化に向け協議を進めている。 ・約200団体・個人の会員数があり、多様な関係者と合意形成を図り活動を展開していくため、新規会員の加入事業を進めている。 ・8/4付けで、観光庁が実施しているDMO候補登録法人として登録されている。 ・同機構と市の共催事業「かまくら前後週飲食店内交流施設(かまくらBar)」は、試験的ではあるが2月上旬から実施され249名の来場者があった。 ■庁内サポート体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・同機構との連絡調整機能(連携及び支援)を担う部局横断型の体制として、「よこて版DMOサポート連絡調整会議」を、6月末に設置した。 ・同組織には調整会議(課長級)及び担当会議(係長級)を設けており、横手市観光推進機構とともに「観光地域づくり」を進めることとしている。 ・9月下旬に第1回合同担当会議を開催し、市からの事業委託に関する事及び事業化に向けた施策立案と予算要求に関する協議を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■横手市観光推進機構の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・観光アドバイザーからのアドバイスを受けながら、各専門部会長が中心となり、事業化に向けた協議が継続している。 ・ホームページをリニューアル(スマートフォン対応ページを作成)することにより、情報発信力を強化する取組に着手している。 ・今後とも適切な保守管理を行いながら、ホームページの閲覧状況等を分析し、魅力ある情報サイトの構築を目指すこととしている。 ■庁内サポート体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・担当会議が中心となり、連携事業について検討を継続しており、同機構とともに調整を図っていくこととしている。 ・今後の連携やサポート体制に関する協議を進める予定であり、必要な支援策を講じながら、観光地域づくりを展開することとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■連携事業の企画立案 <ul style="list-style-type: none"> ・横手市への誘客を目指し、横手市観光推進機構と連携した各種施策の事業化に向けた協議を進める。 ・機構内の各専門部会長が中心となり来年度の事業が検討され、内容としてはイベント中心の企画立案という状況にあり、複数のイベントをきっかけに取組を展開することとしている。 ■庁内サポート体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・同機構に対する財政的支援や人的支援に関する検討を継続し、連携に向けた体制を強化していく。 ・市としては来年度の事業に関して、「よこて版DMOサポート連絡調整会議」を起点とし、同機構と連携を図りながら、地域の稼ぐ力を引き出すよう「観光地域づくり」を展開していく。
45	1 / ②	10.4.3	文化財観光活用地域連携事業	文化財観光活用地域連携事業【H30】	・文化財を活用した広域連携事業(観光客誘客事業)を行うための協議会の立ち上げ、文化庁事業(日本遺産等)と連携を図りながら日本遺産認定を	団体(協議会)参加団体数	10団体(H32)								
46	1 / ②	2.1.7	移住定住促進事業	移住定住促進事業【H26以前】 拡大【H31】	・首都圏移住コンシェルジュの活動費 ・首都圏での移住相談会、セミナーへの参加	移住、またはUターン件数	13件/5年間(H27～31)	3件/年	18世帯 41人	1,294	0	1,294	<ul style="list-style-type: none"> ■移住定住促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・9月16日開催「秋田県移住就業セミナー」(東京) ・10月22日開催「秋田くらし×仕事」(東京) ・11月25日開催「秋田美人な生き方を学ぶ会」(東京) ・11月25日～26日開催「まるごと日本」(東京) ・2月25日「秋田暮らし×仕事」(東京) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ターゲットを「出身者」と「活性化に結び付く人財」に絞って展開していく。 ■移住希望者にとっては人生の一大決断であるので、移住者数第一ではなく、「後悔のない選択をしていただく」ためのサービスを提供していくことが、移住施策と横手市の評価を高める。 ■移住というライフスタイルが全国的に定着してきた中では、体験ツアーなどの入口策から、相談業務の充実へとシフトしていくべきと考えられる。 ■首都圏での相談会は費用対効果について要検討。 	

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成30年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H30)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
43	1 / ②	7.1.3	増田のまちなみ振興事業	まちなみ振興事業	・重伝建地区増田の魅力を発信するPR活動を行う。これにより知名度アップや交流人口の増加、伝統的建造物の利活用促進など地域活性化につなげる。	増田エリア内の観光客数	330,000人/年(H31)	228,000	241,000	2,168	2,168	<ul style="list-style-type: none"> ■伝建協総会：研修会横手大会の開催に向け、実行委員会へ補助金を交付。 ■「伝統的建造物群保存地区 横手市増田」PR用パンフレットを増刷(3,000枚) ■増田の町並み誘導案内板1基の移設を実施。 ■公式PR用及び町並み変遷記録保存用写真の撮影。 ■県外在住者の地区関係者等への説明会実施。(11/18首都圏増田会総会) 	<ul style="list-style-type: none"> ■伝建協総会：研修会横手大会について成功裡に終了することができた。 ■増田の町並みのPRにより、知名度アップにつながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■平成30年度までの事業 ■平成31年度以降は、他事業の中で取り組みを継続していく。 	
44	1 / ②	7.1.3	よこて観光地域づくり推進事業	地域DMO構築事業【H27⇒28繰越】	・横手市観光連盟、横手市コンベンション協会等市内の観光地域づくりに携わることのできる多様な関係者を巻き込み、地域DMOを立ち上げ、地域一体となった戦略性のある観光振興のための事業を実施させる。	よこて版DMOの設立と組織の継続	地域DMOが継続して運営されている状態(H32)	-	-	3,830	0	3,830	<ul style="list-style-type: none"> ■取組み状況 ・「YOKOTE発祥FES」SLこまち号運行に合わせて、Y2ぶらさを会場に賑わいを創出。 ・「かまくらライド2019」先進自治体(男鹿市、上山市)視察、運営委員会開催。 ・「かまくらプロジェクト」横手駅西口で賑わいを創出。開催月日：2/15-16 来場者：250名 ■その他 ・横手市移住アドバイザー受託 ・山内社氏組合事務局受託 ・全国りんご大会秋田県大会おもてなし活動の一部受託 ・10/31体験型旅行商品の造成に向け、観光エキスパート事業に関する意見交換会を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ■横手市観光推進機構の状況 ・(一社)増田町観光協会が新規加入。計：200団体(正会員：178団体 賛助会員：32団体) ・観光アドバイザーからのアドバイスを受けながら、各専門部会長が中心となり、事業化に向けた協議を継続。 ・HPの再構築を図り、外国人旅行者に向けた外国語表記のページを作成するなど情報発信強化に取り組んだ。 ・「おもてなし講習(接客、外国人対応)」、観光エキスパート事業、旧ひゅうづラススペースの活用(JRと交渉し、2/15.16に会員である道の駅十文字が観光客向けに特産品の販売を行った)など市と連携して事業に取り組んだ。 ・雪まつり開催時のかまくらプロジェクトの実施により、横手駅西口に新たな誘客拠点を創出することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■連携事業の企画立案 ・横手市への誘客を目指し、横手市観光推進機構と連携した各種施策の事業化に向けた協議を進める。 ・機構内の各専門部会長が中心となり来年度の事業が検討され、複数のイベントをきっかけに取組を継続して展開する。特に、「2019かまくらライド」の開催を機に更なる組織体制の強化及び「観光地域づくり」の推進を図る。 ■庁内サポート体制の強化 ・同機構に対する財政的支援や人的支援に関する検討を継続し、連携に向けた体制を強化していく。 ・市としては、引き続き来年度の事業に関して、「よこて版DMOサポート連絡調整会議」を起点とし、同機構と連携を図りながら、地域の稼ぐ力を引き出すよう「観光地域づくり」を展開していく。
45	1 / ②	10.4.3	文化財観光活用地域連携事業	文化財観光活用地域連携事業【H30】	・文化財を活用した広域連携事業(観光客誘客事業)を行うための協議会の立ち上げ、文化庁事業(日本遺産等)と連携を図りながら日本遺産認定を	団体(協議会)参加団体数	10団体(H32)	3団体	-	83	83	<ul style="list-style-type: none"> ■文化財を活用した広域連携事業のための文化庁協議会を6月21日に行った。その後、協議内容について県文化財担当課や関係自治体への報告を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■関係課及び関係自治体との調整のなかで、これまでの広域連携事業をより充実させていくこととし、新たな組織を作り日本遺産をめざす方向性については見直しすることで確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■観光部門で行っている関係自治体との連携をより重要視しながら、観光コースや案内パンフなどに観光スポットとして文化財をより多く紹介していくよう積極的に働きかけていく。 	
46	1 / ②	2.1.7	移住定住促進事業	移住定住促進事業【H26以前】 拡大【H31】	・首都圏移住コンシェルジュの活動費 ・首都圏での移住相談会、セミナーへの参加	移住、またはUターン件数	13件/5年間(H27～31)	3件/年	6世帯9人	1,265	0	1,265	<ul style="list-style-type: none"> ■移住完了世帯数 6世帯 ■移住者 9人 ■首都圏での相談会をAターンフェアに絞り、商工労働課と合同で参加し就職・起業に関する相談と合わせて移住相談に対応する体制を取った。 ■移住相談会・セミナー 出展状況 ・7月29日開催「Aターンフェア」(東京) ・10月7日開催「なべっこ遠足 in 東京」(下記事業と重複記載) ・10月28日開催「Aターンフェア」(東京) ・2月10日開催「Aターンフェア」(東京) 	<ul style="list-style-type: none"> ■移住完了世帯数 6世帯 ■移住者 9人 ■首都圏での相談会をAターンフェアに絞り、商工労働課と合同で参加し就職・起業に関する相談と合わせて移住相談に対応する体制を取った。 ■就農希望の移住検診者に対し農林部と連携して対応にあたり、移住アドバイザーのアテンドによる市内案内等を経て移住実績につながった事例あり。 ・相談件数等を見るとH29年度と大きな変化はないものの移住者数実績に差が出ている。この原因は今のところ特定できていないが、今後も個々の状況に応じた相談対応を継続していくことが肝要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ターゲットを「出身者」と「活性化に結び付く人財」に絞って展開していく。 ■移住希望者にとっては人生の一大決断であるので、移住者数第一ではなく、「後悔のない選択をしていただく」ためのサービスを提供していくことが、移住施策と横手市の評価を高める。 ■移住というライフスタイルが全国的に定着してきた中では、体験ツアーなどの入口策から、相談業務の充実へとシフトしていくべきと考える。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	令和元年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (R1)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
43	1 / ②	7.1.3	増田のまちなみ振興事業	まちなみ振興事業	・重伝建地区増田の魅力を発信するPR活動を行う。これにより知名度アップや流入人口の増加、伝統的建造物の利活用促進など地域活性化につなげる。	増田エリア内の観光客数	330,000人/年(H31)								
44	1 / ②	7.1.3	よこて観光地域づくり推進事業	地域DMO構築事業【H27⇒28繰越】	・横手市観光連盟、横手市コンベンション協会等市内の観光地域づくりに携わることのできる多様な関係者を巻き込み、地域DMOを立ち上げ、地域一体となった戦略性のある観光振興のための事業を実施させる。	よこて版DMOの設立と組織の継続	地域DMOが継続して運営されている状態(H32)	—	—	3,005	0	3,005	<p>■取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2019横手駅東口まつり」駅東口の賑わい創出のため、実行委員会を設立し、イベントを初開催。開催月日7/7 来場者2300名 ・「かまくら・ライド2019」全国の自転車愛好家を対象とする大会を初開催。開催月日9/22 出場者317名 ・「2019YOKOTE発酵FES」秋田ふるさと村ドーム劇場を会場に賑わいを創出。開催月日11/23-24 来場者1,200名 ・「かまくらプロジェクト」駅東口に新たな観光客視点として「よこて駅前賑わい広場」を開設し、かまくらBARも実施しながら賑わいを創出。開催月日2/15-16 来場者2000名 ・フィルムコミッション事業ほか ■その他 <ul style="list-style-type: none"> ・横手市移住アドバイザー受託(継続) ・山内社氏組合事務局受託(継続) ・全国伝建総会・研修会横手市大会事業業務受託。 ・おもてなしセミナー受託 	<p>■横手市観光推進機構の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)増田町観光協会が新規加入。計:215団体(正会員:186団体 賛助会員:29団体) ・観光アドバイザーからのアドバイスを受けながら、各専門部会長が中心となり、事業化に向けた協議を継続中。 ・新規事業(イベント)を実施したことにより、新たな賑わいを創出することができ、また、観光振興にも繋げることができた。 ・「おもてなし講習(接客、外国人対応)」、観光エキスパート事業など連携して取り組むことにより、受け入れ態勢の強化に繋がっている。 	<p>■「かまくら・ライド2019」の開催を機に更なる組織体制の強化及び「観光地域づくり」の推進を図っていく。</p> <p>市としては、引き続き「よこて版DMOサポート連絡調整会議」を起点とし、同機構と連携を図りながら、地域の稼ぐ力を引き出すよう「観光地域づくり」を支援していく。</p> <p>また、地域の稼ぐ力を引き出す施策・仕組みを観光推進機構自らが提案できるよう支援していく。「YOKOTE発酵FES」については、発酵ツーリズムへ展開して誘客を図っていく。</p>
45	1 / ②	10.4.3	文化財観光活用地域連携事業	文化財観光活用地域連携事業【H30】	・文化財を活用した広域連携事業(観光客誘客事業)を行うための協議会の立ち上げ、文化庁事業(日本遺産等)と連携を図りながら日本遺産認定を	団体(協議会)参加団体数	10団体(H32)								
46	1 / ②	2.1.7	移住定住促進事業	移住定住促進事業【H26以前】 拡大【H31】	・首都圏移住コンシェルジュの活動費 ・首都圏での移住相談会、セミナーへの参加	移住、またはUターン件数	13件/5年間(H27～31)	3件/年	9世帯 17人	7,522	3,750	3,772	<p>■移住完了世帯数 9世帯</p> <p>■移住者 17人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aターンフェアin東京には引き続き商工労働課と合同で参加。就職・起業に関する相談と合わせて移住相談に対応。 ・新たに年末の帰省時期に県南の市町合同で「秋田県南Uターンフェア」を開催。 ・中学生のY8サミットでの提案をもとに、移住定住促進キャッチフレーズの募集を実施。応募総数150点。優秀作品は次年度のパンフレットに活用予定。 ・地方創生推進交付金を活用した移住支援金事業については、横手市が県内第1号の交付となった。 	<p>■ターゲットを「出身者」と「活性化に結び付く人財」に絞って展開していく。</p> <p>■移住希望者にとっては人生の一大決断であるので、移住者数第一ではなく、「後悔のない選択をしていただく」ためのサービスを提供していくことが、移住施策と横手市の評価を高める。</p> <p>■移住というライフスタイルが全国的に定着してきた中では、体験ツアーなどの入口策から、相談業務の充実へとシフトしていくべきと考える。</p>	

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

着手年度	No	基本目標	款項目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成27年度						取組み状況	成果
									指標 目標値 (H27)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳				
												特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
◆47		1 / ②	2.1.7	移住定住促進事業	よこてライフ体験事業 【H26⇒27繰越】	・移住体験ツアーの実施 ・地域組織、既住者及び行政との意見交換会を実施	移住、またはUターン件数	13件/5年間 (H27～31)	1件/年	3件/年	2,130	2,130	0	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な活動内容 ・第1回ツアー（県南NPOセンターに委託） 8/14～15 → 4組7名が参加 増田(狹半内)、山内(三又)で農業体験、移住者との意見交換会、地元住民と交流 ・第2回ツアー（「(株)こめたび」に委託） 1/30～31 → 9組 11人 酒蔵めぐりツアー実施 ・第3回ツアー実施（「(株)こめたび」に委託） 3/26～27 → 4組 5人が参加 ■事業費の主な内訳 移住体験ツアー事業委託 1,962千円 参加者交通費相当助成及び記念品 168千円 	<p>首都圏・県外居住者を対象としたツアーの開催(全3回(第1回は2カ所で開催))やツアーの企画や情報発信、地域住民による受け入れ態勢構築の過程を通じ、市の魅力発信や交流人口の拡大、本市への移住定住の意識づけ、地域コミュニティの活性化に寄与できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■移住、Uターンの件数 3件の移住者詳細 横手地域 平城町 1組(夫婦) 2名 平鹿地域 醍醐 1組(夫婦・子) 3名 横手地域 八幡 1組(夫婦) 2名 ■参加者アンケートから(回答世帯6世帯:複数回答) ツアー開催地域へ移住したい(4世帯) 地域のイメージが良かった(5世帯) 	
★48		1 / ②	2.1.7	移住促進空き家対策事業	移住促進空き家対策事業 【H26以前】	・市への移住希望者に対し、市の空きバンクに登録された物件等を紹介 ・県外在住者が市の空き家を購入し市への移住した場合、購入空き家のリフォームに要する費用の一部を助成	本事業により減少した空き家数(移住世帯数)	3住家(世帯)/毎年 (H28～31)	—	2住家(世帯)	2,342	0	2,342	<ul style="list-style-type: none"> ■利用相談 5件 ■移住関係事業担当部署との情報交換 ■リフォーム補助金利用 2件 1,836千円 ■雪国生活支援補助金利用 3件 506千円 	<ul style="list-style-type: none"> ■空き家解消数 2軒 ■移住世帯数 2世帯 ■移住人数 5人(新規4人、Uターン1人) 	
49		1 / ②	6.1.3	就農支援事業	移住就農者農業経営安定支援事業 【H31】	県外から移住して新たに農業を開始する者に対し、就農リスクを抱える営農開始時の立上げ経費等を支援することにより、移住就農者の確保・安定を図る。	新規就農者数	30人/毎年 (H27～31)								
50		1 / ②	2.1.8	地域づくり支援事業	地域運営組織形成支援事業 【H30】	・地域運営組織の形成に向けた、ワークショップ、先進地視察、研修等の実施に係る経費。	ワークショップの開催数	39								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H28)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
47	1 / ②	2.1.7	移住定住 促進事業	よこてライフ 体験事業 【H26⇒27 繰越】	・移住体験ツアー の実施 ・地域組織、既移 住者及び行政と の意見交換会を 実施	移住、また はUターン件 数	13件/5年間 (H27～31)	3件/年	4件/年	2,031	0	2,031	<p>■第1回ツアー（県南NPOセンター委託） 5/4～5 → 2組5名が参加 山内(南郷)で農業体験、地元住民と交 流</p> <p>■第2回ツアー（「(株)こめたび」委託） 5/14～15 → 14組 15人 個人事業主を中心に募集を行い、市内若 手経営者をめぐり、横手で起業する題材さが しを行う。</p> <p>■第3回ツアー実施(県南NPOセンター委 託) 11/5～6 → 2組 2人が参加 山内(三又)で農業体験、地元住民と交流</p> <p>■第4回ツアー実施(3月予定(株)こめたび 委託)</p>	<p>■首都圏・県外居住者を対象としたツアーを 3回開催し、横手市の魅力の再発見と発 信、移住定住の促進を図った。 また、ツアーの企画や情報発信、地域住 民による受け入れ態勢構築の過程を通じ、 地域コミュニティの維持・向上や地域の活性 化に寄与できた。</p> <p>■移住、Uターンの件数 4件の移住者詳細 山内地域 1組(夫婦・娘) 3名 十文字地域1組(夫婦) 2名 平鹿地域 1組 1名 横手地域 1組 1名</p>	<p>■多様化する移住者ニーズに対応するため 新たな委託先を発掘</p>
48	1 / ②	2.1.7	移住促進 空き家対 策事業	移住促進空 家対策事 業 【H26以前】	・市への移住希 望者に対し、市の 空きバンクに登 録された物件等 を紹介 ・県外に在住者 が市の空き家を購入し市への移住した 場合、購入空き 家のリフォームに要 する費用の一部 を助成	本事業によ り減少した空 家数(移住 世帯数)	3住家(世帯) /毎年 (H28～31)	3住家 (世帯) /毎年	1世帯	525	0	525	<p>■利用相談 3件</p> <p>■移住関係事業担当部署との情報交換</p> <p>■東京都内での移住促進イベントや物産イベント にて事業紹介チラシを配布</p> <p>■首都圏ふるさと会場で事業紹介チラシを配 布</p> <p>■よこてFun通信発送時に事業紹介チラシを同 封</p> <p>■市内不動産業者(宅建業協会横手地区協議 会会員事業所)へ、事業紹介チラシを送付 リフォーム事業補助金利用 1件</p>	<p>■空き家解消数 1軒</p> <p>■移住世帯数 1世帯</p> <p>■移住人数 3人(新規 2人、Uターン 1人)</p>	<p>■空き家対策担当部署から移住定住促進担 当部署へ所管替し、移住希望者へアピール するためのツールとして効果的な活用を図 る。</p> <p>■移住希望者のニーズに合わせ、補助対象 要件や金額等の見直しを検討する。</p>
49	1 / ②	6.1.3	就農支援 事業	移住就農者 農業経営安 定支援事業 【H31】	県外から移住して 新たに農業を開始 する者に対し、 就農リスクを抱え る営農開始時の 立上げ経費等を 支援することによ り、移住就農者の 確保・安定を図 る。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)								
50	1 / ②	2.1.8	地域づくり 支援事業	地域運営組 織形成支援 事業 【H30】	・地域運営組織 の形成に向けた、 ワークショップ、先 進地視察、研修 等の実施に係る 経費。	ワークショッ プの開催数	39								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
47	1 /	2.1.7	移住定住 促進事業	よこてライフ 体験事業 【H26⇒27 繰越】	・移住体験ツアー の実施 ・地域組織、既移 住者及び行政と の意見交換会を 実施	移住、また はUターン件 数	13件/5年間 (H27～31)	3件/年	18世帯 41人	1,496	0	1,496	<p>■8/11日-12農業の担い手確保をテーマとした「ホップの郷づくり交流ツアー」を開催。県外から9名、市内のホスト交流役として30名が参加し、ホップや野菜の収穫体験、地元ホスト役との交流等を行った。結果、市内ホスト役の方から2名がホップの担い手になりたいと希望があり、秋から農林部と連携し研修に入っており、定住対策につながっている。</p> <p>■11/25首都圏でふるさとを体感するプログラムとして「横手応援市民学校 なべっこ遠足 inTokyo」を開催。出身者・関係者をターゲットとした施策として、首都圏在住の20代～70代約90名が参加し、「市外から故郷への応援」をテーマとして交流を行った。参加者からはUターンを初め様々な故郷への応援の形が提案され、移住はもとより様々な面での出身者の力の活用の可能性を感じるものとなった。</p>	<p>■移住完了世帯数 18世帯</p> <p>■移住者 41人</p> <p>※H29年度移住者数(県移住定住推進支援機構調)は県内市町村中第2位であり、5年間の目標値13件を1年でクリアした。</p> <p>※事業開始後の地道な活動とAターン登録の積極的なPRが功を奏しているものと考えられる。</p>	<p>■ターゲットを「出身者」と「活性化に結び付く人財」に絞って展開していく。</p> <p>■移住希望者にとっては人生の一大決断であるので、移住者数第一ではなく、「後悔のない選択をしていただく」ためのサービスを提供していくことが、移住施策と横手市の評価を高める。</p> <p>■移住というライフスタイルが全国的に定着してきた中では、体験ツアーなどの入口策から、相談業務の充実へとシフトしていくべきと考ええる。</p>
48	1 /	2.1.7	移住促進 空き家対 策事業	移住促進空 き家対策事 業 【H26以前】	・市への移住希 望者に対し、市 の空きバンクに 登録された物件 等を紹介 ・県外に在住者 が市の空き家 を購入し市へ の移住した場 合、購入空き 家のリフォーム に要する費用 の一部を助成	本事業によ り減少した空 家数(移住 世帯数)	3住家(世帯) /毎年 (H28～31)	3	2世帯	2,000	0	2,000	<p>■補助事業制度の周知・告知 市内建設・リフォーム業者への告知、HPへの掲載、移住相談があった際の制度紹介</p>	<p>■補助制度利用実績 2件 2000千円</p> <p>■空き家解消 2棟</p> <p>■県外からの移住者 2世帯5名</p>	<p>■リフォーム補助は建築住宅課に「雪国リフォーム」、県平鹿振興局のリフォーム事業もあり、「空き家」「三世代」とともに利用者にとっては非常に手間もかかりわかっていくなっている。</p> <p>■リフォームというくくりで窓口一本化の議論を進めるべき。</p>
49	1 /	6.1.3	就農支援 事業	移住就農者 農業経営安 定支援事業 【H31】	県外から移住して 新たに農業を 開始する者 に対し、就 農リスクを抱 える営農開始 時の立上げ経 費等を支援 することによ り、移住就農 者の確保・安 定を図る。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)								
50	1 /	2.1.8	地域づくり 支援事業	地域運営組 織形成支援 事業 【H30】	・地域運営組織 の形成に向けた ワークショップ 、先進地視察 、研修等の 実施に係る 経費。	ワークショップ の開催数	39								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段 目 取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成30年度					取組み状況	成果	今後の方向性
							指標 目標値 (H30)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳				
										特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
47	1 / ②	2.1.7 移住定住 促進事業	よこてライフ 体験事業 【H26⇒27 繰越】	・移住体験ツアー の実施 ・地域組織、既移 住者及び行政と の意見交換会を 実施	移住、また はUターン件 数	13件/5年間 (H27～31)	3件/年	6世帯9 人	3,053	1,790	1,263	<p>■H31/3/2(土)～3/3(日)の日程で移住ライフ体験ツアーを実施、県外から8名が参加した。(一社)横手市観光推進機構への委託により実施し、農作業体験やまちなみ見学、観光、ショッピングなど様々な横手ライフを体験していただいた。</p> <p>■H30/10/7(日)、首都圏でふるさとを体感するプログラムとして「横手応援市民学校 なべっこ遠足 in 東京」を開催。H29に続いて2回目の開催となったが、前年度を大きく上回る105名の方々に参加いただき、お子様連れで家族参加の方から80代の方まで、幅広い年齢層に集まっていた。総務省委託の「関係人口創出事業モデル事業」の内容を盛り込み、「市外から横手市への応援」をテーマとして授業(講座)や意見交換を行った。参加者からは「応援宣言」として様々な意見やアイデアが出され、移住はもとより様々な面で市の力となり得る「関係人口」の可能性を感じるものとなった。</p>	<p>■移住完了世帯数 6世帯 ■移住者 9人</p> <p>・移住ライフ体験ツアー、なべっこ遠足in東京、どちらの参加者からも、アンケート結果として「横手市に住みたい気持ちが強くなった」「就職や雪対策、子育て等の面で支援や相談対応があればUターンの具体的な検討ができる」といった好意的・前向きな意見が多く聞かれた。</p>	<p>■ターゲットを「出身者」と「活性化に結び付く人財」に絞って展開していく。</p> <p>■移住希望者にとっては人生の一大決断であるので、移住者数第一ではなく、「後悔のない選択をしていただく」ためのサービスを提供していくことが、移住施策と横手市の評価を高める。</p> <p>■移住というライフスタイルが全国的に定着してきた中では、体験ツアーなどの入口策から、相談業務の充実へとシフトしていくべきと考える。</p>
48	1 / ②	2.1.7 移住促進 空き家対 策事業	移住促進空 家対策事 業 【H26以前】	・市への移住希 望者に対し、市 の空きバンクに 登録された物件 を紹介 ・県外在住者が 市の空家を購入 し市への移住し た場合、購入空 家のリフォーム に要する費用の 一部を助成	本事業によ り減少した空 家数(移住 世帯数)	3住家(世帯) /毎年 (H28～31)	3住家 (世帯) /年	2世帯	2,000	0	2,000	<p>■補助事業制度の周知・告知 市内建設・リフォーム業者への告知、HPへの掲載、移住相談があった際の制度紹介</p>	<p>■補助制度利用実績 2件 2000千円 ■空き家解消 2棟 ■県外からの移住者 2世帯4名</p>	<p>■県・市で各種リフォーム補助制度が実施されており、さらに県の「住宅リフォーム推進事業」ではH31年度から新たに「移住・定住世帯 空き家購入型」が設けられることとなったため、重複している状況にある。</p> <p>■利用者にとっては複数の事業があり分りにくくなっていると思われるため、窓口一本化等の議論を進めるべき。</p>
49	1 / ②	6.1.3 就農支援 事業	移住就農者 農業経営 安定支援 事業 【H31】	県外から移住して新たに農業を開始する者に対し、就農リスクを抱える営農開始時の立上げ経費等を支援することにより、移住就農者の確保・安定を図る。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)								
50	1 / ②	2.1.8 地域づくり 支援事業	地域運営組 織形成支援 事業 【H30】	・地域運営組織 の形成に向けた ワークショップ、 先進地視察、研 修等の実施に係 る経費。	ワークショ ップの開催 数	39	36	11	3,312	0	3,312	<p>■話し合いの場の創出(ワークショップ) ・金沢地区(全4回、のべ83名参加) ・福地地区(全4回、のべ64名参加) ・十文字西地区(全3回、のべ74名参加)</p> <p>■職員研修 ・地区担当職員研修(全5回、36名参加) 講師:NPO法人いわて地域づくり支援センター 若菜千穂氏 ・副主幹級及び管理職職員研修(3/22、23名参加) 講師:IIHOE 川北秀人氏 ■市民及び職員向けセミナー ・地域づくり人材セミナー(10/27、42名参加) 講師:IIHOE 川北秀人氏 ■活動実践者向け研修 ・よこての地域づくり自慢大会(3/24、44名参加) コーディネーター:NPO法人秋田県南NPOセンター 八嶋英樹氏 アドバイザー:株式会社Pサガ東北 太田陽之氏</p>	<p>■地域運営組織形成に向け、地域住民が地域の課題や資源について話し合う場としてワークショップを実施。</p> <p>■地域運営組織について理解を深めるための職員研修を実施。</p> <p>■地区交流センター、地区会議、生活支援協議体等の活動実践者向け研修等を実施。</p>	

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 取 目	取 目 目 録	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	令和元年度				取組み状況	成果	今後の方向性	
								指標 実績値 (R1)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)				一般財源 (千円)
47	1 / ②	2.1.7	移住定住 促進事業	よこてライフ 体験事業 【H26⇒27 繰越】	・移住体験ツアー の実施 ・地域組織、既移 住者及び行政との 意見交換会を実施	移住、また はUターン件 数	13件/5年間 (H27～31)	3件/年	9世帯 17人	1,764	0	1,764	<p>■移住完了世帯数 9世帯 ■移住者 17人</p> <p>・移住体験ツアーは前年度よりも早い時期に実施。首都圏から参加の3名に横手暮らしを体験いただくことができた。</p> <p>・就農希望の移住検討者に対しては農林部が主となって連携して対応。実際に移住につながったケースあり。</p> <p>・なべっこ遠足in東京には前年同数となる105名が参加。今年度も関係人口の授業を行い、それぞれから応援宣言をいただくなどした。移住はもとより様々な面で市の力となり得る「関係人口」の可能性を感じるものとなった。</p> <p>いぶりがっこ農家応援事業は2名の参加にとどまったが、積極的に作業に取り組む姿勢が見られ、関係人口と地域とのつながりが出来たものと思う。</p>	<p>■移住や定住の前段階、検討段階にある方々へ、横手暮らしの理解を深めてもらうための施策を引き続き実施していく。</p> <p>■応援人口(関係人口)の創出・拡大は、移住に限らず地域課題の解決につながるものとして今後も関係課と連携のうえで推進していく。</p>	
48	1 / ②	2.1.7	移住促進 空き家対 策事業	移住促進空 家対策事 業 【H26以前】	・市への移住希 望者に対し、市 の空きバンクに 登録された物件 等を紹介 ・県外在住者が 市の空家を購入 し市への移住し た場合、購入空 家のリフォーム に要する費用の 一部を助成	本事業によ り減少した空 家数(移住 世帯数)	3住家(世帯) /毎年 (H28～31)	3住家 (世帯) /年	1世帯	3,000	0	3,000	<p>■補助事業制度の周知・告知</p> <p>・市内建設・リフォーム業者への告知</p> <p>・HPへの掲載</p> <p>・移住相談があった際の制度紹介</p>	<p>■補助制度利用実績 1件 1,000千円</p> <p>■空き家解消 1棟</p> <p>■県外からの移住者 1世帯1名</p>	<p>■県・市で各種リフォーム補助制度が実施されており、さらに県の「住宅リフォーム推進事業」ではH31年度から新たに「移住・定住世帯 空き家購入型」が設けられることとなったため、重複している状況にある。</p> <p>■利用者にとっては複数の事業があり分かりにくくなっていると思われるため、窓口一本化等の議論を進めるべき。</p>
49	1 / ②	6.1.3	就農支援 事業	移住就農者 農業経営安 定支援事業 【H31】	県外から移住して 新たに農業を 開始する者 に対し、就農 リスクを抱える 営農開始時の 立上げ経費等を 支援すること により、移住 就農者の確 保・安定を図 る。	新規就農者 数	30人/毎年 (H27～31)	30人	43人	500	500	<p>■県外から移住し新たに農業経営を開始する者に対し営農開始時の立上げ経費等を助成</p>	<p>■移住就農者農業経営安定支援事業費補助金(1件)</p>	<p>■移住就農者の確保・安定を図るため、県外から移住して新たに農業を開始する者に対し、就農リスクを抱える営農開始時の立上げ経費等の支援を継続実施していく。</p>	
50	1 / ②	2.1.8	地域づくり 支援事業	地域運営組 織形成支 援事業 【H30】	・地域運営組織 の形成に向けた ワークショップ、 先進地視察、研 修等の実施に係 る経費。	ワークショ ップの開催 数	39	28	7	7,652	0	7,652	<p>■地域運営組織形成に向けた支援の実施</p> <p>・福地地区 中学生以上全住民アンケート(6～9月) ワークショップ(7/11、9/5)</p> <p>・十文字西地区 ワークショップ(7/11、9/5、10/16、11/19、12/12)</p> <p>・大雄地域 地域ヒアリング(5/28、7/1、7/10) 地区交流センター準備委員会(8/30)</p> <p>■職員研修の実施</p> <p>・地域局担当職員対象 「地域運営組織形成推進に係る職員研修」(4/22、8/19)</p> <p>・職員研修 「地域運営組織形成推進に係るファシリテーション研修」(5/10)</p>	<p>■地域運営組織形成に向けた支援の実施</p> <p>・浅舞北部 地区担当職員ヒアリング(1/30)</p> <p>・福地地区 中学生以上全住民アンケート(6～9月) アンケート報告会(1/12)</p> <p>・十文字西地区 ワークショップ(7/11、9/5、10/16、11/19、12/12)</p> <p>・大雄地域 地域ヒアリング(5/28、7/1、7/10) ワークショップ(11/13、12/19)</p> <p>地区交流センター準備委員会(8/30、2/18、3/24)</p> <p>■職員研修の実施</p> <p>・地域局担当職員対象 「地域運営組織形成推進に係る職員研修」(4/22、8/19、12/17、2/20)</p> <p>・職員研修 「地域運営組織形成推進に係るファシリテーション研修」(5/10、11/5)</p>	<p>■住民が主体的に地域を運営する意識の醸成が必要。支援対象地区を増やしなが、地域住民による地域運営の必要性を認識させるとともに、地域について話し合う機会の創出を引き続き行う。</p> <p>■地域住民の話し合いを促進させるためには、職員がファシリテーター役を担うことが非常に重要となることから、地域運営組織の必要性を理解したうえで、住民の主体性を引き出すために、職員はどうするべきかを学ぶ研修及びファシリテーション研修を引き続き行う。</p> <p>■地区交流センター事業において、地域の課題解決に取り組めるよう、まずは地域の現状を知ることにより、地域に必要な事業を協議、実施できるよう支援する。</p>

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

番 手 年 度	No	基 本 目 標	款 項 目	実 施 計 画 事 業 名	中 事 業 名 (予 算 事 業 名) 【 番 手 年 度 】	主 な 事 業 の 概 要	主 た る 指 標	指 標 自 標 値	平成27年度					取 組 み 状 況	成 果
									指 標 自 標 値 (H27)	指 標 実 績 値	決 算 額 (千 円)	特 定 財 源 (千 円)	一 般 財 源 (千 円)		
	51	1 / ②	2.1.8	地域づくり市民活動補助事業	地域づくり市民活動補助事業【H30】	・地域住民による自主的主体的なまちづくり活動の取組の促進を図り、豊かな地域社会を実現するために、地域課題の解決を図る活動に対する補助金。	地域づくり活動補助金交付件数	110							
	52	1 / ②	2.1.8	町内会活動補助事業	町内会活動補助事業【H30】	自治会、町内会、集落等が行う活動(環境保全、地域活性化、伝統文化継承、福祉、防災防犯、世代間交流)に対する補助金及びコミュニティ活動に必要な備品整備に要する経費に対する補助金。	町内会等活動補助金交付件数	385							
★	53	1 / ②	2.7.2	「みんなできささあ地域づくり」活動支援事業	「みんなできささあ地域づくり」活動支援事業【H26以前】	・地域における共助意識の向上と共助の組織づくりや市民協働による地域の活性化と特色ある地域づくりを推進するために、市内の自治会又は町内会、特定非営利活動法人、ボランティア団体等が横手市内で行う社会的活動に対し	共助組織数	17 (H31)	—	9	1,949	1,949		■補助金交付実績 10件 1,900,000円	
☆	54	1 / ②	2.7.4	山内南郷コミュニティセンター費	山内南郷コミュニティセンター整備事業(建設)【H28⇒H29繰越】	山内地域の南郷地域における、先駆的な市民の共助活動や相互扶助、自主防衛の取り組みの場を確保し、その活動をさらに推進させることを目的としたコ	自主防災活動参加率	51.4% (H31)							

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H28)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
51	1 / ②	2.1.8	地域づくり 市民活動 補助事業	地域づくり市 民活動補助 事業 【H30】	・地域住民による 自主的主体的な まちづくり活動の 取組の促進を図り、 豊かな地域社会を 実現するために、 地域課題の解決を 図る活動に対する 補助金。	地域づくり活 動補助金交 付件数	110								
52	1 / ②	2.1.8	町内会活 動補助事 業	町内会活 動補助事 業 【H30】	自治会、町内 会、集落等が行う 活動(環境保全、 地域活性化、伝 統文化継承、福 祉、防災防犯、 世代間交流)に 対する補助金及 びコミュニティ活 動に必要な備品 整備に要する経 費に対する補助 金。	町内会等活 動補助金交 付件数	385								
53	1 / ②	2.7.2	「みんな でささえあ う地域づく り」活動支 援事業	「みんな でささえあ う地域づく り」活動支 援事業 【H26以前】	・地域における 共助意識の向上 と共助の組織づ くりや市民協働 による地域の活 性化と特色ある 地域づくりを推 進するために、 市内の自治会 又は町内会、 特定非営利活 動法人、ボラン ティア団体等が 横手市内で行 う社会的活動に 対	共助組織数	17 (H31)	10	10	2,112	0	2,112	<p>■具体的な取り組み事例や補助対象経費を例示した、わかりやすいパンフレットを作成</p> <p>■地域局と連携し、各団体へ補助金制度や共助の仕組みづくりについて説明 ・補助金の交付実績 団体数：12団体</p>	<p>■新たに1共助組織が設立され、合わせて10組織により共助の取り組みが実践され、地域における共助意識が着実に広がってきている</p> <p>■12団体へ補助金を交付し、活動を継続するための支援につながった</p>	<p>■「元気の出る地域づくり事業」及び「地区会議ソフト事業」の見直しにあわせ、制度の充実を図る。</p>
54	1 / ②	2.7.4	山内南郷 コミュニテ ィセンター 整備事業 (建設) 【H28⇒H 29繰越】	山内南郷コ ミュニティ ィセンター 整備事業 (建設) 【H28⇒H 29繰越】	地域における、 先駆的な市民の 共助活動や相互 扶助、自主防衛 の取り組みの場 を確保し、その 活動をさらに 推進させること を目的としたコ ミュニティセン ター	自主防災活 動参加率	51.4% (H31)								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 目 録	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
51	1 / ②	2.1.8	地域づくり 市民活動 補助事業	地域づくり市 民活動補助 事業 【H30】	・地域住民による 自主的主体的な まちづくり活動の 取組の促進を図り、 豊かな地域社会を 実現するために、 地域課題の解決を 図る活動に対する 補助金。	地域づくり活 動補助金交 付件数	110								
52	1 / ②	2.1.8	町内会活 動補助事 業	町内会活 動補助事 業 【H30】	自治会、町内 会、集落等が行う 活動(環境保全、 地域活性化、伝 統文化継承、福 祉、防災防犯、 世代間交流)に 対する補助金及 びコミュニティ活 動に必要な備品 整備に要する経 費に対する補助 金。	町内会等活 動補助金交 付件数	385								
53	1 / ②	2.7.2	「みんな でささえあ う地域づく り」活動支 援事業	「みんな でささえあ う地域づく り」活動支 援事業 【H26以前】	・地域における 共助意識の向上 と共助の組織づ くりや市民協働 による地域の活 性化と特色ある 地域づくりを推 進するために、 市内の自治会 又は町内会、特 定非営利活動法 人、ボランティア 団体等が横手市 内で行う社会的 活動に対し、山 内地域の南郷地 域における、先 駆的な市民の共 助活動や相互扶 助、自主防衛の 取組の場を確保 し、その活動を さらに推進させ ることを目的と したコミュニテ ィセンター	共助組織数	17 (H31)	15	8	1,960	0	1,960	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な取組み事例や補助対象経費を例示した、わかりやすいパンフレットを作成 ■地域局と連携し、各団体へ補助金制度や共助の仕組みづくりについて説明 ・補助金の交付実績 団体数：8団体 	<ul style="list-style-type: none"> ■市内6地域、10組織により共助の取組みが実践され、地域における共助意識が着実に広がってきている ■8団体へ補助金を交付し、地域における共助意識の向上や、安定的・持続的な組織運営を目指した活動につながった 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域づくり関連事業の見直しに合わせ、制度の充実を図る。
54	1 / ②	2.7.4	山内南郷 コミュニテ ィセンタ ー費	山内南郷コ ミュニティ センター整 備事業(建 設) 【H28⇒H 29繰越】	山内地域の南郷 地域における、 先駆的な市民の 共助活動や相互 扶助、自主防衛 の取組の場を確 保し、その活動 をさらに推進せ ることを目的と したコミュニテ ィセンター	自主防災活 動参加率	51.4% (H31)	住民参 加率 0.3%	—	56,713	54,542	2,171	<ul style="list-style-type: none"> ■H29.8に旧山内学習交流センター解体 ■H29.10仮称「山内南郷コミュニティーセンター」建設開始 	<ul style="list-style-type: none"> ■現在建築を進めている仮称山内南郷コミュニティーセンターH30.3.16に完成。 山内南郷地域における、先駆的な市民の共助活動や相互扶助、自主防衛の取組の場を確保することができ、今後の自主防災組織活動の取組み強化推進につなげることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■H30年度より施設供用開始し、自主防災組織活動の取組についてより一層の強化推進を図る。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成30年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H30)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
51	1 / ②	2.1.8	地域づくり 市民活動 補助事業	地域づくり市 民活動補助 事業 【H30】	・地域住民による 自主的・主体的な まちづくり活動の 取組の促進を図り、 豊かな地域社会を 実現するために、 地域課題の解決を 図る活動に対する 補助金。	地域づくり活 動補助金交 付件数	110	100	113	28,316	0	28,316	<p>■地域住民による自主的・主体的なまちづくり活動や地域課題活動に対し、地域づくり活動補助金を交付した。</p>	<p>■地域づくり活動補助金 交付件数 110件 交付額 28,315,910円</p> <p>[内訳]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主運営組織・地区会議事業 50件、8,872,910円 ・非営利団体 地域課題解決型事業 9件、1,666,000円 ・非営利団体 イベント型事業 5件、1,563,000円 ・旧元気の出る地域づくり事業 46件、16,214,000円 	<p>■地域住民による自主的・主体的なまちづくり活動や地域課題活動に対し、地域づくり活動補助金を交付。</p>
52	1 / ②	2.1.8	町内会活 動補助事 業	町内会活 動補助事 業 【H30】	自治会、町内 会、集落等が行う 活動(環境保全、 地域活性化、伝 統文化継承、福 祉、防災防犯、 世代間交流)に 対する補助金及 びコミュニティ活 動に必要な備品 整備に要する経 費に対する補助 金。	町内会等活 動補助金交 付件数	385	350	103	6,498	0	6,498	<p>■自治会、町内会、集落等が行う活動(環境保全、地域活性化、伝統文化継承、福祉、防災防犯、世代間交流)に対して、町内会等活動補助金を交付した。</p> <p>■コミュニティ活動に必要な備品整備に要する経費に対し、町内会等備品整備補助金を交付した。</p>	<p>■町内会等活動補助金 交付件数 79件、交付額 3,623,040円</p> <p>[内訳]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横手 17件、808,140円 ・増田 15件、777,100円 ・平鹿 15件、501,500円 ・雄物川 2件、81,300円 ・大森 7件、350,600円 ・十文字 9件、555,700円 ・山内 5件、269,500円 ・大雄 9件、279,200円 <p>■町内会等整備費補助金 交付件数 24件、交付額 2,874,000円</p>	<p>■自治会、町内会、集落等が行う活動(環境保全、地域活性化、伝統文化継承、福祉、防災防犯、世代間交流)に対して、町内会等活動補助金を交付。</p> <p>■コミュニティ活動に必要な備品整備に要する経費に対し、町内会等備品整備補助金を交付。</p>
53	1 / ②	2.7.2	「みんな でささえ あう地 域づく り」活 動支援 事業	「みんな でささえ あう地 域づく り」活 動支援 事業 【H26以 前】	・地域にお ける共助 意識の向 上と共助 の組織づ くりや市 民協働に よる地域 の活性化 と特色あ る地域づ くりを推 進するた めに、市 内の自治 会又は町 内会、特 定非営利 活動法人 、ボラン ティア団 体等が横 手市内で 行う社会 的活動に 対し、山 内地域の 南郷地区 における 先駆的な 市民の共 助活動や 相互扶助 、自主防 衛の取組 みの場を 確保し、 その活動 をさらに 推進させ ることを 目的とし たコミュ ニティセ ンター	共助組織数	17 (H31)								
54	1 / ②	2.7.4	山内南郷 コミュニ ティセ ンター 整備事 業(建設)【H28 ⇒H29 繰越】	山内南郷コ ミュニティ センター整 備事業(建 設)【H28 ⇒H29繰 越】	山内南郷地 域における 先駆的な 市民の共 助活動や 相互扶助 、自主防 衛の取組 みの場を 確保し、 その活動 をさらに 推進させ ることを 目的とし たコミュ ニティセ ンター	自主防災活 動参加率	51.4% (H31)								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手続 目録	取項目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	令和元年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (R1)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
51	1 / ②	2.1.8	地域づくり 市民活動 補助事業	地域づくり市 民活動補助 事業 【H30】	・地域住民による 自主的・主体的な まちづくり活動の 取組の促進を図り、 豊かな地域社会を 実現するために、地 域課題の解決を図 る活動に対する補 助金。	地域づくり活 動補助金交 付件数	110	110	114	52,500	0	52,500	<p>■地域住民による自主的・主体的なまちづくり活動や地域課題活動に対し、地域づくり活動補助金を交付した。</p>	<p>■地域づくり活動補助金 交付決定件数 114件 交付決定額 27,147,811円 ・自主運営組織・地区会議事業 55件 9,304,834円 ・非営利団体 地域課題解決型事業 10件 1,527,000円 ・非営利団体 イベント型事業 10件 1,478,000円 ・旧元気の出る地域づくり事業 39件 14,837,977円</p>	<p>■全体的に、地域課題解決型事業よりもイベント型事業が多い傾向となっている。特に、地区交流センター、地区会議が実施主体となる事業については、自主的な地域の課題解決を推進するための「地域運営組織形成支援事業」と連携させ支援していく。</p>
52	1 / ②	2.1.8	町内会活 動補助事 業	町内会活動 補助事業 【H30】	自治会、町内 会、集落等が行う 活動(環境保全、 地域活性化、伝 統文化継承、福 祉、防災防犯、 世代間交流)に 対する補助金及 びコミュニティ活 動に必要な備品 整備に要する経 費に対する補助 金。	町内会等活 動補助金交 付件数	385	350	121	17,000	0	17,000	<p>■自治会、町内会、集落等が行う活動(環境保全、地域活性化、伝統文化継承、福祉、防災防犯、世代間交流)に対して、町内会等活動補助金を交付した。</p> <p>■コミュニティ活動に必要な備品整備に要する経費に対し、町内会等備品整備補助金を交付した。</p>	<p>■町内会等活動補助金 交付件数 97件、交付決定額 4,022,532円 [内訳] ・横手 15件 641,500円 ・増田 21件 922,632円 ・平鹿 18件 580,500円 ・雄物川 7件 245,200円 ・大森 9件 413,700円 ・十文字 11件 569,100円 ・山内 7件 371,400円 ・大雄 9件 278,500円 ■町内会等備品整備補助金 交付件数 24件、交付額 3,348,000円</p>	<p>■補助金制度の周知や申請書作成の支援を行い、積極的な活用を促進し、住みよい地域を目指す町内会等の住民活動を一層支援していく。</p>
53	1 / ②	2.7.2	「みんなで ささえあ う地域づ くり」活 動支援事 業	「みんなでさ さえあう地 域づくり」活 動支援事業 【H26以前】	・地域における共 助意識の向上と 共助の組織づく りや市民協働に よる地域の活 性化と特色ある 地域づくりを推 進するために、 市内の自治会 又は町内会、 特定非営利活 動法人、ボラ ンティア団体 等が横手市内 で行う社会的 活動に対し	共助組織数	17 (H31)								
54	1 / ②	2.7.4	山内南郷 コミュニ ティセン ター費	山内南郷コ ミュニティ センター整 備事業(建 設)【H28 ⇒H29 繰越】	山内地域にお ける、先駆的 な市民の共 助活動や相互 扶助、自主防 衛の取組みの 場を確保し、 その活動をさ らに推進させ ることを目的 としたコミュ ニティセンタ ー	自主防災活 動参加率	51.4% (H31)								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

着手年度	No	基本目標	款項目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成27年度						取組み状況	成果
									指標 目標値 (H27)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳				
												特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
★	55	2 / ①	2.1.7	若者出会い・結婚生活応援事業	若者交流事業 【H26以前】	・「街コン」や「趣味コン」等を企画し、独身男女に出会いの機会を提供	年間婚姻届出数 (暦年)	372件/年 (H31)	368件/年	337件/年	1,428	0	1,428	<ul style="list-style-type: none"> ■補助金交付イベント ・「夏だ！ 出会いだ！ 大GOコンだ！ Vol.11」 主催：横手Dei隊(事務局商工会議所) 開催日：平成27年8月1日(土) 開催場所：テトラック横手 事業費 1,304,730円(内市補助金500,000円) ・「の～コン」 主催：JA秋田ふるさと青年部 開催日：平成27年9月5日(土)、平成28年2月21日(日) 開催場所：横手スキー場、横手セントラルホテル 事業費 526,487円(内市補助金350,000円) ■市委託事業 ・「横手まちコン」 主催：横手まちコン実行委員会 (事業の告知、募集、参加費決済を民間委託) 開催日：平成27年11月7日(土) 開催場所：駅前周辺飲食店 事業費：963,110円(内委託費等578,110円) 	<ul style="list-style-type: none"> ■補助金交付イベント ・「夏だ！ 出会いだ！ 大GOコンだ！ Vol.11」 参加人数 189名(男性107名、女性82名) カップリング数11組 ・「の～コン」 参加人数 52名(男性31名、女性21名) カップリング数4組 ■市委託事業 ・「横手まちコン」 参加人数 91名(男性49名、女性42名) カップリング数1組 合計 332名(男性187名、女性145名) ※カップリング数はアンケート回答者の内の数値。 	
★	56	2 / ①	2.1.7	若者出会い・結婚生活応援事業	幸せブーケ トス事業 【H28】	・成婚に至り、引き続き若しくは新たに市内へ居住した夫婦に対し、新生活スタート資金との名目として結婚祝金を支給 ・上記の者が支給後2年のうちに、新たな者の成婚を仲介した場合には、に仲介報酬金を支給 ・上記の者に仲介された者へ結婚祝金を支給	年間婚姻届出数 (暦年)	372件/年 (H31)								
★	57	2 / ①	2.1.7	若者出会い・結婚生活応援事業	結婚サポーター等活動強化促進事業 【H28】	・結婚サポーターの紹介により、交際を開始した者が成婚に至った場合に、当該成婚者の居住地(住民票)の状況に応じ、結婚サポーターに対し報酬金を支給	年間婚姻届出数 (暦年)	372件/年 (H31)								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度				取組み状況	成果	今後の方向性	
								指標 目標値 (H28)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳 特定財源 (千円)				一般財源 (千円)
55	2 / ①	2.1.7	若者出会い・結婚生活応援事業	若者交流事業 【H26以前】	・「街コン」や「趣味コン」等を企画し、独身男女に出会いの機会を提供	年間婚姻届出数 (暦年)	372件/年 (H31)	331件/年	297件/年	1,535	0	1,535	<ul style="list-style-type: none"> ■3つの民間団体等が実施する出会い創出イベントに支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「秋は何かと人恋しい…大GOCON!! Vol.12」 主催：横手Dei隊(事務局商工会議所) 開催日等：H28.10.1 かまくら館 ・「の～コン」 主催：JA秋田ふるさと青年部 開催日等：H28.11.20、H29.2.18 開催場所：市内飲食店、横手セントラルホテル ・「chocolat Banquet(ショコラ バンケット)」 主催：ルーム合同会社(くりや) 開催日：H28.11.5 市内飲食店(くりや) ■「よこてfanコン」 参加人数45名(男性28名、女性17名) 合計 272名(男性146名、女性126名) ※カップリング数はアンケート回答者の内の数値。 	<ul style="list-style-type: none"> ■「秋は何かと人恋しい…大GOCON!! Vol.12」 参加人数 155名(男性81名、女性74名) カップリング数10組 ■「の～コン」 参加人数 54人(男性27名、女性27名) カップリング数4組 ■「chocolat Banquet(ショコラ バンケット)」 参加人数 18人(男性10名、女性8名) カップリング数1組 ■「よこてfanコン」 参加人数45名(男性28名、女性17名) 合計 272名(男性146名、女性126名) ※カップリング数はアンケート回答者の内の数値。 	<ul style="list-style-type: none"> ■今年度の委託事業の検証により、市内で少人数の出会いイベントが定期的で開催されるような環境を整備し、「大人数と会える年に1～2回のチャンス」に加えて「少人数と会えるチャンスが定期的にある」状況を市内に創り出し、パートナーがほしい、結婚したいという度合いとニーズに合わせたサービスを提供していく。 ■会員の成婚率が高い結婚支援センターへの入会について、市独自の告知を進めていく。
56	2 / ①	2.1.7	若者出会い・結婚生活応援事業	幸せブーケトス事業 【H28】	・成婚に至り、引き続き若しくは新たに市内へ居住した夫婦に対し、新生活スタート資金との名目として結婚祝金を支給 ・上記の者が支給後2年のうちに、新たな者の成婚を仲介した場合には、に仲介報奨金を支給 ・上記の者に仲介された者へ結婚祝金を支給	年間婚姻届出数 (暦年)	372件/年 (H31)	331件/年	297件/年	9,150	0	9,150	<ul style="list-style-type: none"> ■要綱作成 ■市報よこて7/15号、2/15号への掲載 ■横手市ホームページ注目情報への掲載(7/15～継続中) ■横手かまくらFM定期情報による放送(7月～継続中) ■デジタルサイネージへの掲載(7月中旬～継続中) ■回覧板(8月) ※原則横手にぎわい商品券での交付とし、地域経済循環につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■結婚生活応援金 180件 ■結婚仲介加算報奨金 3件 	<ul style="list-style-type: none"> ■本事業では、仲介加算者を増加させないと婚姻率の増につながらない。申請時や商品券交付の際、ご夫婦に「仲介できるような対象者がいるか」と伺うと、「いる」と答えるケースが当初の想定より多いと認識している。こうした対象者の結婚につながるよう、すでに祝金を支給した夫婦(仲介夫婦)への働きかけを実施していく(実施中)。
57	2 / ①	2.1.7	若者出会い・結婚生活応援事業	結婚サポーター等活動強化促進事業 【H28】	・結婚サポーターの紹介により、交際を開始した者が成婚に至った場合に、当該成婚者の居住地(住民票)の状況に応じ、結婚サポーターに対し報償金を支給	年間婚姻届出数 (暦年)	372件/年 (H31)	331件/年	297件/年	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ■結婚サポーター(県登録)の募集 ・市報よこて6/15号へ掲載 ・横手かまくらFM定期情報による放送(7/15～継続中) ■市内結婚サポーター・北都銀行横手支店・市による情報交換の場の設定(H28.9.29) ■県及び県結婚支援センターが実施する広域連携モデル事業の実施に伴い、当市結婚サポーター及び担当課職員が全県的なマッチング活動に参画。 	<ul style="list-style-type: none"> ■横手市結婚サポーター数 19人 ■情報交換会の状況 情報交換会には8名が参加。事前にサポーターを対象としたアンケートを実施し、現在の活動についての意見交換を行った。若者の意識の変化と個人情報取り扱いの難しさに意見が集中したが、市を上げて取り組んでいく課題であることは一致した。 ■補助金実績なし 	<ul style="list-style-type: none"> ■本事業は、県の結婚支援センターのサポーターとしての活動が前提。平成28年度実施の県広域連携モデル事業により、県内サポーター同士による引き合わせが行われ、活躍の場が広がるきざしが見られる。情報交換会を継続しつつ様子を見守っていく。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
55	2 / ①	2.1.7	若者出会い・結婚生活応援事業	若者交流事業 【H26以前】	・「街コン」や「趣味コン」等を企画し、独身男女に出会いの機会を提供	年間婚姻届出数 (暦年)	372件/年 (H31)	361件/年	305件/年	1,504	0	1,504	<p>【委託事業】 横手fanコンの実施 10回開催、76名参加</p> <p>【補助事業】 ・横手Dei隊(9月開催・57名参加、バーベキュー) →100名予定であったが、大雨により急遽会場変更 ・ポルタリングコン(10月、2月開催・延べ18名参加) ・スポコン!(10月開催・21名参加、スポーツ交流) ・甘党祭(2月開催・13名参加、スイーツや地元食材を食す) 今年度初めて、各事業の主催者が連携して、イベントパンフレットを作成した。</p>	<p>婚姻届受理数 H29.1月～12月 305件</p> <p>市内出会いイベント開催回数4回⇒15回</p>	<p>■イベントの有り方について、年間の参加機会数を重視し1年目。 参加したいと思った時に参加できるスケジュール感として、「ほぼ毎月出会いイベントが開催されるまち」の演出はクリアしている。 しかし、テーマによって今後は、イベント主催者間のネットワークを活用し、人気のあるイベントの分析や協働事業を行うことで、若者の出会いを後押ししていきたい。</p>
56	2 / ①	2.1.7	若者出会い・結婚生活応援事業	幸せブーケ トス事業 【H28】	・成婚に至り、引き続き若しくは新たに市内へ居住した夫婦に対し、新生活スタート資金との名目として結婚祝金を支給 ・上記の者が支給後2年のうちに、新たな者の成婚を仲介した場合、に仲介報酬を支給 ・上記の者に仲介された者へ結婚祝金を支給	年間婚姻届出数 (暦年)	372件/年 (H31)	361件/年	305件/年	10,582	0	10,582	<p>■市報よこて4/1号、6/1号への掲載</p> <p>■横手市ホームページ注目情報への掲載</p> <p>■横手まくらFM定期情報による放送</p> <p>■デジタルサイネージへの掲載</p> <p>■市民課、各地域局戸担当窓口にて、婚姻届受理後、必要書類の配布と概略の説明 ※原則横手にぎわい商品券での交付とし、地域経済循環につなげた。</p>	<p>■結婚生活応援報奨金 187件</p> <p>■結婚仲介加算報奨金 17件</p>	<p>■本事業では、仲介加算者を増加させないと婚姻率の増につながらない。市報やホームページ、FM等を活用しての周知啓発のほか、結婚生活応援金申請のご夫婦に、「仲介できるようなカップルがいたらぜひお知らせして、結婚につなげていただきたい」と、働きかけを今後も継続して実施していく。</p>
57	2 / ①	2.1.7	若者出会い・結婚生活応援事業	結婚サポーター等活動強化促進事業 【H28】	・結婚サポーターの紹介により、交際を開始した者が成婚に至った場合に、当該成婚者の居住地(住民票)の状況に応じ、結婚サポーターに対し報酬金を支給	年間婚姻届出数 (暦年)	372件/年 (H31)	361件/年	305件/年	0	0	0	<p>■秋田結婚支援センター主導(県委託)で県南自治体、企業等および結婚サポーターが参画し、企業と共に取り組む秋田の結婚支援事業広域連絡協議会(県南地域)が設立され、地域における結婚支援の活性化を図る</p>	<p>■結婚サポーター相談件数:0件 県内においても結婚サポーターへ相談する件数等が減少しているため、今後は秋田県南結婚支援センターと連携し、事業等を進める必要がある。</p>	<p>■秋田県南結婚支援センター等と連携し個人登録をメインとした結婚支援を行う。</p>

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成30年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H30)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
55	2 / ①	2.1.7	若者出会い・結婚生活応援事業	若者交流事業 【H26以前】	・「街コン」や「趣味コン」等を企画し、独身男女に出会いの機会を提供	年間婚姻届出数 (暦年)	372件/年 (H31)	320件/年	266件/年	1,829	0	1,829	<p>・補助金交付により民間事業者による大規模・小規模イベントを複数開催。実績計8回、参加者数延べ255名。</p> <p>・民間事業者への委託により、各回テーマを設定した小規模イベントを複数開催。実績計7回、参加者数延べ44名。</p> <p>・補助事業新規申請者に対し受託事業者が講習会を開催してノウハウを伝授するなど、民間事業者同士のネットワーク化を図った。</p> <p>・各事業者が行うイベントをまとめて一覧にしたパンフレットを作成し、PRに努めた。</p>	<p>【補助事業】</p> <p>■横手Dei隊(横手商工会議所) イベント開催日 8月4日(土) 参加人数計 126名(男性81名、女性45名)</p> <p>■JA秋田ふるさと青年部 イベント開催日 10月7日(日)、2月10日(日) 参加人数計 57名(男性31名、女性26名)</p> <p>■横手焼き鳥センター イベント開催日 9月12日(水)、11月14日(水)、12月12日(水) 参加人数計 52名(男性26名、女性26名)</p> <p>■FM横手若者交流事業実行委員会 イベント開催日 7月15日(日)、11月17日(土) 参加人数計 20名(男性10名、女性10名)</p> <p>【委託事業】</p> <p>■(株)Base Line(バル・バサポルテ) よこてfanコン(各回ごとテーマ設定)7回開催 参加人数計 44名(男性23名、女性21名) 【参加合計】 299名(男性171名、女性128名)</p>	<p>■イベント実施においては、女性の集客が課題である。一部では参加者が集まらず開催を見送った回もあり、周知PRはもちろんだが、いかに敷居を低くできるかといった観点を重視するべき。積極的にイベント参加に足を踏み出せない潜在ターゲット層はまだ多いと思われる。</p> <p>■委託事業においては、女性目線で女性が参加しやすい、参加したくなるテーマ設定を追求した。マニアック、ニッチ、悩みや困りごとに沿ったテーマ設定などで、効果的なイベント告知ができれば、より成果につながるイベントにできるのではないかと。</p>
56	2 / ①	2.1.7	若者出会い・結婚生活応援事業	幸せブーケトス事業 【H28】	・成婚に至り、引き続き若しくは新たに市内へ居住した夫婦に対し、新生活スタート資金との名目として結婚祝金を支給 ・上記の者が支給後2年のうちに、新たな者の成婚を仲介した場合には、に仲介報奨金を支給 ・上記の者に仲介されたの者へ結婚祝金を支給	年間婚姻届出数 (暦年)	372件/年 (H31)	372件/年	266件/年	10,571	0	10,571	<p>■市報よこて5/1号、12/15号への掲載</p> <p>■横手市ホームページ注目情報への掲載</p> <p>■横手かまくらFM定期情報による放送</p> <p>■デジタルサイネージへの掲載</p> <p>■市民課、各地域局戸婚担当窓口にて、婚姻届受理後、必要書類の配布と概略の説明 ※原則、横手市にぎわい商品券での交付とし、地域経済循環につなげた。</p>	<p>■結婚生活応援報奨金 184件</p> <p>■結婚仲介加算報奨金 24件</p>	<p>■有識者会議等で事業効果の検証を踏まえ、今後の在り方を検討する。</p>
57	2 / ①	2.1.7	若者出会い・結婚生活応援事業	結婚サポーター等活動強化促進事業 【H28】	・結婚サポーターの紹介により、交際を開始した者が成婚に至った場合に、当該成婚者の居住地(住民票)の状況に応じ、結婚サポーターに対し報償金を支給	年間婚姻届出数 (暦年)	372件/年 (H31)								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手続	取組目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	令和元年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (R1)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
55	2 / ①	2.1.7	若者出会い・結婚生活応援事業	若者交流事業 【H26以前】	・「街コン」や「趣味コン」等を企画し、独身男女に出会いの機会を提供	年間婚姻届出数 (暦年)	372件/年 (H31)	372件/年	245件/年	1,386	0	1,386	<p>■補助金交付により民間事業者による大規模・小規模イベントを複数開催。実績計6回、参加者数延べ147名。</p> <p>■民間事業者への委託により、各回テーマを設定した小規模イベントを複数開催。実績計9回、参加者延べ46名。</p> <p>■各事業者が行うイベントをまとめて一覧にしたパンフレットを作成し、PRを実施。</p> <p>■若者交流事業事業者情報交換会の実施。</p>	<p>【補助事業】</p> <p>■JA秋田ふるさと青年部 イベント開催日 6月29日(土)、2月15日(土) 参加人数計 72名(男性40名、女性32名)</p> <p>■横手焼き鳥センター イベント開催日 8月21日(水)10月23日(水)、12月18日(水) 参加人数計 48名(男性24名、女性24名)</p> <p>■ドリームインフィニアキタ イベント開催日 10月20日(日) 参加人数計 27名(男性17名、女性10名)</p> <p>【委託事業】</p> <p>■(株)Base Line(バル・バサポルテ) よこてfanコン(各回ごとテーマ設定)9回開催 参加人数計 46名(男性24名、女性22名)</p> <p>【参加合計】 193名(男性105名、女性88名)</p>	<p>■イベント実施においては、女性の集客が課題であり、いかに敷居を低くできるかといった観点を重視するべき。積極的にイベント参加に足を踏み出せない潜在ターゲット層はまだ多いと思われる。</p>
56	2 / ①	2.1.7	若者出会い・結婚生活応援事業	幸せブーケトス事業 【H28】	・成婚に至り、引き続き若しくは新たに市内へ居住した夫婦に対し、新生活スタート資金と名目として結婚祝金を支給 ・上記の者が受給後2年のうちに、新たな者の成婚を仲介した場合には、に仲介報奨金を支給 ・上記の者に仲介されたの者へ結婚祝金を支給	年間婚姻届出数 (暦年)	372件/年 (H31)	320件/年	245件/年	9,221	0	9,221	<p>■市報よこて5/1号、12/15号への掲載。</p> <p>■横手市HP注目情報への掲載。</p> <p>■横手かまくらFM定期情報による放送。</p> <p>■デジタルサイネージへの掲載。</p> <p>■国保市民課、各地域局担当窓口にて、婚姻届出受理後、必要書類の配布と概略の説明。転入者に対しても事業の周知を実施。</p> <p>※原則として、横手にぎわい商品券での交付とし、地域経済循環に繋げている。</p>	<p>■結婚生活応援報奨金 164件 結婚仲介加算報奨金 17件</p> <p>■仲介加算者を増加させ、婚姻率の増加に繋げていくため、市報やホームページ、FM等を活用しての周知啓発のほか、結婚生活応援報奨金申請の新婚夫婦にも仲介を促す働きかけを実施。</p>	<p>■婚姻数と当事業申請者数が同数になるように引き続き、市民課や各地域局担当窓口にて、婚姻届受理後、必要書類の配布と概略の説明する。また、転入者にも事業の周知を実施する。</p> <p>■仲介加算者を増加させ、婚姻率の増につなげていくため、市報やHP、FM等を活用しての周知啓発のほか、結婚生活応援報奨金申請のご夫婦に、「仲介できるようなカップルがいたらぜひお知らせして、結婚につなげていただきたい」と、働きかけを今後も継続して実施していく。</p>
57	2 / ①	2.1.7	若者出会い・結婚生活応援事業	結婚サポーター等活動強化促進事業 【H28】	・結婚サポーターの紹介により、交際を開始した者が成婚に至った場合に、当該成婚者の居住地(住民票)の状況に応じ、結婚サポーターに対し報償金を支給	年間婚姻届出数 (暦年)	372件/年 (H31)								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

着手年度	No	基本目標	款項目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成27年度					取組み状況	成果	
									指標 目標値 (H27)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳				
												特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
* 58		2 / ②	5.1.1	ワークライフバランス推進事業	ワークスタイル研修受講支援事業【H28】	・働き方の改革に敏感で、仕事と家庭生活の両立の実現に取り組もうとする企業を増やすため、企業や事業所向けにライフワークバランス等に関する研修等を実施 ・雇用者を研修に派遣させた企業や事業所に対し助成金を交付	ワークスタイル研修参加者の人数	700名/4年間 (H28～31)								
* 59		2 / ②	5.1.1	ワークライフバランス推進事業	「男」の育児休業取得促進事業【H28】	・市内中小事業所で働く男性が積極的に子育てに関わり夫婦ともに仕事と家庭生活のよりよいバランスが図られることを促進し、かつ経営者が働き方の見直しにつなげていくことを目的とし、育児休業を取得した男性労働者を雇用する事業主に助成金を交付	男性が10日以上育児休業を取得した事業所	10事業所/毎年 (H28～31)								
* 60		2 / ②	2.1.7	若者出会い・結婚生活応援事業	三世帯同居等促進住まい支援事業【H28】	・子育て世帯(18歳以下の子どもをもつ世帯)が親元等と同居又は近居しようとする場合に必要な費用(当該世帯の住宅取得費用、当該世帯又は親元等が所有する住宅の増改築等)の一部を助成	年間婚姻届出数(暦年)	372件/年 (H31)								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H28)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
58	2 / ②	5.1.1	ワークライ フバランス 推進事業	ワークス タイル 研修受 講支 援事業 【H28】	・働き方の改革に敏感で、仕事と家庭生活の両立の実現に取り組もうとする企業を増やすため、企業や事業所向けにワークバランス等に関する研修等を実施 ・雇用者を研修に派遣させた企業や事業所に対し助成金を交付	ワークス タイル 研修参 加者 の人数	700名/4年間 (H28～31)	150人 /年	53人/ 年	790	0	790	<ul style="list-style-type: none"> ■働き方の改革を望み、仕事と家庭生活の両立実現に配慮した事業所等を増やすための「ワークスタイル研修」を実施。(年間3回) ■事業周知 <ul style="list-style-type: none"> ・市報よこてへの掲載 ・横手市ホームページ注目情報への掲載 ・横手かまくらFMによる放送 ・デジタルサイネージでの放映 ・「男女イキイキ職場宣言」をへの勧誘通知 ・商工会議所、商工会を通じ、全会員へのチラシ配布 	<ul style="list-style-type: none"> ■ワークスタイル研修 受講実績 <ul style="list-style-type: none"> ・10月20日 受講者 15社 19名 ・11月29日 受講者 12社 16名 ・12月20日 受講者 民間 9社 その他団体2団体 18名 ■受講者数は当初想定人数に達しないものの、研修受講後の反応は概ね良好で、再度、受講を望む者もあり、効果ありと思われる。(当研修の成果の判定には、息の長い継続が必要であるものと思われる。) 	<ul style="list-style-type: none"> ■男女共同参画のみならず、少子化対策(出生率向上)、男女均等政策、労働時間政策、非正規労働者政策など働き方の全般的な改革に関わるため、継続した事業展開を行い、より多くの事業主・従業員への浸透を図っていく。 ■研修受講者については、当初想定した人数に達しないため、1回当たりの受講人数を抑え実施していく。また、研修のシリーズ化や一定規模以上の事業所については、事業所と連携して「出前」研修の実施も検討していく。
59	2 / ②	5.1.1	ワークライ フバランス 推進事業	「男」の育 児休 業取 得促 進事 業 【H28】	・市内中小事業所で働く男性が積極的に子育てに関わり夫婦ともに仕事と家庭生活のよりよいバランスを図られることを促進し、かつ経営者が働き方の見直しにつなげていくことを目的とし、育児休業を取得した男性労働者を雇用する事業主に助成金を交付	男性が10日 以上育 児休 業を 取 得 し た 事 業 所	10事業所/毎 年(H28～31)	10事業 所	2事業 所	600	0	600	<ul style="list-style-type: none"> ■市報よこて7/1号への掲載(インフォメーション) ■横手市ホームページ注目情報への掲載(7/1～) ■横手かまくらFM定期情報による放送(7/1～7/31) ■企業訪問時における事業概要の説明と資料の配布(7月～) ■「男女イキイキ職場宣言」をしている横手市内35事業所へ通知による情報提供(10/17) ■デジタルサイネージへの掲載(11/7～) ■横手市ワークスタイル研修受講者へチラシの配布(11/29) 	<ul style="list-style-type: none"> ■社会福祉法人 平鹿悠真会(12/14申請) ■有限会社 アール・ブルー(2/7申請) 	<ul style="list-style-type: none"> ■仕事と生活の調和等に積極的に取り組み、男女ともにイキイキと働くことができる職場づくりを進めていただくため、更なる周知強化を図っていく必要がある。
60	2 / ②	2.1.7	若者出 会い ・結 婚生 活 支 援 事 業	三世 代同 居 等 促 進 住 ま い 支 援 事 業 【H28】	・子育て世帯(18歳以下の子どもをもつ世帯)が親元等と同居又は近居しようとする場合に必要となる費用(当該世帯の住宅取得費用、当該世帯又は親元等が所有する住宅の増改築等)の一部を助成	年間婚姻届 出数 (暦年)	372件/年 (H31)	331件 /年	297件 /年	10,160	0	10,160	<ul style="list-style-type: none"> ■要綱作成 ■事業周知 <ul style="list-style-type: none"> ・建築業者あて事業開始のお知らせ(7月) ・市報よこて7/15号への掲載 ・横手市ホームページ注目情報への掲載(7/15～継続中) ・横手かまくらFM定期情報による放送(7月～継続中) ・デジタルサイネージへの掲載(7月中旬～継続中) ・回覧板(8月) ・業者あて周知(2月上旬) 	<ul style="list-style-type: none"> ■同居/新築80万円コース7件 ■同居/改修等30万円コース3件 ■同居/新築40万円コース8件 ■同居/改修等 15万円コース2件 計 20件 	<ul style="list-style-type: none"> ■三世代同居、近居促進のため当制度の周知徹底を図る。 ■利用者アンケートを実施し、本制度の有効性を検証、より効果的な制度につなげていく。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度				取組み状況	成果	今後の方向性	
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)				一般財源 (千円)
58	2 / ②	5.1.1	ワークライフ バランス 推進事業	ワークス タイル 研修受 講支 援事業 【H28】	・働き方の改革に 敏感で、仕事と家 庭生活の両立の 実現に取り組もう とする企業を増や すため、企業や 事業所向けにライ フワークバランス 等に関する研修 等を実施 ・雇用者を研修に 派遣させた企業 や事業所に対し 助成金を交付	ワークス タイル 研修参 加者 の人数	700名/4年間 (H28～31)	175名 /年	201名 /年	575	0	575	<ul style="list-style-type: none"> ■12/18に企業・団体/の経営者・管理職 層に向け『ワーク・ライフ・バランス講演会』 を実施。 ■3/6に、企業・団体の従業員に向けて、 ワークスタイル研修を実施。 ■市主催のワークスタイル研修へ従業員を 派遣した要件を満たす企業に対し、ワークバ ランス推進奨励金を交付(5,000円/人) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ワーク・ライフ・バランス講演会参加者： 185名 ■ワークスタイル研修受講者：14社・団体 16名 ■ワークバランス推進奨励金交付件数：10 社12名分 経営者・管理職層に向け、ワーク・ライフ・バ ランス講演会、従業員層に向け、ワークス タイル研修を実施したことにより、働き方改革 やワーク・ライフ・バランスの推進への意識向 上につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■今年度同様、経営層に向けたワーク・ライ フ・バランス講演会を行い、企業経営層の理 解も得たうえで、企業従業員向けのワーク スタイル研修を行い、市内における働き方改革 およびワーク・ライフ・バランス、女性活躍を 推進していく。
59	2 / ②	5.1.1	ワークライフ バランス 推進事業	「男」の育児 休業取得促 進事業 【H28】	・市内中小事業 所で働く男性が積 極的に子育てに 関わり夫婦ともに 仕事と家庭生活 のよりよいバラン スが図られること を促進し、かつ経 営者が働き方の 見直しにつなげて いくことを目的と し、育児休業を取 得した男性労働 者を雇用する事 業主に助成金を 交付	男性が10日 以上育児休 業を取得し た事業所	10事業所/毎 年(H28～31)	2事業 所	0事業 所	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ■事業周知 ・市報よこて4/15号への掲載(インフォメーショ ン) ・横手市ホームページへの掲載 ・商工団体定期情報誌への掲載 ・企業訪問時における事業概要の説明と資料の 配布 ・「男女イキイキ職場宣言」をしている横手市内 43事業所へ通知による情報提供(5月)※直接 電話にて活用を再度案内(10～11月) ・デジタルサイネージへの掲載 ・横手市ワークスタイル研修受講者へチラシの配 布(12/16予定) ・雇用情報サイト「ジョブナビ」に掲載依頼 ・県のHPに掲載依頼(あきた女性の活躍応援 ネット、少子化対策総合ウェブサイト) 	<ul style="list-style-type: none"> ■様々な周知や「男女イキイキ職場宣言」を している横手市内43事業所へ直接電話にて 活用を案内周知にて制度への理解と周知を 強化するものの現在のところ実績はなし。 	<ul style="list-style-type: none"> ■男性が休業する前例がほとんどなく、取得 への概念がない、社会に男性が育児休業を 取得する風土がないなどの問題がある。 奨励金制度については、国の制度活用に向 け検討。
60	2 / ②	2.1.7	若者出会 い・結婚生 活応援事 業	三世帯同居 等促進住 まい支 援事業 【H28】	・子育て世帯(18 歳以下の子どもを もつ世帯)が親元 等と同居又は近 居しようとする場 合に必要な費用 (当該世帯の住 宅取得費用、当 該世帯又は親元 等が所有する住 宅の増改築等)の 一部を助成	年間婚姻届 出数 (暦年)	372件/年 (H31)	361件 /年	305件 /年	7,402	0	7,402	<ul style="list-style-type: none"> ■事業周知 ・建築業者あて事業開始のお知らせ ・市報よこて4/1号、6/1号、8/15号への掲 載 ・横手市ホームページ注目情報への掲載 ・横手まくらFM定期情報による放送 ・デジタルサイネージへの掲載 ■住宅金融支援機構と連携し、住宅ローン 「フラット35」の金利引き下げによる支援を 行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■同居/新築 80万円コース 8件 ■同居/改修等 30万円コース 2件 ■近居/新築 40万円コース 1件 ■近居/改修等 15万円コース 0件 計 11件 ■「フラット35」利用 2件 	<ul style="list-style-type: none"> ■三世帯同居、近居促進のため当制度の 周知徹底を図る。 ■利用者アンケートを実施し、本制度の有効 性を検証、より効果的な制度につなげてい く。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成30年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H30)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
58	2 / ㊲	5.1.1	ワークライフバランス推進事業	ワークスタイル研修受講支援事業 【H28】	・働き方の改革に敏感で、仕事と家庭生活の両立の実現に取り組もうとする企業を増やすため、企業や事業所向けにワークライフバランス等に関する研修等を実施 ・雇用者を研修に派遣させた企業や事業所に対し助成金を交付	ワークスタイル研修参加者の人数	700名/4年間 (H28～31)	200名/年	125名/年	249	0	249	<p>■10/17に企業・団体の経営者・管理職層に向け『ワーク・ライフ・バランス講演会』を実施。</p> <p>■1/23、2/6に企業・団体の従業員に向けて、ワークスタイル研修を実施。</p>	<p>■10/17に企業・団体の経営者・管理職層に向け『ワーク・ライフ・バランス講演会』を実施。 講師：北都銀行株式会社 人事部 西本一史氏 演題：『働き方改革～ワーク・ライフ・インベーションの実現に向けて～』 参加者：90名</p> <p>■1/23、2/6に企業・団体の従業員に向けて、ワークスタイル研修を実施。 講師：NPO法人ファザリングジャパン東北 代表理事 竹下小百合氏(2/6) 理事 本田 正博氏(1/23) 参加者：35名</p>	<p>■企業・団体の経営者・管理職層に向けて『ワーク・ライフ・バランス講演会』の実施</p> <p>■企業・団体の従業員に向けて、自身の働き方やワークスタイルについて見つめなおし、ワーク・ライフ・バランスの実現につなげることを目的としてワークスタイル研修を実施</p>
59	2 / ㊲	5.1.1	ワークライフバランス推進事業	「男」の育児休業取得促進事業 【H28】	・市内中小事業所で働く男性が積極的に子育てに関わり夫婦ともに仕事と家庭生活のよりよいバランスが図られることを促進し、かつ経営者が働き方の見直しにつなげていくことを目的とし、育児休業を取得した男性労働者を雇用する事業主に助成金を交付	男性が10日以上育児休業を取得した事業所	10事業所/毎年 (H28～31)								
60	2 / ㊲	2.1.7	若者出会い・結婚生活応援事業	三世代同居等促進住まい支援事業 【H28】	・子育て世帯(18歳以下の子どもをもつ世帯)が親元等同居又は近居しようとする場合に必要となる費用(当該世帯の住宅取得費用、当該世帯又は親元等が所有する住宅の増改築等)の一部を助成	年間婚姻届出数 (暦年)	372件/年 (H31)	372件/年	266件/年	11,600	0	11,600	<p>■事業周知 ・建築業者あて事業開始のお知らせ ・市報よこて5/1号への掲載 ・横手市ホームページ注目情報への掲載 ・横手かまぐらFM定期情報による放送 ・デジタルサイネージへの掲載</p> <p>■住宅金融支援機構と連携し、住宅ローン「フラット35」の金利引き下げによる支援を行った。</p>	<p>■同居/新築 80万円コース 11件</p> <p>■同居/改修等 30万円コース 4件</p> <p>■近居/新築 40万円コース 4件</p> <p>■近居/改修等 15万円コース 0件</p> <p>計 19件</p> <p>■「フラット35」利用 2件</p>	<p>■有識者会議等で事業効果の検証を踏まえ、今後の在り方を検討する。</p>

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	令和元年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (R1)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
58	2 / ②	5.1.1	ワークライフ バランス 推進事業	ワークス タイル 研修受 講支 援事業 【H28】	・働き方の改革に 敏感で、仕事と家 庭生活の両立の 実現に取り組もう とする企業を増や すため、企業や 事業所向けにライ フワークバランス 等に関する研修 等を実施 ・雇用者を研修に 派遣させた企業 や事業所に対し 助成金を交付	ワークス タイル 研修参 加者 の人数	700名/4年間 (H28～31)	200名 /年	90	1,800	0	1,800	<p>■7/3に秋田県南部男女共同参画センターと共催でハラスメント研修を実施。 講師:いわてライフキャリアラボ 代表 後藤 大平氏 テーマ:ハラスメントを学ぶ 参加者:35名</p> <p>■9/26に企業・団体の経営者・管理職層に向け『ワーク・ライフ・バランス講演会』を実施。 講師:内閣府地域働き方改革支援チーム委員 渥美 由喜氏 演題:『働き方改革とワーク・ライフ・バランスを成功させる秘訣～具体的実践事例から～』</p>	いずれの研修・講演会も集客が課題となっている。参加しやすい時期や社会情勢・ニーズ等を踏まえテーマ等含め開催について検討していく。	
59	2 / ②	5.1.1	ワークライフ バランス 推進事業	「男」の育児 休業取得促 進事業 【H28】	・市内中小事業 所で働く男性が積 極的に子育てに 関わり夫婦ともに 仕事と家庭生活 のよりよいバラン スが図られること を促進し、かつ経 営者が働き方の 見直しにつなげて いくことを目的と し、育児休業を取 得した男性労働 者を雇用する事 業主に助成金を 交付	男性が10日 以上育児休 業を取得し た事業所	10事業所/毎 年(H28～31)								
60	2 / ②	2.1.7	若者出会 い・結婚生 活応援事 業	三世帯同居 等促進住ま い支援事業 【H28】	・子育て世帯(18 歳以下の子ども をもつ世帯)が親元 等同居又は近 居しようとする場 合に必要な費用 (当該世帯の住 宅取得費用、当 該世帯又は親元 等が所有する住 宅の増改築等)の 一部を助成	年間婚姻届 出数 (暦年)	372件/年 (H31)	372件 /年	245件 /年	9,800	0	9,800	<p>■事業周知 ・市報よこて5/1号への掲載。 ・横手市HP注目情報への掲載。 ・横手かまくらFM定期情報による放送。 ・デジタルサイネージへの掲載。</p> <p>■利用者アンケートを実施。 ■住宅金融支援機構と連携し、住宅ローン「フラット35」の金利引き下げによる支援を実施。</p>	<p>■同居/新築・購入 80万円コース 9件 同居/改修等 30万円コース 2件 近居/新築 40万円コース 5件 近居/改修等 15万円コース 0件 計16件</p> <p>■「フラット35」利用 2件 ■利用者アンケートを実施。(回答率68.4%)</p>	<p>■三世帯同居、近居促進のため、引き続き当制度の周知徹底を図る。 ■引き続き、利用者アンケートを実施し、本制度の有効性を検証、より効果的な制度に繋げていく。</p>

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

着手年度	No.	基本目標	款項目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成27年度					取組み状況	成果
									指標 目標値 (H27)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)		
* 61	2 / ②	3.1.6	福祉医療 (給付・事務)費 (中学生通 院医療費 への拡大 助成)	福祉医療 (給付・事務)費 【H26以前】	・中学生の通院 医療費も対象と し、自己負担を実 質無料化する	受給者数 (中学生通 院医療費分)	1,892人 (H31)								
62	2 / ②	3.2.3	子どものた めの教育・ 保育給付 費	子どものた めの教育・ 保育給付費 (すこやか子 育て支援事 業県事業拡 大分) 【H28】	■施設型給付費 等 市内外の認定こ ども園、認可保育 施設等に対して 児童の保育や施 設の運営費等の 助成を行う。 ■すこやか助成 (扶助費) 認定こども園、認 可外保育施設、 市外公立保育所 を利用する児童 の保育料を助成 を行う。	入所児童数 (市内公立 保育所を除 く)	2,260人 (H28)								
* 63	2 / ②	2.1.7	男女共同 参画社会 推進事業	男女共同参 画社会推進 事業 【H26以前】	・男女共同参画行 動計画の着実な実 施と進行管理を図 るため、市民による 推進協議会を開 催し、計画の進捗 状況や新たな課題 へ対応する。 また、男女共同 参画意識の啓発の ためのイベントや研 修会、女性が活躍 できるセミナー等 の開催、市報やホ ムページ掲載等 による啓発などこ より、市民の理解を 促進させる。	男女イキ キ職場宣 言事業所数	42事業所 (H31)	—	1,524	0	1,524	■横手市男女共同参画推進協議会 ■横手市男女共同参画フェスティバルの開催・横手市男女 共同参画行動計画第3次計画の策定	■横手市男女共同参画推進協議会 ■横手市男女共同参画フェスティバル開催 来場者 約150 名 ■横手市男女共同参画行動計画第3次計画の策定		

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成28年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H28)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
61	2 / ②	3.1.6	福祉医療 (給付・事 務)費 (中学生通 院医療費 への拡大 助成)	福祉医療 (給付・事 務)費 【H26以前】	・中学生の通院 医療費も対象と し、自己負担を実 質無料化する	受給者数 (中学生通 院医療費 分)	1,892人 (H31)	2,047 人	1,896 人	867,418	367,831	499,587	<ul style="list-style-type: none"> ■申請書の送付:5月(対象見込み者宛て) ■周知 市報:6月、ホームページ:6月～、FM:5～ 6月、医療機関:6月 ■受給者証の交付:7月末～随時 ・制度の実施:8月1日～ 	<ul style="list-style-type: none"> ■給付額 12,378円/人 ■対象者数 1,896人 	<ul style="list-style-type: none"> ■現在、県内全市町村が中学生への福祉 医療助成を実施しており、他の15市町村が 横手市と同じ制度内容である。 今後も継続の方向。
62	2 / ②	3.2.3	子どものた めの教育・ 保育給付 費	子どものた めの教育・ 保育給付 費(すこやか 子育て支援事 業・事業拡大 分) 【H28】	<ul style="list-style-type: none"> ■施設型給付費 等 市内外の認定こ ども園、認可保 育施設等に対して 児童の保育や施 設の運営費等の 助成を行う。 ■すこやか助成 (扶助費) 認定こども園、認 可外保育施設、 市外公立保育所 を利用する児童 の保育料を助成 を行う。 	入所児童数 (市内公立 保育所を除 く)	2,260人 (H28)	—	—	2,455,958	1,675,000	780,958	<ul style="list-style-type: none"> ■施設型給付費等 認定こども園、認可保育施設等に対して児 童の保育や施設の運営費等の助成を行う。 ■すこやか助成(扶助費) 認定こども園、認可外保育施設、市外公立 保育所を利用する児童の保育料を助成を 行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設型給付費等 【2,444,413,205円】 ■すこやか助成(扶助費) 【11,299,662円】 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、施設・保護者の負担軽減のため に実施していく。
63	2 / ②	2.1.7	男女共同 参画社会 推進事業	男女共同 参画社会推 進事業 【H26以前】	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画行 動計画の着実な実 施と進行管理を図 るため、市民による 推進協議会を開 催し、計画の進捗 状況や新たな課題 へ対応する。 また、男女共同 参画意識の啓発の ためのイベントや研 修会、女性が活躍 できるセミナー等 の開催、市報やホ ムページ掲載等 による啓発など により、市民の理 解を促進させる。 	男女イキ キ職場宣 言事業所 数	42事業所 (H31)	36	43	471	0	471	<ul style="list-style-type: none"> ■横手市男女共同参画推進協議会の開催 ■横手市男女共同参画フェスティバルの開催 ■研修会、セミナー等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■横手市男女共同参画推進協議会 2回開催/年 ■横手市男女共同参画フェスティバル開催 来場者 約330名 ■ワークスタイル研修3回開催 参加者 36社2団体 53人 	<ul style="list-style-type: none"> ■引き続き、イベントや研修会、セミナー等 を開催し、男女共同参画意識の啓発を行 う。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
61	2 / ②	3.1.6	福祉医療 (給付・事務) 費 (中学生通 院医療費 への拡大 助成)	福祉医療 (給付・事務) 費 【H26以前】	・中学生の通院 医療費も対象と し、自己負担を実 質無料化する	受給者数 (中学生通 院医療費 分)	1,892人 (H31)	1,948	1,890	874,570	464,113	410,457	<ul style="list-style-type: none"> ■受給者証の更新 (7月:対象者へ受給者証を送付) ■福祉医療費の給付:受給者証による現物 支給と県外受診等の受給者証未使用に伴う 現金支給(随時) ■周知:ホームページ等により随時周知 	<ul style="list-style-type: none"> ■給付額 26,342円/人 ■対象者数 1,890人 	<ul style="list-style-type: none"> ■H28.8より、県内全市町村が中学生への 福祉医療助成を実施しており、他の15市町 村が横手市と同じ制度内容である。 今後も継続の方向。
62	2 / ②	3.2.3	子どものた めの教育・ 保育給付 費	子どものた めの教育・ 保育給付 費 (すこやか子 育て支援事 業県事業拡 大分) 【H28】	<ul style="list-style-type: none"> ■施設型給付費 等 市内外の認定こ ども園、認可保 育施設等に対して 児童の保育や施 設の運営費等の 助成を行う。 ■すこやか助成 (扶助費) 認定こども園、認 可外保育施設、 市外公立保育所 を利用する児童 の保育料を助成 を行う。 	入所児童数 (市内公立 保育所を除 く)	2,260人 (H28)	2,260	2,278	2,533,935	1,720,781	813,154	<ul style="list-style-type: none"> ■施設型給付費等 認定こども園、認可保育施設等に対して児 童の保育や施設の運営費等の助成を行う。 ■すこやか助成(扶助費) 認定こども園、認可外保育施設、市外公立 保育所を利用する児童の保育料を助成を 行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設型給付費等 【2,519,690,470円】 ■すこやか助成(扶助費) 【19,804,806円】 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、施設・保護者の負担軽減のため に実施していく。
63	2 / ②	2.1.7	男女共同 参画社会 推進事業	男女共同 参画社会推 進事業 【H26以前】	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画行 動計画の着実な実 施と進行管理を図 るため、市民による 推進協議会を開 催し、計画の進捗 状況や新たな課題 へ対応する。 また、男女共同 参画意識の啓発の ためのイベントや研 修会、女性が活躍 できるセミナー等 の開催、市報やホ ムページ掲載等 による啓発などによ り、市民の理解を 促進させる。 	男女イキイ キ職場宣言 事業所数	42事業所 (H31)	35社	51社	248	0	248	<ul style="list-style-type: none"> ■男女共同参画推進協議会の実施 (6/27・11/21) ■12/18に企業・団体/の経営者・管理職 層にむけ『ワーク・ライフ・バランス講演会』 を実施。 ■2/27・3/6に、企業・団体の従業員に向 けて、ワークスタイル研修を実施予定。 (市主催:1回・企業への出前方式:1回) ■2/24に男女共同参画フェスティバル開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■男女共同参画推進協議会の実施 (6/27・11/21) ■ワーク・ライフ・バランス講演会参加者: 185名 ■ワークスタイル研修受講者:16名 ■男女共同参画フェスティバル参加者: 145名 ワークライフバランスに関する講演会・研修 会、男女共同参画フェスティバルを開催す ることにより、幅広い層への意識啓発につ ながることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■男女共同参画行動計画の着実な実施と 進行管理を図るために、継続して、市民によ る協議会を開催し、計画の進捗状況や新た な課題へ対応していく。また、男女共同参画 の意識啓発のためにイベントを実施する。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成30年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H30)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
61	2 / ②	3.1.6	福祉医療 (給付・事務) 費 (中学生通 院医療費 への拡大 助成)	福祉医療 (給付・事務) 費 【H26以前】	・中学生の通院 医療費も対象と し、自己負担を実 質無料化する	受給者数 (中学生通 院医療費 分)	1,892人 (H31)	1,906	1,852	844,216	357,528	486,688	<ul style="list-style-type: none"> ■受給者証の更新 (7月:対象者へ受給者証を送付) ■福祉医療費の給付:受給者証による現物 支給と県外受診等の受給者証未使用に伴う 現金支給(随時) ■周知:ホームページ等により随時周知 	<ul style="list-style-type: none"> ■給付額 26,648円/人 ■対象者数 1,852人 	<ul style="list-style-type: none"> ■H28.8より、県内全市町村が中学生への 福祉医療助成を実施しており、他の15市町 村が横手市と同じ制度内容である。 今後も継続の方向。
62	2 / ②	3.2.3	子どものた めの教育・ 保育給付 費	子どものた めの教育・ 保育給付費 (すこやか子 育て支援事 業・事業拡 大分) 【H28】	<ul style="list-style-type: none"> ■施設型給付費 等 市内外の認定こ ども園、認可保育 施設等に対して 児童の保育や施 設の運営費等の 助成を行う。 ■すこやか助成 (扶助費) 認定こども園、認 可外保育施設、 市外公立保育所 を利用する児童 の保育料を助成 を行う。 	入所児童数 (市内公立 保育所を除 く)	2,260人 (H28)	2,210	2,213	2,542,028	1,833,153	708,875	<ul style="list-style-type: none"> ■施設型給付費等 認定こども園、認可保育施設等に対して児 童の保育や施設の運営費等の助成を行う。 ■すこやか助成(扶助費) 認定こども園、認可外保育施設、市外公立 保育所を利用する児童の保育料を助成を 行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設型給付費等 【2,542,028,000円】 ■すこやか助成(扶助費) 【21,356,355円】 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、施設・保護者の負担軽減のため に実施していく。
63	2 / ②	2.1.7	男女共同 参画社会 推進事業	男女共同 参画社会推 進事業 【H26以前】	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画行 動計画の着実な実 施と進行管理を図 るため、市民による 推進協議会を開 催し、計画の進捗 状況や新たな課題 へ対応する。 また、男女共同 参画意識の啓発の ためのイベントや研 修会、女性が活躍 できるセミナー等 の開催、市報やホ ムページ掲載等 による啓発などにより、市民の理解を 促進させる。 	男女イキイ キ職場宣言 事業所数	42事業所 (H31)	54社	58社	335	0	335	<ul style="list-style-type: none"> ■男女共同参画推進協議会の実施 (6/26、11/14) ■10/17に企業・団体の経営者・管理職層 に向け『ワーク・ライフ・バランス講演会』を 実施。 ■1/23、2/6に企業・団体の従業員に向け て、ワークスタイル研修を実施。 ■3/2に男女共同参画フェスティバル開 催。 	<ul style="list-style-type: none"> ■男女共同参画推進協議会の実施 (6/26、11/14) 参加委員:のべ31名 ■10/17に企業・団体の経営者・管理職層に向け『ワーク・ラ イフ・バランス講演会』を実施。 講師:北都銀行株式会社 人事部 西本一史氏 演題:『働き方改革～ワーク・ライフ・イノベーションの実現に向け て～』 参加者:90名 ■1/23、2/6に企業・団体の従業員に向けて、ワークスタイル 研修を実施。 講師:NPO法人ファザリングジャパン東北 代表理事 竹下小百合氏(2/6) 理事 本田 正博氏(1/23) 参加者:35名 ■3/2に男女共同参画フェスティバル開催。 参加者:115名 	<ul style="list-style-type: none"> ■男女共同参画推進協議会の開催 ■企業・団体の経営者・管理職層に向けて 『ワーク・ライフ・バランス講演会』の実施 ■企業・団体の従業員に向けて、自身の働 き方やワークスタイルについて見つめなおし、 ワーク・ライフ・バランスの実現につなげるこ を目的としてワークスタイル研修を実施 ■男女共同参画フェスティバルの開催

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手続 目録	取組目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	令和元年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (R1)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
61	2 / ②	3.1.6	福祉医療 (給付・事 務)費 (中学生通 院医療費 への拡大 助成)	福祉医療 (給付・事 務)費 【H26以前】	・中学生の通院 医療費も対象と し、自己負担を実 質無料化する	受給者数 (中学生通 院医療費 分)	1,892人 (H31)	1,946	1,872	898,615	338,643	476,620	<ul style="list-style-type: none"> ■受給者証の更新:7月(対象者へ受給者証を送付) ■福祉医療費の給付:受給者証による現物支給と県外受診等の受給者証未使用に伴う現金支給(随時) ■周知:ホームページ等により随時周知 ■対象者数(中学生) 1,889人 	<ul style="list-style-type: none"> ■給付額 27,116円/人 ■対象者数 1,872人 	<ul style="list-style-type: none"> ■医療保険各法適用の医療費自己負担分の助成であることの周知 →窓口申請の際の周知徹底
62	2 / ②	3.2.3	子どものた めの教育・ 保育給付 費	子どものた めの教育・ 保育給付 費(すこやか 子育て支援事 業)事業拡 大分) 【H28】	<ul style="list-style-type: none"> ■施設型給付費等 市内外の認定こ ども園、認可保育 施設等に対して 児童の保育や施 設の運営費等の 助成を行う。 ■すこやか助成 (扶助費) 認定こども園、認 可外保育施設、 市外公立保育所 を利用する児童 の保育料を助成 を行う。 	入所児童数 (市内公立 保育所を除 く)	2,260人 (H28)	2,210	2,202	2,605,080	11,703,434	3,573,822	<ul style="list-style-type: none"> ■施設型給付費等 認定こども園、認可保育施設等に対して児童の保育や施設の運営費等の助成を行う。 ■すこやか助成(扶助費) 認定こども園、認可外保育施設、市外公立保育所を利用する児童の保育料および副食費(R1.10～)を助成を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設型給付費等 【歳出額2,563,538,933円 ■すこやか助成(扶助費) ・保育料 16,589,873円 ・副食費 23,942,415円 	<ul style="list-style-type: none"> 認定こども園、認可保育施設等に対して児童の保育や施設の運営費等の助成を行う。 また、認定こども園、認可外保育施設、市外公立保育所を利用する児童の保育料を助成を行う。 更に、令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化の制度により3歳～5歳の保育料は無償になる。これに伴い副食費部分については、保護者負担となるが、すこやか助成の拡充と、市独自の助成により副食費についても実質無償化とし、保護者の負担軽減を図る。
63	2 / ②	2.1.7	男女共同 参画社会 推進事業	男女共同 参画社会 推進事業 【H26以前】	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画行動計画の着実な実施と進行管理を図るため、市民による推進協議会を開催し、計画の進捗状況や新たな課題へ対応する。 また、男女共同参画意識の啓発のためのイベントや研修会、女性が活躍できるセミナー等の開催、市報やホームページ掲載等による啓発などにより、市民の理解を促進させる。 	男女イキイキ職場宣言事業所数	42事業所 (H31)	54社	59社	514	0	514	<ul style="list-style-type: none"> ■男女共同参画推進協議会の実施(6/26)参加委員:14名(11/12)参加委員:13名 ■7/31に秋田県南部男女共同参画センターと共催でハラスメント研修を実施。講師:いわてライフキャリアラボ 代表 後藤大平氏 ■9/26に企業・団体の経営者・管理職層に向け『ワーク・ライフ・バランス講演会』を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ■男女共同参画推進協議会の実施(6/26)参加委員:14名(11/12)参加委員:13名 ■7/31に秋田県南部男女共同参画センターと共催でハラスメント研修を実施。講師:いわてライフキャリアラボ 代表 後藤大平氏 テーマ:ハラスメントを学ぶ 参加者:35名 ■9/26に企業・団体の経営者・管理職層に向け『ワーク・ライフ・バランス講演会』を実施。講師:内閣府地域働き方改革支援チーム委員 渥美 由喜氏 演題:『働き方改革とワーク・ライフ・バランスを成功させる秘訣～具体的実践事例から～』 参加者:55名 	<ul style="list-style-type: none"> いずれの研修・講演会・イベントも集客が課題となっている。参加しやすい時期や社会情勢・ニーズ等を踏まえテーマ等を含め開催について検討していく。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

番 手 年 度	No	基 本 目 標	款 項 目	実 施 計 画 事 業 名	中 事 業 名 (予 算 事 業 名) 【 番 手 年 度 】	主 な 事 業 の 概 要	主 た る 指 標	指 標 自 標 値	平成27年度							
									指 標 自 標 値 (H27)	指 標 実 績 値	決 算 額 (千 円)	財 源 内 訳		取 組 み 状 況	成 果	
												特 定 財 源 (千 円)	一 般 財 源 (千 円)			
*	64	2 / ②	3.2.1	保 育 支 援 事 業	病 児 保 育 事 業 【 H28 】	・病児保育施設の整備に対して補助金を交付し、病児保育事業を委託により実施する。	病児保育施設数	1 (H28)								

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段	取 組 目	実 施 計 画 事 業 名	中 事 業 名 (予 算 事 業 名) 【 替 手 年 度 】	主 な 事 業 の 概 要	主 た る 指 標	指 標 目 標 値	平成28年度					取 組 み 状 況	成 果	今 後 の 方 向 性
								指 標 目 標 値 (H28)	指 標 実 績 値	決 算 額 (千 円)	財 源 内 訳				
											特 定 財 源 (千 円)	一 般 財 源 (千 円)			
64	2 / ②	3.2.1	保 育 支 援 事 業	病 児 保 育 事 業 【 H28 】	・病児保育施設の整備に対して補助金を交付し、病児保育事業を委託により実施する。	病児保育施設数	1 (H28)	1	64,761	46,173	18,588	<ul style="list-style-type: none"> ■病児保育事業を委託する医療機関の敷地内に専用施設を整備 ■保護者のやむを得ない事情で、病気の児童を一時的に預かる病児保育事業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■病児保育園「おひさま」の名称で平成29年3月1日に開設 ■乳児から小学校6年生までの病気の児童を対象に1日当り6人の利用定員で委託により実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■病児保育事業を広く周知し、看護師と保育士が常駐する専用施設で預かることにより、安全安心で利用しやすい環境を整えていく。 	

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 引 目	実 施 計 画 事 業 名	中 事 業 名 (予 算 事 業 名) 【 哲 手 年 度 】	主 な 事 業 の 概 要	主 た る 指 標	指 標 目 録 値	平成29年度					取 組 み 状 況	成 果	今 後 の 方 向 性
								指 標 目 録 値 (H 2 9)	指 標 実 績 値	決 算 額 (千 円)	特 定 財 源 (千 円)	一 般 財 源 (千 円)			
64	2 / ②	3.2.1	保 育 支 援 事 業	病 児 保 育 事 業 【 H 2 8 】	・病 児 保 育 施 設 の 整 備 に 対 し て 補 助 金 を 交 付 し 、 病 児 保 育 事 業 を 委 託 に よ り 実 施 す る。	病 児 保 育 施 設 数	1 (H 2 8)	<ul style="list-style-type: none"> ■病 児 対 応 型 1 ヶ 所 ■病 後 児 対 応 型 1 ヶ 所 ■体 調 不 良 児 対 応 型 9 ヶ 所 	<ul style="list-style-type: none"> ■病 児 対 応 型 1 ヶ 所 ■病 後 児 対 応 型 1 ヶ 所 ■体 調 不 良 児 対 応 型 9 ヶ 所 	67,555	48,126	19,429	<p>【委託事業】</p> <p>■病児対応型 病 気 中 で 、 症 状 の 急 変 が 認 め ら れ な い 児 童 に つ い て 、 看 護 師 と 保 育 士 を 配 置 す る 専 用 施 設 で 預 か る 事 業 と し て 、 委 託 に よ り 実 施 。</p> <p>■病後児対応型 病 気 の 回 復 期 に あ り 、 集 団 保 育 が 困 難 な 児 童 に つ い て 、 看 護 師 と 保 育 士 を 配 置 す る 専 用 施 設 で 預 か る 事 業 と し て 、 委 託 に よ り 実 施 。</p> <p>【補助事業】</p> <p>■体調不良児対応型 保 育 所 等 に 看 護 師 を 配 置 し 、 体 調 不 良 児 へ の 緊 急 的 な 対 応 や 入 所 児 童 へ の 保 健 的 な 対 応 を 図 る 事 業 と し て 、 補 助 金 を 交 付 予 定 。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■病 児 対 応 型 1 ヶ 所 ■病 後 児 対 応 型 1 ヶ 所 ■体 調 不 良 児 対 応 型 9 ヶ 所 	<ul style="list-style-type: none"> ■地 域 子 ど も ・ 子 育 て 支 援 事 業 と し て 、 国 交 付 金 及 び 県 補 助 金 を 活 用 し 、 今 後 も 継 続 の 方 向 。

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録	取 目 録	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成30年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H30)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
64	2 / ②	3.2.1	保育支援 事業	病児保育事 業 【H28】	・病児保育施設 の整備に対して 補助金を交付し、 病児保育事業を 委託により実施す る。	病児保育施 設数	1 (H28)	■病児 対応型 1ヶ所	■病児 対応型 1ヶ所	43,115	26,515	16,600	<p>【委託事業】</p> <p>■病児対応型 病氣中で、症状の急変が認められない児童につ いて、看護師と保育士を配置する専用施設で預 かる事業として、委託により実施。</p> <p>■病後児対応型 病氣の回復期にあり、集団保育が困難な児童に ついて、看護師と保育士を配置する専用施設で 預かる事業として、委託により実施。</p> <p>【補助事業】</p> <p>■体調不良児対応型 保育所等に看護師を配置し、体調不良児への緊 急的な対応や入所児童への保健的な対応を図 る事業として補助金交付により実施。</p>	<p>■広く事業の周知が図られ、保護者の子育 て支援(利用)を促すことが出来た。</p> <p>・病児対応型:病児保育園 おひさま(伊藤 小児科) 延べ971人利用</p> <p>・病後児対応型:浅舞感恩講保育園 延べ 47人利用</p> <p>・体調不良児型:市内9ヶ所にて実施。 (私立8:アソカ・明照・相愛・和光・旭・金 沢・下鍋倉・醍醐、公立1:十文字)</p>	<p>■引き続き、事業の周知を図り、保護者の 活用を促す。また、利用状況に沿った運営 方法を検討していく。</p>

平成27～令和元年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手続	取組目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	令和元年度							
								指標 目標値 (R1)	指標 実績値	決算額 (千円)	特定財源 (千円)	一般財源 (千円)	取組み状況	成果	今後の方向性
64	2 / ②	3.2.1	保育支援 事業	病児保育事 業 【H28】	・病児保育施設 の整備に対して 補助金を交付し、 病児保育事業を 委託により実施す る。	病児保育施 設数	1 (H28)	■病児 対応型 1ヶ所 ■病後 児対応 型 1ヶ 所 ■体調 不良児 対応型 10ヶ所	■病児 対応型 1ヶ所 ■病後 児対応 型 1ヶ 所 ■体調 不良児 対応型 9ヶ所	46,227	32,326	13,901	<p>【委託事業】</p> <p>■病児対応型 病氣中で、症状の急変が認められない児童につ いて、看護師と保育士を配置する専用施設で預 かる事業として、委託により実施。</p> <p>■病後児対応型 病気の回復期にあり、集団保育が困難な児童に ついて、看護師と保育士を配置する専用施設で 預かる事業として、委託により実施。</p> <p>【補助事業】</p> <p>■体調不良児対応型 保育所等に看護師を配置し、体調不良児への緊 急的な対応や入所児童への保健的な対応を図 る事業として補助金交付により実施。</p>	<p>■病児対応型: 病児保育園 おひさま(伊藤 小児科) 延べ1,116人利用 ・病後児対応型: 浅舞感恩講保育園 延べ 40人利用 ・体調不良児型: 市内11ヶ所にて実施。</p>	病児保育事業を実施している施設に対し、 その経費を助成する。